令和３年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1　令和３年度の活動概要 4

2　美術作品の収集

　1　作品収集状況 6

　2　新収蔵作品目録 7

3－1　展覧会① 近美コレクション

　◆〈近美コレクション〉一覧 20

　1　コレクション・ストーリーズ　北海道の美術　ほか 21

　2　コレクション・ストーリーズ　エコール・ド・パリ　ほか 28

　3　コレクション・ストーリーズ　日本近代の美術　ほか 33

　4　コレクション・ストーリーズ　ヨーロッパの版画　ほか 38

3－2　展覧会② 特別展

　◆　特別展一覧 47

　1　日本浮世絵博物館秘蔵　国貞 広重 国芳コレクション 48

　2　へそまがり日本美術　禅画からヘタウマまで 56

　3　御大典記念　特別展　よみがえる正倉院宝物　－再現模造に見る天平の技－ 62

3－3　展覧会③ 貸館

　◆　貸館一覧 68

4　教育普及関係

　1　移動美術館 69

　2　ワークショップ 71

　3　解説活動 72

　4　博物館実習【館園実習】 74

　5　ぐるっと三館鑑賞ツアー 75

　6　出張アート教室 76

7　ボランティアの活動 77
8　協力事業 78
9　その他 80

5　資料・情報関係
1　刊行物 81
2　特別観覧 82
3　情報資料 83

6　美術作品の貸出と保存・修復
1　美術作品の貸出 84
2　美術作品の保存・修復 85

7　調査研究..... 86

8　名簿、沿革、観覧者数等
1　名簿 92
2　沿革 94
3　観覧者数一覧 97
4　教育・情報サービス利用者一覧 98

1　令和３年度の活動概要

令和 3 年度は、新型コロナウイルスの影響と施設の修繕により、年度当初に 1 ヶ月間、年度末に 2 ヶ月間の臨時休館をすることとなった。

ウェブ上での情報発信を強化すべく、7 月には、ホームページを全面リニューアルした。ツイッター等も活用し、新鮮な情報を配信することで、近代美術館がより身近に感じてもらえるよう取り組んだ。

8 月 31 日には、1977 年の開館以来、1,200 万人の入館者を迎えることができた。一方で、開館から 44 年が経ち、建物の老朽化や収蔵庫の狭隘化が問題となり、令和 4 年 2 月に、今後の近代美術館のあり方を検討する有識者会議を立ち上げた。

令和 3 年度の作品収集は、購入作品 1 点、受贈作品 215 点、登録変更 5 点の計 267 点を数え、これにより作品所蔵総数は、5,881 点となった。

1　休館、事業の中止・変更

全世界で猛威をふるった新型コロナウイルスの影響を受け、令和 3 年度も感染拡大防止措置のため、展覧会やイベントの開催期間の変更、休館、事業の中止、制限などを余儀なくされた。また令和 4 年 1 月 24 日から 3 月 25 日、緊急設備メンテナンスのため、臨時休館することとなった。よって年度当初と年度末、2 度の全館休館することとなり、展覧会を楽しみにされていた方々には、ご不便をおかけしたことをお詫びしたい。

開館中においても、感染防止対策の徹底のため、入館に際しては、マスクの着用、手指消毒や検温、連絡先の登録のほか、展示室では、距離をとっての観覧や会話を控えていただくことをお願いした。

休館及び展覧会・教育普及事業、調査などの中止や変更については、次の通りである。

（1）新型コロナウイルスの感染拡大防止のための展覧会の休止と休館

・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、展示室 A で開催を予定していた近美コレクション「北海道の美術」「現代ガラス」「新収蔵品展」他を、5 月 1 日から 7 月 4 日まで休止した。これにより当初予定していた 4 月 17 日～7 月 4 日まで 68 日間の会期は、4 月 17 日～30 日までの 12 日間の開催となった。5 月 25 日から予定していた「この 1 点を見てほしい。ハイム・スーチン《祈る男》」は、中止となった。

・緊急事態宣言が 5 月 16 日に発令されたのを受けて、展示室Ｂで開催していた「日本浮世絵博物館秘蔵　国貞 広重 国芳コレクション」（図 1）を 5 月 18 日から休止した。これにより当初予定していた 4 月 17 日～6 月 20 日までの 48 日間の会期は、4 月 17 日～5 月 16 日までの 26 日間の開催となった。

（2）新型コロナウイルスの感染拡大防止のためのイベントの中止など

・「日本浮世絵博物館秘蔵　国貞 広重　国芳コレクション」で 4 月と 5 月に予定していた見どころ解説を中止した。

・毎週日曜日（不定期）に開催している学芸員によるミュージアムトークは、全館休館となった 5 月 18 日～6 月 20 日の期間、中止した。

・近美コレクション関連事業として 4 月と 8 月に予定していたミュージアムコンサートのうち、8 月 21 日に予定していたトーク＆コンサート「フランス文化を楽しむ」を中止した。

・子ども鑑賞ツアー、ぐるっと三館鑑賞ツアー、夏のワークショップ等を中止した。

図 1

（3）緊急設備メンテナンスのための休館

・1977 年に開館した当館は、設備の定期点検および補修を行ってきたが、急遽、緊急の設備工事を実施することとなり、1 月 24 日～3 月 25 日を全館休館とした。

これにより、11 月 17 日から開催していた展示室 A の近美コレクション「ヨーロッパの版画　オプ・アート」「アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス」は、会期を早めて 1 月 23 日に閉幕した。よって 11 月 17 日～4 月 3 日まで 101 日間の会期を予定していたが、11 月 17 日～1 月 23 日までの 54 日間となった。2 月 5 日から開催予定だった「この 1 点を見てほしい。吉川霊華《太上老君》」は、令和 4 年 4 月 16 日～6 月 26 日に会期を変更した。

・1 月 24 日～3 月 25 日から全館休館することになったため、2 月 5 日から展示室 B で開催予定だった特別展《羽生輝》展の会期を、令和 4 年 4 月 16 日～6 月 26 日に変更した。会場も、展示室 A に変更になった。

全館休館となったため、期間中のトークイベントもすべて中止となった。

2　ウェブの活用

図 2

（1）　ホームページのリニューアル

平成 11 年に開設したホームページを全面リニューアルし、7 月 1 日からアクセスを開始した。構成、デザインを刷新し（図 2）、スマートフォン、タブレット端末などでも快適に利用できるようモバイルへの対応も行った。

(2)「北海道リモート・ミュージアム」
展覧会やコレクションを紹介した動画「北海道リモート・ミュージアム」をウェブ配信し、館内でも放映した。特に、特別展「へそまがり日本美術」に関連したコンテンツ「名探偵物語　へそまがりの証」（前後編）は、ショートムービー風の編集により各方面から好評を得た。近美コレクション「コレクション・ストーリーズ」でも、学芸員の解説で展覧会を紹介した動画を 2 本制作した。

(3) 休館中の取り組み
「日本浮世絵博物館秘蔵　国貞 広重　国芳コレクション」では、「国貞広重国芳コレクション オンラインツアー」を開催し、日本浮世絵博物館の五味学芸員と当館学芸員が展覧会をわかりやすく紹介した。また、ツイッター上で同展の見どころを 32 回に渡り連載した。

(4) 所蔵作品のデータ公開
ホームページのリニューアルにあわせて、「北海道立美術館等所蔵品データベース」を開設し、令和 4 年 1 月 7 日から、作品の基本情報ならびにサムネイル画像を公開した。

3　作品収集の成果

北海道美術品取得基金の活用により、札幌を拠点に活躍する美術・映像作家の伊藤隆介の《こんなことは無かった》（2012／2022）（図 3）を購入した。映像を用いたインスタレーションで、現代人の不安を、映像のリアリティと虚構性、日用品とミニチュア、日常生活と惨事など、諸要素を重層させて表現した代表作。北海道の現代美術の動向を語る上でも、作家作品ともに重要な位置を占める 1 点である。

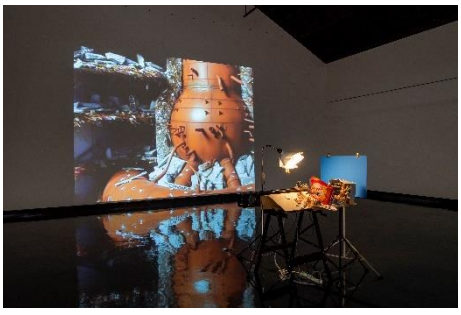


図 3

令和 3 年度の受贈作品は、215 点である。登録変更の 5 点を含めると、作品総数は 5,881 点となった。内訳は、近現代の日本を代表する油彩画家、野見山暁治、北海道の出身の日本画家、福井爽人のほか、家住利男のガラス作品、山本正年の陶芸作品など 9 点に、西洋と日本の近現代版画で構成される友田コレクション 206 件である。
友田コレクションは、詩人・児童文学者の友田多喜雄氏が長年に渡り収集してきた版画コレクションのことで、2018 年から調査と受贈を進め、今年度の友田コレクションの受贈により、友田氏から申し出のあった近現代の版画コレクション約 2000 点の受贈が完了した。

（当館学芸部長　五十嵐聡美）

2 美術作品の収集

1 作品収集状況

分野	令和2年度末作品所蔵数		令和3年度作品収集数					令和3年度末作品所蔵総数		資料		
			購入	受贈	管理換	登録変更	計			令和2年度末資料所蔵数	令和3年度末資料収集数	令和3年度末資料所蔵総数
油彩	822点	(14.5%)	0点	7点	0点	0点	7点	829点	(14.1%)	90点	0点	90点
日本画	281	(5.0%)	0	1	0	0	1	282	(4.8%)	23	0	23
水彩・素描	365	(6.4%)	0	4	0	0	4	369	(6.3%)	226	0	226
版画	2,080	(36.7%)	0	201	0	5	206	2,286	(38.9%)	87	▲2	85
彫刻	112	(2.0%)	1	0	0	0	1	113	(1.9%)	14	0	14
工芸	1,718	(30.4%)	0	2	0	0	0	1,720	(29.2%)	96	0	96
デザイン	231	(4.3%)	0	0	0	0	0	231	(3.9%)	18	0	18
写真	51	(0.9%)	0	0	0	0	0	51	(0.9%)	2	0	2
合計	5,660	(100.0%)	1	215	0	5	267	5,881	(100.0%)	556	▲2	554

2　新収蔵作品目録

凡例

1. この目録には、令和 3（2021）年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までに、北海道立近代美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は当館の収集方針による次の分類に基づいて掲載した。
   - エコール・ド・パリ
   - 北海道の美術
   - ガラス工芸
   - 日本近代の美術
   - 現代美術
   - その他
3. 北海道の美術は、北海道出身または北海道に居住した作家、および北海道を制作の拠点とした作家をもってこれにあてた。
4. 作者名は各分類ごとに、50 音順に配列した。同一作家の作品が 2 点以上ある場合は、各分野ごとに制作年順に配列した。
5. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。
   作者名、生没年、作品名、制作年、技法・材質、寸法、収集の区分、当館での分野分類、作品番号
6. 制作年は作品に明記されているもの、制作事情のはっきりしているもののほか、展覧会発表の年をとって制作年とみなしたものがある。
7. 寸法はセンチメートルを単位とし、原則として、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

エコール・ド・パリ　The École de Paris

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
1	マルク・シャガール Marc CHAGALL	1887-1985	『死せる魂』ソバケーヴィチ *Dead Souls*: Madame Sobakevich	1925	エッチング・紙	27.7×21.0	受贈	版画	2021025
2	マルク・シャガール Marc CHAGALL	1887-1985	『死せる魂』書類を探すプリューシキン *Dead Souls*: Pliushkin searching for his papers	1925	エッチング・紙	28.0×29.5	受贈	版画	2021026

北海道の美術　Art of Hokkaido

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
3	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	ZON c	1960(昭和 35)	モノタイプ・紙	24.4×18.3	受贈	版画	2021070
4	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	［不詳］ ［unknown］	1960(昭和 35)	モノタイプ・紙	19.9×23.7	受贈	版画	2021071
5	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	RIW(59)b	1971(昭和 46)	アルミニウム版腐蝕・紙	39.6×32.6	受贈	版画	2021072
6	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	［不詳］ ［unknown］	1971(昭和 46)	アルミニウム版腐蝕・紙	41.5×30.9	受贈	版画	2021073
7	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	INE	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐蝕・紙	18.8×15.0	受贈	版画	2021074
8	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	MAR	1977(昭和 52)	アルミニウム版腐蝕・紙	24.8×22.0	受贈	版画	2021075
9	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	OAE	1977(昭和 52)	金属凹版・紙	24. ×22.0	受贈	版画	2021076
10	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	［不詳］ ［unknown］	1977(昭和 52)	金属凹版・紙	10.8×26.8	受贈	版画	2021077
11	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	LEY(a)	1978(昭和 53)	モノタイプ・紙	15.0×33.5	受贈	版画	2021078

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
12	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1978(昭和 53)	モノタイプ・ 紙	21.8×30.0	受贈	版画	2021079
13	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	BNY	1984(昭和 59)	ベニヤのマチ エール・紙	24.8×19.5	受贈	版画	2021080
14	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1987(昭和 62)	トタン板腐 蝕、電気サン ダー・紙	22.5×25.6	受贈	版画	2021081
15	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1988(昭和 63)	金属凹版・紙	29.0×13.6	受贈	版画	2021082
16	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1990(平成 2)	モノタイプ・ 紙	59.9×44.5	受贈	版画	2021083
17	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1991(平成 3)	金属凹版・紙	33.0×20.0	受贈	版画	2021084
18	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	UC3	1992(平成 4)	金属凹版・紙	20.4×18.6	受贈	版画	2021085
19	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	UUQ1	1992(平成 4)	金属凹版・紙	35.7×40.3	受贈	版画	2021086
20	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1992(平成 4)	金属凹版・紙	28.6×23.8	受贈	版画	2021087
21	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1995(平成 7)	金属凹版・紙	26.0×19.8	受贈	版画	2021088
22	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	96NO64	1996(平成 8)	金属凹版・紙	29.0×47.3	受贈	版画	2021089
23	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	NO54	1996(平成 8)	金属凹版・紙	30.6×36.2	受贈	版画	2021090
24	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	KOW	1998(平成 10)	モノタイプ・ 紙	34.5×27.2	受贈	版画	2021091
25	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	LEY	1998(平成 10)	モノタイプ・ 紙	27.2×34.6	受贈	版画	2021092
26	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1998(平成 10)	モノタイプ・ 紙	20.0×29.8	受贈	版画	2021093
27	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	1998(平成 10)	モノタイプ・ 紙	27.2×35.0	受贈	版画	2021094
28	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	BZ16	1999(平成 11)	ステンレス版 腐蝕・紙	7.8×30.5	受贈	版画	2021095
29	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	VZ16	1999(平成 11)	ステンレス版 腐蝕・紙	15.0×36.0	受贈	版画	2021096
30	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	XO	1999(平成 11)	金属凹版・紙	25.6×15.2	受贈	版画	2021097
31	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	BWI	2000(平成 12)	金属凹版・紙	23.2×36.2	受贈	版画	2021098
32	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2000(平成 12)	モノタイプ、 金属凹版・紙	32.0×22.7	受贈	版画	2021099
33	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2001(平成 13)	金属凹版・紙	31.2×47.3	受贈	版画	2021100
34	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2002(平成 14)	金属凹版・紙	40.6×20.5	受贈	版画	2021101

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
35	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2002(平成 14)	金属凹版・紙	40.6×20.4	受贈	版画	2021102
36	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]	2002(平成 14)	金属凹版・紙	40.8×20.4	受贈	版画	2021103
37	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	ADI	2002(平成 14)	金属凹版・紙	20.5×40.6	受贈	版画	2021104
38	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	Imp2003	2003(平成 15)	金属凹版・紙	29.9×44.8	受贈	版画	2021105
39	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	箔 Leaf		アルミニウム 版腐蝕・紙	26.1×19.9	受贈	版画	2021106
40	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	F8		トタン腐蝕、 ポンチ・紙	31.6×50.8	受贈	版画	2021107
41	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ・ 紙	27.0×30.3	受贈	版画	2021108
42	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ・ 紙	28.0×27.6	受贈	版画	2021109
43	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、 金属凹版・紙	48.9×35.2	受贈	版画	2021110
44	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、 金属凹版・紙	46.2×35.6	受贈	版画	2021111
45	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、 金属凹版・紙	35.0×48.2	受贈	版画	2021112
46	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、 金属凹版・紙	32.0×47.4	受贈	版画	2021113
47	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、 金属凹版・紙	40.9×29.1	受贈	版画	2021114
48	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版・紙	24.5×29.0	受贈	版画	2021115
49	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版・紙	21.0×27.3	受贈	版画	2021116
50	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版・紙	31.0×34.5	受贈	版画	2021117
51	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版・紙	29.8×24.8	受贈	版画	2021118
52	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		金属凹版・紙	28.8×13.6	受贈	版画	2021119
53	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン板腐 蝕・紙	30.6×28.6	受贈	版画	2021120
54	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン板腐 蝕・紙	30.8×28.6	受贈	版画	2021121
55	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン板腐 蝕・紙	30.6×28.7	受贈	版画	2021122
56	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン板腐 蝕・紙	28.5×30.8	受贈	版画	2021123
57	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43- 平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン板腐 蝕・紙	31.0×28.5	受贈	版画	2021124

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
58	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	[不詳] [unknown]		トタン板腐蝕・紙	31.0×28.5	受贈	版画	2021125
59	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、熱版・紙	26.7×30.5	受贈	版画	2021126
60	一原 有徳 ICHIHARA Arinori	1910-2010 (明治 43-平成 22)	[不詳] [unknown]		モノタイプ、熱版・紙	30.1×40.0	受贈	版画	2021127
61	伊藤 隆介 ITO Ryusuke	1963- (昭和 38-)	こんなことは無かった It Never Existed	2012(平成 24)	CCD カメラ、液晶プロジェクター、モーター、照明器具、ミクスト・メディア	ジオラマ：幅 60.0×奥行 100.0×高さ 100.0cm 映像：スクリーンサイズに応じ可変	購入	彫刻	2021214
62	井上 まさじ INOUE Masaji	1955- (昭和 30-)	untitled	2007(平成 19)	アクリル絵具、糸・板	102.0×70.0	受贈	油彩	2021209
63	井上 まさじ INOUE Masaji	1955- (昭和 30-)	untitled	2007(平成 19)	アクリル絵具、糸・板	102.0×70.0	受贈	油彩	2021210
64	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	秋の市場 (1) Fall Market	1981(昭和 56)	エッチング・紙	36.3×50.3	受贈	版画	2021187
65	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	冬の坂道 (1) Slope in Winter	1982(昭和 57)	エッチング・紙	60.1×36.3	受贈	版画	2021188
66	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	顔 Face		エッチング・紙	36.1×59.8	受贈	版画	2021189
67	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	歩く人々 Walking People		エッチング・紙	36.4×44.3	受贈	版画	2021190
68	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	歩く人々 Walking People		エッチング・紙	36.5×49.6	受贈	版画	2021191
69	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	ユリをみる三人の女 Three Women Gazing at Lilies		エッチング・紙	36.5×51.0	受贈	版画	2021192
70	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	立話Ⅱ Street Talking		エッチング・紙	19.6×36.0	受贈	版画	2021193
71	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	歩く人々 Walking People		エッチング・紙	54.5×36.4	受贈	版画	2021194
72	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	スイカ売り Watermelon Seller		エッチング・紙	54.7×36.4	受贈	版画	2021195
73	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	[不詳] [unknown]		エッチング・紙	49.6×36.5	受贈	版画	2021196
74	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	夕暮れの市場 Evening Market		エッチング・紙	36.5×49.5	受贈	版画	2021197
75	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	花をもつおばあさん An Old woman with Flower		エッチング・紙	9.2×7.5	受贈	版画	2021198
76	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	二人 Two Women		エッチング・紙	8.8×7.0	受贈	版画	2021199
77	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	こんにちは Hello		エッチング・紙	9.0×6.8	受贈	版画	2021200
78	大井戸 百合子 OIDO Yuriko	1944- (昭和 19-)	[不詳] [unknown]		エッチング・紙	9.0×7.6	受贈	版画	2021201
79	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	婦人と洋傘 Woman and Umbrella	1939 頃(昭和 14 頃)	木版・紙	14.0×9.5	受贈	版画	2021055
80	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	『明治少年懐古』明治の婦女 *Illustration in Meiji shonen kaiko* (Retrospection of a boy in the Meiji period): Woman of the Meiji Period	1944(昭和 19)	木版・紙	12.9×9.5	受贈	版画	2021056

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
81	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	『河童暦』 *Kappa goyomi* (Yearbook of kappa)	1946(昭和 21)	木版手彩色・紙（手漉き和紙）　12 点組	17.0×12.8 ほか	受贈	版画	2021057
82	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	アイヌ婦人 Ainu Woman	1947(昭和 22)	木版・紙（黒羅紗紙）	10.1×7.5	受贈	版画	2021058
83	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	樽前山 Mt. Tarumae	1949(昭和 24)	木版・紙	7.4×12.4	受贈	版画	2021059
84	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	明治調 Lifestyle in the Meiji Period	1958(昭和 33)	木版・紙	13.8×9.5	受贈	版画	2021060
85	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	明治調 Lifestyle in the Meiji Period	1958(昭和 33)	木版・紙	13.8×9.6	受贈	版画	2021061
86	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	『瑪利亞十五玄義』橄欖山上の祈 *Fifteen Mysteries of the Virgin Mary*: Sermon on the Mount	1963(昭和 38)	銀箔摺・紙（黒艶紙）	13.4×12.3	受贈	版画	2021062
87	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	樽前山遠望 Distant View of Mt. Tarumae	1970(昭和 45)頃	木版・紙	12.1×13.5	受贈	版画	2021063
88	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	流 Flow		木版・紙	7.9×12.7	受贈	版画	2021064
89	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	花 Flower		木版・紙	11.4×8.5	受贈	版画	2021065
90	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	吊洋燈 Lamp		木版手彩色・紙	13.8×9.5	受贈	版画	2021066
91	川上 澄生 KAWAKAMI Sumio	1895-1972 (明治 28-昭和 47)	（箱庭道具） Tools for making a miniature garden		木版・紙	13.8×9.6	受贈	版画	2021067
92	佐藤 忠良 SATO Churyo	1912-2011 (明治 45-平成 23)	立つ女 Standing Nude	1976(昭和 51)	ドライポイント・紙	10.1×6.6	受贈	版画	2021128
93	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	2 匹 Two Insects	1966(昭和 41)	エッチング・紙	4.7×15.4	受贈	版画	2021168
94	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	たんぽぽ Dandelion	1980(昭和 55)	メゾチント・紙	9.4×16.2	受贈	版画	2021169
95	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	ごぼうの実など Seeds of Burdock etc.	1980(昭和 55)	メゾチント・紙	36.3×19.8	受贈	版画	2021170
96	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	鳩と枯花 Pigeon and Dried Flowers	1980(昭和 55)	メゾチント・紙	23.8×36.2	受贈	版画	2021171
97	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	麦とにわとり Wheat and Cock	1980(昭和 55)	メゾチント・紙	24.0×32.8	受贈	版画	2021172
98	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	瓜のある静物 Still Life with Melon	1981(昭和 56)	メゾチント・紙	15.0×36.2	受贈	版画	2021173
99	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	パンのある静物 Still Life with Bread	1981(昭和 56)	メゾチント・紙	15.0×36.5	受贈	版画	2021174
100	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	コスモス Cosmos	1981(昭和 56)	メゾチント・紙	35.8×20.0	受贈	版画	2021175
101	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	青い鳥 Blue Bird	1982(昭和 57)	メゾチント・紙	17.3×13.8	受贈	版画	2021176
102	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	赤い鳥 Red Bird	1982(昭和 57)	メゾチント・紙	17.4×13.8	受贈	版画	2021177
103	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	どんぐり Acorn	1982(昭和 57)	メゾチント・紙	24.5×12.0	受贈	版画	2021178
104	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	クローバー Clover	1982(昭和 57)	メゾチント・紙	24.5×12.0	受贈	版画	2021179

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
105	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	赤い実 Red Berries	1982(昭和 57)	メゾチント・紙	24.5×12.0	受贈	版画	2021180
106	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	ぶどう（紫） Grapes (Purple)	1986(昭和 61)	メゾチント・紙	12.5×12.5	受贈	版画	2021181
107	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	ぶどう（緑） Grapes (Green)	1986(昭和 61)	メゾチント・紙	12.5×12.5	受贈	版画	2021182
108	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	からまつ（秋） Larch (Autumn)	1986(昭和 61)	メゾチント・紙	12.5×12.5	受贈	版画	2021183
109	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	『北の詩』 *Northern Poems*	1987(昭和 62)	メゾチント・紙　12 枚組	13.9× 20.6(各)	受贈	版画	2021184
110	清水 敦 SHIMIZU Atsushi	1937- (昭和 12-)	二本のから松（夏） Two Larches (Summer)	1987(昭和 62)	メゾチント・紙	11.0×8.5	受贈	版画	2021185
111	杉山 留美子 SUGIYAMA Rumiko	1942-2013 (昭和 17- 平成 25)	作品 82-13 Work 82-13	1982(昭和 57)	アクリル絵具・キャンバス	130.0×162.0	受贈	油彩	2021207
112	杉山 留美子 SUGIYAMA Rumiko	1942-2013 (昭和 17- 平成 25)	HERE-NOW あるいは難思光 -B- Here -Now: Infinite Light B	2011(平成 23)	アクリル絵具・綿キャンバス　4 点組	80.0× 100.0(各)	受贈	油彩	2021208
113	福井 爽人 FUKUI Sawato	1937- (昭和 12-)	海皎 Limpid Sea	1995(平成 7)	紙本彩色・額	175.0×280.0	受贈	日本画	2021213
114	藤川 叢三 FUJIKAWA Sozo	1922-1998 (大正 11- 平成 10)	[不詳] [unknown]	1966(昭和 41)	紙	14.1×18.4	受贈	水彩・素描	2021002
115	藤川 叢三 FUJIKAWA Sozo	1922-1998 (大正 11- 平成 10)	[不詳] [unknown]		鉛筆・紙	54.5×38.2	受贈	水彩・素描	2021003
116	藤川 叢三 FUJIKAWA Sozo	1922-1998 (大正 11- 平成 10)	[不詳] [unknown]		リトグラフ・紙	55.4×39.8	受贈	版画	2021134
117	藤川 叢三 FUJIKAWA Sozo	1922-1998 (大正 11- 平成 10)	[不詳] [unknown]		リトグラフ・紙	54.8×39.8	受贈	版画	2021135
118	山本 正年 YAMAMOTO Seinen	1912-1986 (大正元- 昭和 61)	花生「窓」 Vase	1986(昭和 61)	陶	23.0×21.7	受贈	工芸	2021216
119	（北海道版画協会） HOKKAIDO PRINT ASSOCIATION		『北海道版画協会創立 25 周年記念作品集』 *Collection of Works Commemorating the 25th Anniversary of the Founding of the Hokkaido Print Association*	1984(昭和 59)	37 点組　(1 点欠け)	外箱(23.8×30.8×5.7)	受贈	版画	2021206
120	（北海道版画協会） HOKKAIDO PRINT ASSOCIATION		『北海道版画協会創立 25 周年記念作品集』 *Collection of Works Commemorating the 25th Anniversary of the Founding of the Hokkaido Print Association*	1984(昭和 59)	38 点組		登録変更	版画	2021218
121	（北海道版画協会） HOKKAIDO PRINT ASSOCIATION		『北海道版画協会創立 30 周年記念作品集』 *Collection of Works Commemorating the 30th Anniversary of the Founding of the Hokkaido Print Association*	1989(平成元)	42 点組		登録変更	版画	2021219
122	（北海道版画協会） HOKKAIDO PRINT ASSOCIATION		『北海道版画協会作品集 1999』*Hokkaido Print Association Works Collection 1999*	1999(平成 11)	49 点組		登録変更	版画	2021220

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
123	（北海道版画協会） HOKKAIDO PRINT ASSOCIATION		『北海道版画協会創立五十周年記念作品集』 *Collection of Works Commemorating the 50th Anniversary of the Founding of the Hokkaido Print Association*	2009(平成 21)	50 点組		登録変更	版画	2021221

ガラス工芸 Glass Art

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
124	家住 利男 IEZUMI Toshio	1954- (昭和 29-)	表面-000995 Surface 000995	1995(平成 7)	板ガラス、接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	130.0×410.0×25.0	受贈	工芸	2021215

日本近代の美術　Modern Japanese　Art

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
125	安野 光雅 ANNO Mitsumasa	1926-2020 (大正 15-令和 2)	『現代の詩人 9 谷川俊太郎』（函原画） *Gendai no shijin 9 : Tanikawa Shuntaro* （Contemporary Poets 9: Tanikawa Shuntaro）：Original design for the slipcase		コラージュ、水彩、色鉛筆・紙	29.5×29.5	受贈	水彩・素描	2021004
126	井上 洋介 INOUE Yosuke	1931-2016 (昭和 6-平成 28)	乙女と親類 Girl and Relatives	1967(昭和 42)	鉛筆、色鉛筆・紙	34.0×24.2	受贈	水彩・素描	2021005
127	井上 洋介 INOUE Yosuke	1931-2016 (昭和 6-平成 28)	［不詳］ ［unknown］	1971(昭和 46)	油彩、キャンバス	27.0 ×22.2	受贈	油彩	2021001
128	大沢 昌助 OSAWA Shosuke	1903-1997 (明治 36-平成 9)	『大沢昌助版画集　はじまり』 *Prints by Osawa Shosuke: Beginning*		シルクスクリーン・紙（アルシュ紙）　5 点組	30.7×22.0(各)	受贈	版画	2021068
129	郭 仁植 QUAC Insik	1919-1988	［不詳］ ［unknown］		エッチング・紙	27.8×35.2	受贈	版画	2021133
130	加納 光於 KANO Mitsuo	1933- (昭和 8-)	ES-No.1	1977(昭和 52)	エンコスティック・紙	39.0×54.0	受贈	版画	2021139
131	儀間 比呂志 GIMA Hiroshi	1923-2017 (大正 12-平成 29)	『儀間比呂志の版画　沖縄』（口絵） *Prints by Gima Hiroshi: Okinawa*	1974(昭和 49)	木版・紙	17.3×12.7	受贈	版画	2021137
132	彦 一彦 GEN Kazuhiko	1947- (昭和 22-)	『ポルトガルの春』 *Spring in Portugal*	1986(昭和 61) 刊行：1993(平成 5)	エッチング（ドライポイント）・紙 12 点組	22.6×17.9	受贈	版画	2021202
133	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	窓辺の花（ブルー） Flower by the Window (Blue)	1970(昭和 45)	リトグラフ・紙	65.4×57.3	受贈	版画	2021140
134	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	化粧 Makeup	1971(昭和 46)	エッチング、手彩色・紙	5.0×4.2	受贈	版画	2021141
135	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	母子行 The Flight into Egypt	1971(昭和 46)	エッチング・紙	26.7×12.8	受贈	版画	2021142
136	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	花 Flower	1973(昭和 48)	エッチング、手彩色・紙	5.4×5.0	受贈	版画	2021143
137	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	街かど Street Corner	1975(昭和 50)	エッチング・紙	24.8×18.0	受贈	版画	2021144

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
138	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	白鳥の湖 Lake with a Swan	1975(昭和 50)	エッチング・紙	24.5×17.9	受贈	版画	2021145
139	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	『島田章三石版画集　六葉女人之図』 *Prints by Shimada Shozo: Six Women*	刊行：1975(昭和 50)	リトグラフ・紙（B･F･K）　6 点組	62.7×45.4 (各)	受贈	版画	2021146
140	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	顔の構成 Composition	1977(昭和 52)	エッチング、手彩色・紙	21.5×21.5	受贈	版画	2021147
141	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	『カントリーシリーズ』 *Country Series*	刊行：1978(昭和 53)	メゾチント・紙　5 点組	9.5×14.5(各)	受贈	版画	2021148
142	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	室内休憩 Resting in a Room	1980(昭和 55)	メゾチント・紙	25.7×18.0	受贈	版画	2021149
143	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	羽根帽子の女 Woman with a Feathered Hat	1982(昭和 57)	メゾチント・紙	12.5×10.5	受贈	版画	2021150
144	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	スモーキング・ギャル Girl Smoking	1982(昭和 57)	エッチング、リノカット・紙	19.0×16.1	受贈	版画	2021151
145	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	道 Road	1985(昭和 60)	エッチング、メゾチント・紙	15.0×12.0	受贈	版画	2021152
146	島田 章三 SHIMADA Shozo	1933-2016 (昭和 8-平成 28)	[不詳] [unknown]		エッチング、手彩色・紙	6.5×8.9	受贈	版画	2021153
147	菅井 汲 SUGAI Kumi	1919-1996 (大正 8-平成 8)	FESTIVAL	1980(昭和 55)	シルクスクリーン・紙（アルシュ紙）　4 点組	16.0×11.5 ほか	受贈	版画	2021132
148	瀬川 康男 SEGAWA Yasuo	1932-2010 (昭和 7-平成 22)	[不詳] [unknown]		リトグラフ・紙	25.3×25.6	受贈	版画	2021138
149	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	牛 Bull	1961(昭和 36)	木版・紙	16.2×24.5	受贈	版画	2021154
150	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	オキナワ Okinawa	1961(昭和 36)	リトグラフ・紙	36.5×25.0	受贈	版画	2021155
151	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	イカルスの墜落 Fall of Icarus	1961(昭和 36)	木版・紙	52.0×71.4	受贈	版画	2021156
152	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	メキシコの老婆 Mexican Old Woman	1963(昭和 38)	リノリューム・紙	22.0×14.3	受贈	版画	2021157
153	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	水の裸婦 Woman in the Water	1973(昭和 48)	木版・紙	41.0×31.5	受贈	版画	2021158
154	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	顔―7（ナウワの婦人） Head-7 (Nahua Woman)	1975(昭和 50)	木版・紙	21.8×21.8	受贈	版画	2021159
155	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	姉妹 Sisters	1979(昭和 54)	リトグラフ・紙	26.3×33.1	受贈	版画	2021160
156	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	メキシコの女 Mexican Woman	1981(昭和 56)	リトグラフ・紙	32.5×25.4	受贈	版画	2021161
157	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	十字架を持つ少女 Girl with a Cross	1981(昭和 56)	リトグラフ・紙	32.3×24.2	受贈	版画	2021162
158	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	ローソクを持つ男 Man with a Candle	1981(昭和 56)	リトグラフ・紙	31.8×34.7	受贈	版画	2021163
159	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	第二の恋 Second Love	1981(昭和 56)	リトグラフ・紙	25.0×31.7	受贈	版画	2021164
160	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	[不詳] [unknown]		リトグラフ・紙	21.3×15.0	受贈	版画	2021165
161	竹田 鎭三郎 TAKEDA Shinzaburo	1935- (昭和 10-)	[不詳] [unknown]		リトグラフ・紙	14.8×11.7	受贈	版画	2021166
162	野田 哲也 NODA Tetsuya	1940- (昭和 15-)	日記　1974 年 3 月 29 日 Diary; March 29th '74	1974(昭和 49)	木版、シルクスクリーン・紙（和紙）	20.3×19.8	受贈	版画	2021186

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
163	野見山 暁治 NOMIYAMA Gyoji	1920- (大正 9-)	遠い渚 Faraway Beach	1995(平成 7)	油彩･キャンバス	193.5×193.8	受贈	油彩	2021211
164	野見山 暁治 NOMIYAMA Gyoji	1920- (大正 9-)	ぼくの切れっぱし A Fragment of Me	2000(平成 12)	油彩･キャンバス	182.0×228.0	受贈	油彩	2021212
165	畠中 光享 HATANAKA Kokyo	1947- (昭和 22-)	『聖らかな瞳』 *Pure Eyes*	刊行：1980 (昭和 55)	エッチング、ドライポイント・紙　6 点組	32.0×25.5 ほか	受贈	版画	2021203
166	畠中 光享 HATANAKA Kokyo	1947- (昭和 22-)	［不詳］ ［unknown］		エッチング、ドライポイント・紙	11.7×26.2	受贈	版画	2021204
167	畠中 光享 HATANAKA Kokyo	1947- (昭和 22-)	［不詳］ ［unknown］		エッチング、ドライポイント・紙	23.4×14.5	受贈	版画	2021205
168	原 精一 HARA Seiichi	1908-1986 (明治 41-昭和 61)	［不詳］ ［unknown］		リトグラフ、手彩色・紙	44.0×35.8	受贈	版画	2021069
169	元永 定正 MOTONAGA Sadamasa	1922-2011 (大正 11-平成 23)	のびるしろ Stretching White	1981(昭和 56)	シルクスクリーン・紙	36.0×56.9	受贈	版画	2021136
170	森田 曠平 MORITA Kohei	1916-1994 (大正 5-平成 6)	『女人春秋　中国閨秀詩篇』 *Nyonin shunju* (Women in History, Poems by Talented Chinese Women)	1984(昭和 59)	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙（ハーネミューレ）　12 点組	28.7×54.0	受贈	版画	2021131
171	李 禹煥 LEE U-Fan	1936-	FROM POINT AND LINE 4	1983	ドライポイント・紙（アルシュ紙）	29.1×36.5	受贈	版画	2021167
172	渡辺 禎雄 WATANABE Sadao	1913-1996 (大正 2-平成 8)	讃美歌より「さゝやかなる……」 *From a Hymn*: ″Sasayakanaru ...″	1985(昭和 60)	孔版（合羽版）・紙	93.9×84.5	受贈	版画	2021129
173	渡辺 禎雄 WATANABE Sadao	1913-1996 (大正 2-平成 8)	讃美歌より「さゝやかなる……」 *From a Hymn*: ″Komayakanaru ...″	1985(昭和 60)	孔版（合羽版）・紙	49.8×39.5	受贈	版画	2021130
174	（日本版画協会同人）		『東京回顧図会』 *Scenes of Last Tokyo*	1945(昭和 20)	木版・紙　15 点組	24.5×18.5 ほか	登録変更	版画	2021217

その他

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
175	ハンス・ベルメール Hans BELLMER	1902-1975	『ポエジー』*Poetries*	刊行：1970	リトグラフ・紙　10 点組	書籍サイズ：26.3×33.6×4.5	受贈	版画	2021036
176	ピエール・ボナール Pierre BONNARD	1867-1947	『ディンゴ』 *Illustrations for Dingo*	1924	挿画本／エッチング・紙（ヴェルジェ・ダルシュ）　55 点組	書籍サイズ：38.5×27.9×3.3	受贈	版画	2021020
177	ピエール・ボナール Pierre BONNARD	1867-1947	『聖女モニク』 *Sainte Monique*	1930	挿画本／リトグラフ 29 点、エッチング 17 点（内挿画一覧 3 点）、木版によるカット 178 点　224 点組	書籍サイズ：33.0×26.0	受贈	版画	2021021
178	ピエール・ボナール Pierre BONNARD	1867-1947	『妖精たちの黄昏』 *Nymphs at Dusk*	1946	挿画本／リトグラフ・紙（ヴェラン・デュ・マレ）48 点組 スイート 24 点	書籍サイズ：32.8×26.0×3.2	受贈	版画	2021022

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
179	ジョルジュ・ブラック Georges BRAQUE	1882-1963	ピンクの背景の人物 Figure against Pink Background	1960	リトグラフ・紙	39.0×25.0	受贈	版画	2021024
180	ジャン・カルズー Jean CARZOU	1907-2000	*Lagune Hérissée*	刊行：1958	リトグラフ・紙　20点組（表紙1点、挿絵19点）	30.7 ×24.4 ほか	受贈	版画	2021038
181	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	『カルメン』 *Carmen*	刊行：1945	リトグラフ・紙　7点組（表紙、挿画6点）	19.0 ×14.5 ほか	受贈	版画	2021040
182	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	『カンディード』 *Candide or the Optimist*	刊行：1948	挿画本／リトグラフ・紙 50点組（表紙、フロントピース、挿画48点）	32.5 ×50.4 ほか	受贈	版画	2021041
183	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	『吟遊詩人』 *Troubadour*	刊行：1970	挿画本／リトグラフ・紙 16点組	50.3 ×38.0 ほか	受贈	版画	2021042
184	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	手袋 Glove	1975	リトグラフ・紙	35.0 ×29.0	受贈	版画	2021043
185	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	赤い葉 Red Leaf	1975	リトグラフ・紙	65.8 ×50.2	受贈	版画	2021044
186	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	くしゃくしゃになった紙 Crumpled Paper	1975	リトグラフ・紙	52.4 ×35.0	受贈	版画	2021045
187	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	兆候 Sign	1976	エッチング、カーボランダム、エンボス・紙	65.5 ×50.3	受贈	版画	2021046
188	アントニ・クラーヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	三つの点 Three Points	1976	エッチング、カーボランダム、エンボス・紙	65.8 ×50.4	受贈	版画	2021047
189	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	表情のスケッチ 「それにともに幸せではいられないわ…本当に嫉妬しているのよ。ねえ、聞いてる…。」「あぁ…そうだね。あなたのカマトトぶりは信用できないだろうしね…誰もが知ってますよ…うわべだけの美しさだと。」 Sketches of Expressions: Besides, we wouldn't be happy together … I'm extremely jealous …	1838 刊行：1838	リトグラフ・新聞用紙	25.3 ×34.1	受贈	版画	2021006
190	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	表情のスケッチ 母 - 彼は棒キャンディーをおいしそうに食べる。 Sketches of Expressions: Mother- It's nice to eat a barley sugar stick!	刊行：1838	リトグラフ・紙	25.2 ×34.1	受贈	版画	2021007
191	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	表情のスケッチ アンリ！……あなたわたしのこと誤解してるわ！…… Sketches of Expressions: Henri!...you judge me too harshly!...	1841 刊行：1838	リトグラフ・紙	25.2 ×34.0	受贈	版画	2021008

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
192	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	できごと偉大な詩人による旅の印象。…News of the Day: Impressions of a journey by a great poet:	1842 刊行：1842	リトグラフ・紙	20.0 ×24.3	受贈	版画	2021009
193	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	水浴する女たち 夏に、とっても快適なのはここだけね…… Women Bathers: In the summer it's only here...that I feel comfortable	刊行：1847	リトグラフ・新聞用紙	19.1 ×23.6	受贈	版画	2021010
194	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	水浴する女たち 用心深い水浴する女たち Women Bathers: Prudent Bathers	刊行：1847	リトグラフ・紙	19.4 ×24.1	受贈	版画	2021011
195	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	間借人と大家 １月に自分の部屋を賃貸しされる迷惑 Tenants and Landlords: Inconvenient to put their dwelling up for rent in the month of January.	1847 刊行：1847	リトグラフ・紙	24.9 ×21.8	受贈	版画	2021012
196	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	できごと 若きエスタンスランは学校へ戻される！ News of the Day: Young Estancelin is obliged to return to school!	刊行：1849	リトグラフ・新聞用紙	22.1 ×25.2	受贈	版画	2021013
197	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	できごと ベルトラン、あそこに我々の援軍がいるぞ… News of the Day: Bertrand, there are the fellows who have all my sympathy …	刊行：1854	リトグラフ・紙	22.5 ×27.2	受贈	版画	2021014
198	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	できごと 月下美人の開花に居合わせようと、ぬき足さし足、夜中にでかけるヴォージラールの園芸家たち News of the Day: Horticulturalists of Vaugirard going at midnight, on tip-toe, to try to take the flowering of the Cactus grandiflorus by surprise	刊行：1856	リトグラフ・新聞用紙	21.0 ×26.6	受贈	版画	2021015
199	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	できごと パリを代表する記念碑内部に訪れる News of the Day: Visiting the inside of principal monuments in Paris	刊行：1859	リトグラフ・紙	22.7 ×27.4	受贈	版画	2021016
200	オノレ・ドーミエ Honoré DAUMIER	1808-1879	できごと スルークは、パリでは家賃が高すぎると知る。 News of the Day: Soulouque finding that the rent in Paris is too expensive.	1859 刊行：1859	リトグラフ・紙	23.2 ×26.9	受贈	版画	2021017

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
201	アンリ・ファンタン＝ラトゥール Henri FANTIN-LATOUR Marc CHAGALL	1836-1904	VISION	1895	リトグラフ・紙	18.9×14.4	受贈	版画	2021018
202	アンリ・ファンタン＝ラトゥール Henri FANTIN-LATOUR Marc CHAGALL	1836-1904	ベルリオーズに To Berlioz		リトグラフ・紙	21.0×13.9	受贈	版画	2021019
203	レオノール・フィニ Leonor FINI	1907-1996	『エルヴェティウス夫人の猫』 *The Cats of Madame Helvetius*	刊行：1985	エッチング・紙　15点組（表紙、奥付、銅版画13点）	書籍サイズ：44.5×28.2×2.0	受贈	版画	2021039
204	エミリオ・グレコ Emilio GRECO	1913-1995	Memoria di CatalloMemory of Catallo	1974	エッチング・紙	31.2×48.6	受贈	版画	2021048
205	エミリオ・グレコ Emilio GRECO	1913-1995	作品 I Work I	1990	エッチング・紙	49.5×34.4	受贈	版画	2021049
206	ポール・ギアマン Paul GUIRAMAND	1926-2007	『アルコール』 *Alchohols*	1966	リトグラフ・紙　61点組（スイート19点、挿画42点）	35.8 ×27.9 ほか	受贈	版画	2021051
207	マリノ・マリーニ Marino MARINI	1901-1980	『マリノのかたわらで』 *Tout près de Marino*	1971	エッチング・紙　10点組	42.3×30.0 ほか	受贈	版画	2021032
208	マリノ・マリーニ Marino MARINI	1901-1980	『ミケランジェロ讃』 *Homage to Michelangelo*	1975	エッチング、アクアチント・紙	58.8×42.1	受贈	版画	2021033
209	マリノ・マリーニ Marino MARINI	1901-1980	［不詳］ ［unknown］	1972	リトグラフ・紙	39.0×52.0	受贈	版画	2021034
210	マリノ・マリーニ Marino MARINI	1901-1980	［不詳］ ［unknown］		エッチング・紙	34.0×39.8	受贈	版画	2021035
211	ヘンリー・ミラー Henry MILLER	1891-1980	創始 *Initiation*	刊行：1973	エッチング・紙	17.6×23.3	受贈	版画	2021027
212	ジョアン・ミロ Joan MIRÓ	1893-1983	Bouquet de Rêves pour Neila	1967	挿画本／リトグラフ・紙19点組	書籍サイズ：33.2×25.5×3.2	受贈	版画	2021028
213	ジョアン・ミロ Joan MIRÓ	1893-1983	『20世紀』 From the magazine *XXe siècle*	1972	リトグラフ・紙	31.2×47.4	受贈	版画	2021029
214	ジョアン・ミロ Joan MIRÓ	1893-1983	『水紋』 *Tracé sur l'eau*	1963	リトグラフ・紙　カバー 2点組	書籍サイズ：30.2×36.0×1.5	受贈	版画	2021030
215	ジョアン・ミロ Joan MIRÓ	1893-1983	『ミロ展』（カバー） Cover for the exhibition catalogue *Miró el tapis de Tarragona*	1970	リトグラフ・紙	38.0×55.7	受贈	版画	2021031
216	ティグラーヌ・ポラ Tigrane POLAT	1874-1950	『聖女クララの泉』 *The Well of Saint Clare*	刊行：1908	挿画本／エッチング・紙50点組	紙寸：25.0×18.4	受贈	版画	2021023
217	コンスタンチン・テレスコヴィッチ Constantin TERECHKOVITCH	1902-1978	『3つの短編』 *Three Short Stories*	1965	挿画本／リトグラフ・紙25点組（表紙1点、扉1点、挿絵22点、スイート1点）	13.0×9.2	受贈	版画	2021037
218	クロード・ワイズバッシュ Claude WEISBUCH	1927-2014	襟付きの道化師 Clown with a collar	1961	リトグラフ・紙	75.6×55.0	受贈	版画	2021052
219	クロード・ワイズバッシュ Claude WEISBUCH	1927-2014	肖像（レンブラント） Portrait (Rembrandt)	1968	リトグラフ・紙	69.0×51.5	受贈	版画	2021053
220	ザオ・ウーキー ZAO Wou-Ki	1921-2013	小さな庭 Small Garden	1956	リトグラフ・紙	36.0×48.6	受贈	版画	2021050

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
221			『葡萄酒、花、炎』 *Vins, Fleurs et Flammes*	刊行：1956	33 点組	33.0×25.0	受贈	版画	2021054

資料　Refarense Material

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	区分	分野	番号
1	フランシスコ・ゴヤ Francisco José de GOYA y Lucientes	1746-1828	『戦争の惨禍』 *The Disaster of War*	1810-20 頃	エッチング、ビュラン、ドライポイント、バーニッシャー・紙 ほか　80 点組	17.7×22.0 ほか	受贈	版画	ｼ00557
2	［不詳］ ［unknown］		［不詳］ ［unknown］		型染・紙	13.5×17.9	受贈	版画	ｼ00558

3-1　展覧会① 近美コレクション

◆〈近美コレクション〉一覧

No.	展覧会名	開催期間	開催日数	同時開催
1	コレクション・ストーリーズ 北海道の美術	4 月 17 日（土） ～30 日（金） ※新型コロナウイルス感染拡大により中途終了 〔当初予定：4 月 17 日（土）～7 月 4 日（日）〕	12 日	◆コレクション・ストーリーズ　現代ガラス
		4 月 17 日（土） ～30 日（金） ※新型コロナウイルス感染拡大により中途終了 〔当初予定：4 月 17 日（土）～5 月 23 日（日）〕		◆新収蔵品展 ◆この 1 点を見てほしい。 － 山本 正年《膚》
		※新型コロナウイルス感染拡大により中止 〔当初予定：5 月 25 日（火）～7 月 4 日（日）〕		◆この 1 点を見てほしい。 － ハイム・スーチン《祈る男》
2	コレクション・ストーリーズ エコール・ド・パリ	7 月 17 日（土） ～9 月 1 日（水）	40 日	◆三岸好太郎　師、友、同志とともに ◆この 1 点を見てほしい。 － キース・ヴァン・ドンゲン《アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像》
3	コレクション・ストーリーズ 日本近代の美術	9 月 15 日（水） ～11 月 7 日（日）	48 日	◆アートギャラリー北海道　北海道銀行創立 70 周年　道銀文化財団創立 30 周年記念　道銀芸術文化奨励賞受賞作家展 ◆この 1 点を見てほしい。 － 本間紹夫《室内》
4	コレクション・ストーリーズ ヨーロッパの版画	11 月 17 日（水） ～令和 4 年 1 月 23 日（日） ※設備改修工事のため中途終了 〔当初予定：11 月 17 日（水）～令和 4 年 4 月 3 日（日）〕	54 日	◆コレクション・ストーリーズ　オプ・アート ◆コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス
		11 月 17 日（水） ～令和 4 年 1 月 23 日（日） ※設備改修工事のため中途終了 〔当初予定：11 月 17 日（水）～令和 4 年 1 月 3 日（日）〕		◆この 1 点を見てほしい。 － 深井克美《2 時 37 分》
		※設備改修工事のため延期 〔当初予定：2 月 5 日（土）～4 月 3 日（日）〕		◆この 1 点を見てほしい。 － 吉川霊華《太上老君》

1　コレクション・ストーリーズ　北海道の美術

（同時開催：コレクション・ストーリーズ　現代ガラス／新収蔵品展／この 1 点を見てほしい。）

会　　期：4 月 17 日（土）～7 月 4 日（日）
　　※緊急事態宣言発令により 5 月 18 日（火）～7 月 4 日（日）まで臨時休館
会　　場：北海道立近代美術館　展示室 A
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会

コレクション・ストーリーズ　北海道の美術
Collection Stories : Art in Hokkaido

当館は 1977 年の開館以来、様々な作品を収集してきた。「北海道の美術」、「日本近代の美術」、「エコール・ド・パリ」、「ガラス工芸」、「現代の美術」という 5 つの方針による収蔵作品は、現在 5,600 点以上を数える。令和 3 年度の近美コレクション展では、一年を通し、各分野の魅力をあらためて掘り起こした。

第一回となる今期は「北海道の美術」コレクションを、「芽吹く」、「挑む」、「還る」という 3 つの切り口から振り返った。北海道画壇の初期を彩った作品や、時代の潮流に影響を受けながらも独自の作風を築いた作品、故郷である北海道を情感豊かに描き上げた作品などにより、この地の多様な創作活動の一端を展覧。明治時代末に活躍した洋画家から、現代のアートシーンを彩る美術家まで、約 30 点の作品を紹介した。

新型コロナウイルス感染拡大防止と緊急事態宣言の発令により、今期の近美コレクション展は、5 月 1 日（土）から 7 月 4 日（日）までの休止処置がとられ、12 日間のみの開催となった。なお閉館中、当館 HP のリニューアル作業が行われ、広報目的を兼ね、会場内を定点撮影した。これにより、Google Street View にて、当面の間、今期の展示風景はインターネット上で閲覧可能となった。

＝同時開催＝
コレクション・ストーリーズ　現代ガラス
Collection Stories: Contemporary Glassworks

当館では、1980 年代から 1990 年代にかけて、国内外の最新動向を紹介する全 5 回の国際コンクール「世界現代ガラス展」、1997 年にはその成果を踏まえつつ世界の作家を取り上げた「The Glass Skin」展、2003 年には日本の現代作家に焦点を当てた「Outspoken Glass　遠慮のないガラス」展を開催。こうした展覧会における調査研究を、同時代の優れたガラス作品の収集につなげ、国内有数の現代ガラスコレクションを形成してきた。

本展では、当館所蔵の現代ガラスを制作技法に着目して 26 点の作品により紹介。各技法および現代作家の豊かなアイディアから生み出される現代ガラスの様相は多彩であり、少数の作品で紹介できるものではないが、その一面を提示する機会となった。

◎展示構成
1. ガラスのパレット　―色による構成―
2. のびやかなフォルム　―ホット・グラス・テクニック―
3. 重厚なガラス　―キャストの造形力―
4. アイディアで勝負する　―現代作家の発想力―

新収蔵品展
New Acquisitions

令和 2（2020）年度新たに収蔵した総数 265 点の作品のうち、友田多喜雄氏寄贈作品を除く日本画、油彩、版画など 18 点を展示した。

この 1 点を見てほしい。
Enjoy One Special Piece

・山本正年《膚》

●作品展示
　日本通運株式会社

●会場設営
　株式会社　クリエート工房

●広報印刷物
　ポスター：B2 判縦
　チ ラ シ：A4 判縦
　デザイン：佐藤守功

印　　刷：株式会社アイワード

●出品目録
A3 判二つ折り 6 頁（当館簡易印刷）

●関連事業
［ミュージアム・トーク］
本書 4-3 解説活動に記載

コレクション・ストーリーズ　北海道の美術　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
芽吹く					
1	林　竹治郎	朝の祈り	1906（明治 39）	油彩、キャンバス	50.0×90.0
2	中原　悌二郎	若きカフカス人	1919（大正 8）	ブロンズ	18.0×19.5×41.5
3	俣野　第四郎	良子之像	1923（大正 12）	油彩、キャンバス	45.5×33.0
4	有島　武郎	やちだもの木立	1914（大正 3）	油彩、板	33.0×24.0
5	木田　金次郎	菜の花畑の落日	1955（昭和 30）	油彩、キャンバス	72.7×90.9
6	上野山　清貢	ある夜（テニアン印象）	1928（昭和 3）	油彩、キャンバス	127.0×95.9
7	能勢　眞美	緑庭	1930（昭和 5）	油彩、キャンバス	95.3×160.8
8	田辺　三重松	大沼公園の秋	1934（昭和 9）	油彩、キャンバス	112.1×162.1
9	中村　善策	明科の里	1954（昭和 29）	油彩、キャンバス	116.7×90.9
10	筆谷　等観	夜遊之図	1924（大正 13）頃	絹本彩色	143.5×71.5
11	久本　春雄	曇る北国の浜辺	1932（昭和 7）	絹本彩色	192.5×198.0
12	本間　莞彩	雪の幌都（陸橋）	1948（昭和 23）	紙本彩色	87.5×118.5
13	本郷　新	裸婦座像	1960（昭和 35）	ブロンズ	32.0×64.0×58.0
14	佐藤　忠良	ボタン	1969（昭和 44）	ブロンズ	30.0×40.0×127.0
15	山内　壮夫	三人の娘たち	1959（昭和 34）	ブロンズ	36.0×85.0×142.0
挑む					
16	小川原脩	男と白鳥	1939（昭和 14）	油彩、キャンバス	145.5×112.1
17	菊地精二	輪転機	1933（昭和 8）	油彩、キャンバス	80.3×100.0
18	橋本三郎	牡牛	1957（昭和 32）	油彩、キャンバス	130.0×162.1
19	中江紀洋	私の BC330（Mater dolorosa）	1982（昭和 57）	木（カツラ・マツ・ホウノキ）	82.0×70.5×144.5
20	難波田龍起	秋の詩	1961（昭和 36）	油彩・エナメル、キャンバス	112.1×193.9
21	片岡球子	雅楽（女神と胡飲酒）	1967（昭和 42）	紙本彩色	188.0×266.0
22	中谷有逸	碑・古事記（オオクニヌシとスセリビメ）	2013（平成 25）	ステンシル版、インク（木炭粉・石粉・鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合わせ）・油性ペンキ、パネル	145.5×112.0
23	荒井善則	Traces of the Tape, BO-1	1987（昭和 62）	モノタイプ、布	53.0×103.0
24	荒井善則	Traces of the Tape, BO-4	1987（昭和 62）	モノタイプ、布	53.0×101.3
25	杉山留美子	HERE-NOW　あるいは無碍光	2007（平成 19）	アクリル絵具、綿キャンバス	各 90.9×90.9（8 点組）
「還る」					
26	岩橋英遠	道産子追憶之巻	1978－82（昭和 53－57）	紙本彩色	60.7×2908.8

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ
※No.4 は受託作品、その他は当館蔵

コレクション・ストーリーズ　現代ガラス　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1. ガラスのパレット　―色による構成―					
1	松島巌	水玉文青雲虹彩器	2001（平成 13）	ガラス（ランプワークによるコアガラス技法）	φ14.0×3.8
2	ジニー・ラフナー	統一された球技場理論	1988	ガラス（ランプワーク、サンドブラスト、着色、ドローイング）	26.0×35.0×47.0
3	クラウス・モイェ	走路	1981	ガラス（色ガラス棒溶着、スランピング、カット）	φ46.0×7.5
4	リノ・タリアピエトラ	コルドバ	1992	ガラス（レースグラス、宙吹き）	φ48.0×7.0
5	トゥーツ・ジンスキー	「アフリカの夢」シリーズ	1984	ガラス（押し出し成形による繊維状のガラス、溶接）	φ36.8×12.4
6	トゥーツ・ジンスキー	「アフリカの夢」シリーズ	1984	ガラス（押し出し成形による繊維状のガラス、溶接）	φ40.4×10.2
7	トゥーツ・ジンスキー	オブジェ 4		ガラス（フィレ・ド・ヴェール〈糸状の色ガラス、フュージング、スランピング〉）	25.4×32.7×16.4
8	トゥーツ・ジンスキー	オブジェ 18		ガラス（フィレ・ド・ヴェール〈糸状の色ガラス、フュージング、スランピング〉）	23.4×26.0×13.5
9	ヤン・ゾリチャック	冥界	1981	ガラス（スランピング、カット）	17.0×29.0×23.0
10	ヤン・ゾリチャック	宇宙からの使者Ⅴ	1984	ガラス（薄板ガラス、金属酸化物によるコーティング、フュージング、カット、研磨）	25.2×12.8×23.3
11	アントワーヌ・ルペルリェ	彫刻―スフィンクス	1985	ガラス（パート・ド・ヴェール）	11.3×30.5×17.8
12	カーラ・トリンクリー	青いボウル	1985	ガラス（パート･ド･ヴェール）	φ29.2×18.7
13	ダイアナ・ホブソン	自由なフォルム　No. 12	1988	ガラス（パート･ド･ヴェール〈粉ガラスと見つけた素材を型に入れ焼成〉）	13.5×15.0×14.0
2. のびやかなフォルム　―ホット・グラス・テクニック―					
14	ハーヴィー・K. リトルトン	向かい合う放物線の形	1981	ガラス（被せガラス、ホットワークによる成形、カット）	45.0×11.0×28.5 9.5×42.5×24.5
15	ジョエル・フィリップ・マイヤーズ	水	1985	ガラス（ガラス片はりつけ、サンドブラスト、エッチング）	8.2×65.3×17.0
16	イジー・シュハーイェク	座る　n.2	1985	ガラス（宙吹き）	57.0×20.0×107.0
17	デイル・チフーリ	海の形	1989	ガラス（宙吹き）	70.0×80.0×30.0 他
3. 重厚なガラス　―キャストの造形力―					
20	スタニスラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ	頭 89	1989	ガラス（キャスト）	20.0×58.0×70.0
21	イヴァン・マレシュ	悪夢 Ⅰ	1990	ガラス（キャスト、カット、研磨）	58.5×65.0×62.0
22	リハルト・チェルマーク	ラミア	1994	ガラス（キャスト、部分的にカット、研磨）	20.0×48.5×52.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
23	ギゼラ・シャボーコヴァ	最後の門	1992	ガラス（キャスト、着色、カット）	36.0×68.8×40.6
4. アイディアで勝負する　―現代作家の発想力―					
24	ベルト・フレインス	張る	1987	ガラス（板ガラス変形、ワイヤー）	29.0×29.0×9.0
25	ベルト・フレインス	丸める	1988	ガラス（板ガラス変形）	16.0×43.5×12.5
26	ジェイ・マスラー	街景	1982	ガラス（カット、サンドブラスト、着色）	45.0×20.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ
※作品は全て当館蔵

新収蔵品展　出品目録

No.		作家名	作品名	制作年	技法・材質
1		横山 大観	秋思	1898(明治 31)	絹本彩色／軸
2		岩橋 英遠	明治	1950(昭和 25)	紙本彩色／二曲一双屏風
3	●	蠣崎 波響	蜂巣ト猿	1818-1826(文政年間)	絹本彩色／軸
4	○	棟方 志功	猫仔図		紙本彩色／軸
5		棟方 志功	丸に女神		紙本彩色／軸
6		棟方 志功	海の魚貝		紙本彩色／軸
7		難波田 龍起	黄と緑の階調	1995(平成 7)	水彩、紙
8		難波田 龍起	形象・黄	1996(平成 8)	油彩、キャンバス
9		難波田 龍起	難波田龍起リトグラフィ集 1991　生物的形象 B	1991(平成 3)	リトグラフ、紙
10		難波田 龍起	難波田龍起リトグラフィ集 1991　生物的形象 A	1991(平成 3)	リトグラフ、紙
11		難波田 龍起	難波田龍起リトグラフィ集 1992　生成の詩 B	1992(平成 4)	リトグラフ、紙
12		難波田 龍起	難波田龍起リトグラフィ集 1992　生成の詩 A	1992(平成 4)	リトグラフ、紙
13		難波田 龍起	難波田龍起全版画作品集　群像 A	1997(平成 9)	リトグラフ、紙
14		難波田 龍起	難波田龍起全版画作品集　群像 B	1997(平成 9)	リトグラフ、紙
15		難波田 龍起	線のエチュード D	1994(平成 6)	モノタイプ、紙
16		難波田 龍起	線のエチュード B	1994(平成 6)	モノタイプ、紙
17		難波田 龍起	線のプレリュード E	1994(平成 6)	モノタイプ、紙
18		難波田 龍起	線のプレリュード D	1994(平成 6)	モノタイプ、紙

※○は令和 3 年 4 月 17 日（土）～4 月 22 日（木）、●は令和 3 年 4 月 23 日（金）～4 月 30 日（金）展示
※作品は全て当館蔵

この１点を見てほしい。　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	山本 正年	膚	1966	陶	29.4×41.0×35.2

※寸法は奥行×幅×高さ
※作品は全て当館蔵

2 コレクション・ストーリーズ エコール・ド・パリ

（同時開催:三岸好太郎　師、友、同志とともに/この 1 点を見てほしい。）

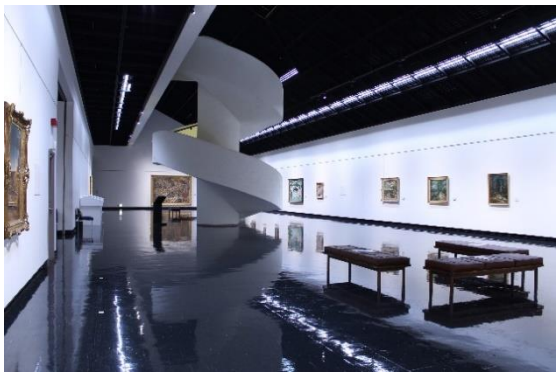
会　　期:7 月 17 日(土)～2021 年 9 月 1 日(水)
会　　場:北海道立近代美術館　展示室 A
主　　催:北海道立近代美術館
後　　援:札幌市、札幌市教育委員会

コレクション・ストーリーズ エコール・ド・パリ
Collection Stories: The École de Paris

当館は 1977 年の開館以来、様々な作品を収集してきた。「北海道の美術」、「日本近代の美術」、「エコール・ド・パリ」、「ガラス工芸」、「現代の美術」という五つの方針による収蔵作品は、現在 5,600 点以上を数える。令和 3 年度の近美コレクション展では、1 年を通し、各分野の魅力をあらためて掘り起こした。

第 2 回となる今期は「エコール・ド・パリ」コレクションを、「人間～異境の街角」、「風景～追想の街角」、「物語～幻影の街角」という三つの切り口から紹介した。エコール・ド・パリは、1920～30 年代、両大戦間のパリを舞台に活躍した、主に外国人画家たちの一群を指す呼称である。

美術の中心地に引き寄せられた偉大な才能のきらめき、戦争が奪った郷愁の風景、美術の伝統に根ざしながらも横溢する想像力の世界など、多彩な絵画作品により、パリという希有な美術都市で繰り広げられた創造者たちの軌跡をたどり、パスキン、藤田嗣治、モディリアーニ、シャガールらの油彩や素描・版画など、約 60 点の名品を紹介した。



＝同時開催＝

三岸好太郎　師、友、同志とともに
Migishi Kotaro and His Master, Friends, and Comrades

札幌に生まれ、わずか 31 歳で亡くなった夭折の画家、三岸好太郎（1903-1934）。大正から昭和初期にかけて、時代の潮流を敏感に受け取り、短期間で目まぐるしく画風を変遷させながら、詩情あふれる作品を残した。

本展では、北海道立三岸好太郎美術館での「貝殻旅行－三岸好太郎・節子展」の開催にあわせ、三岸好太郎を取り巻く人間関係に注目し、三岸の作品を、彼の画業に影響を与えた師や友人、同時代に共に活動した画家たちの作品とともに展示した。

◎展示構成
・青春：札幌から東京へ
・道化：深い情感と哀愁
・前衛：さまざまな実験
・蝶と貝殻：見果てぬ夢

この 1 点を見てほしい。
Enjoy One Special Piece

・キース・ヴァン・ドンゲン《アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像》

●作品展示
日本通運株式会社

●会場設営
株式会社松原建装

●広報印刷物
ポスター:B2 判縦
チ ラ シ:A4 判縦
デザイン:佐藤守功
印　　刷:藤田印刷株式会社

●出品目録
A3 判二つ折り 8 頁(当館簡易印刷)

●関連事業等
［ミュージアム・トーク］
本書 4-3 解説活動に記載

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「展覧会エコール・ド・パリ展」 8 月 10 日(火)夕刊

コレクション・ストーリーズ　エコール・ド・パリ　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩・キャンバス	130.5×97.5
2	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	73.5×61.0
3	エルミーヌ・ダヴィッド	自画像―17 歳	1904	水彩・紙	71.5×52.5
4	ジュル・パスキン	女学生	1908	油彩・キャンバス	55.0×46.0
5	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925～26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
6	ジュル・パスキン	腰かける女	1928	油彩・キャンバス	76.0×63.0
7	ジュル・パスキン	アンドレ・サルモンとモンマルトル	1921	油彩・キャンバスに裏打ちされた紙	195.0×129.8
8	ペール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩・キャンバス	92.0×60.0
9	ハイム・スーチン	祈る男	1921 頃	油彩・キャンバス	94.0×51.0
10	アメデオ・モディリアーニ	フジタの肖像	1919	鉛筆・紙	48.5×20.0
11	藤田　嗣治	二人の女	1918(大正 7)	油彩・キャンバス	92.2×73.3
12	キスリング	晴着の婦人	1925	油彩・キャンバス	73.0×60.0
13	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
14	アンドレ・ロート	水浴	1918	油彩・キャンバス	60.0×73.0
15	ジュル・パスキン	二人のモデル	1924	油彩・キャンバス	99.0×80.0
16	ジュル・パスキン	ジナとルネ	1928	油彩・キャンバス	90.5×71.3
17	ジュル・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩・キャンバス	81.0×100.0
18	アンドレ・ドラン	裸婦		油彩・キャンバス	92.4×72.4
19	ペール・クローグ	肘掛け椅子の女	1925	油彩・キャンバス	81.0×60.0
20	アンドレ・ドラン	猫と裸婦		油彩・キャンバス	108.3×150.5
21	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩・キャンバス	100.0×81.0
22	キスリング	サン=ジェルマン風景	1914	油彩・キャンバス	92.0×73.0
23	モーリス・ド・ヴラマンク	村	1950 代	油彩・キャンバス	48.4×59.5
24	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	1920 代頃	油彩・キャンバス	73.5×93.0
25	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り(セーヌ)	1910 頃	油彩・キャンバス	57.5×79.3
26	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914 頃	油彩・ボード	46.0×60.0
27	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外―二匹の白い犬	1921	油彩・紙、ボード	54.5×65.0
28	エルミーヌ・ダヴィッド	寝具店	1922	油彩・紙、キャンバス	81.0×65.5
29	エルミーヌ・ダヴィッド	森の散歩道	1922 頃	油彩・キャンバス	58.5×71.5
30	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外の干し草積み	1922	油彩・紙	87.0×69.4
31	エルミーヌ・ダヴィッド	マルヌ河岸	1922	油彩・キャンバス	76.3×88.2
32	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩・キャンバス	73.0×92.0
33	マリー・ローランサン	三人の娘	1943	油彩・キャンバス	61.0×49.8
34	岡田　謙三	野外習作	1935 (昭和 10)	油彩・キャンバス	127.4×191.4
35	ジョルジュ・ルオー	聖なる顔	1939	油彩・板に貼った紙	56.0×41.0
36	ジュル・パスキン	恋人たち	1930	油彩・板	46.0×38.0
37	ジュル・パスキン	良きサマリア人	1917	油彩・キャンバス	73.5×66.3
38	ジュル・パスキン	放蕩息子	1922	油彩・キャンバス	212.3×302.4
39	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩・キャンバス	148.0×140.0
40	マルク・シャガール	出エジプト記	刊行:1966	リトグラフ・和紙	44.0×32.0　他

※寸法は縦×横
※作品は全て当館蔵

三岸好太郎　師、友、同志とともに　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	三岸　好太郎	自画像	1921(大正 10)	墨、紙	29.2×19.4
2	三岸　好太郎	童女花持てる図	1923(大正 12)	油彩、ボール紙	38.9×32.7
3	三岸　好太郎	崖ノ風景	1924(大正 13)	油彩、キャンバス	33.4×45.7
4	三岸　好太郎	机上の静物	1925(大正 14)	油彩、板	35.3×42.0
5	林　竹治郎	母と娘	1921(大正 10)頃	油彩、キャンバス	60.9×91.0
6	俣野　第四郎	三岸好太郎像	1923(大正 12)	油彩、キャンバス	65.5×50.3
7	俣野　第四郎	良子像	1922(大正 11)	油彩、キャンバス	60.5×45.6
8	俣野　第四郎	静物（1）	1923(大正 12)	油彩、キャンバス	65.3×50.2
9	俣野　第四郎	我孫子の風景	1924(大正 13)頃	油彩、キャンバス	31.8×40.9
10	三岸　好太郎 (装丁)	『笹川の繁蔵』 （子母澤寛著 塩川書房刊）	1930(昭和 5)	書籍	18.8×12.7
11	三岸　好太郎 (表紙挿画)	故俣野第四郎遺作展覧会目録	1927(昭和 2)	木版、手彩色、紙	18.9×13.3
12	山田　正	冬の崖		油彩、キャンバス	27.3×45.5
13	久保　守	木馬のある風景	1958(昭和 33)	油彩、キャンバス	91.0×116.7
14	三岸　好太郎	花	1932(昭和 7)	油彩、キャンバス	53.0×45.5
15	三岸　好太郎	北大のポプラ並木	1932(昭和 7)	油彩、キャンバス	46.0×38.2
16	三岸　好太郎	水盤のある風景	1932(昭和 7)	油彩、キャンバス	53.3×73.0
17	三岸　好太郎	マスクせる道化	1929(昭和 4)	油彩、キャンバス	54.3×41.8
18	三岸　好太郎	立てる道化	1932(昭和 7)頃	油彩、キャンバス	130.5×80.8
19	三岸　好太郎	道化	1931(昭和 6)頃	墨、紙	28.7×25.0
20	高畠　達四郎	丘からの眺め	1923(大正 12)	油彩、キャンバス	90.5×73.0
21	本間　紹夫	少女像	1932(昭和 7)	油彩、キャンバス	53.0×45.0
22	三岸　好太郎	赤い服の少女	1932(昭和 7)	油彩、キャンバス	65.3×53.0
23	三岸　好太郎	女の顔	1932(昭和 7)	石版、紙	51.1×34.3
24	本間　紹夫ほか	寄せ書き	1931-32 (昭和 6-7)頃	墨、紙	39.7×51.7
25	三岸　好太郎	見物客	1933(昭和 8)	コラージュ、紙	29.4×38.5
26	三岸　好太郎	飛行船と人物	1933(昭和 8)頃	コラージュ、水彩、墨、紙	38.6×29.3
27	三岸　好太郎	金魚鉢	1933(昭和 8)頃	墨、紙	41.4×25.8
28	三岸　好太郎	パレットのある静物	1933(昭和 8)	油彩、キャンバス	45.7×53.4
29	三岸　好太郎	コンポジション	1933(昭和 8)頃	油彩、キャンバス	45.2×37.6
30	三岸　好太郎	オーケストラ	1933(昭和 8)	油彩、キャンバス	89.3×114.6
31	三岸　好太郎	花	1933(昭和 8)	油彩、キャンバス	92.0×61.7
32	菊地　精二	輪転機	1933(昭和 8)	油彩、キャンバス	80.3×100.0
33	小山　昇	作品	1937(昭和 12)頃	油彩、キャンバス	72.7×90.9
34	植木　茂	トルソ	1952(昭和 27)	木（赤樺）	30.0×36.0×93.0
35	三岸　好太郎	絵付カップ	1932(昭和 7)	陶、絵付	
36	小山　昇	絵付カップ	1932(昭和 7)	陶、絵付	
37	三岸　好太郎	筆彩素描集『蝶と貝殻』（複製）	1934	印刷・紙　2部	
38	三岸　好太郎	雲の上の蛾	1934	墨、グワッシュ、コラージュ・紙	31.0×24.5
39	三岸　好太郎	海と射光	1934	印刷・手彩色、紙	30.2×22.4
40	三岸　好太郎	旅愁	1934	印刷・手彩色、紙	30.2×22.4
41	三岸　好太郎	蛾	1934	印刷・手彩色、紙	30.2×22.4
42	三岸　好太郎	貝殻と蝶	1934	油彩、キャンバス	24.3×33.4
43	三岸　好太郎	筆彩素描集『蝶と貝殻』	1934	印刷（凸版墨刷）・手彩色（水彩・グワッシュ）、紙	30.2×22.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
44	外山　卯三郎	『さとぽろ』4 号扉	1925(大正 14)	印刷･紙	26.2×19.1
45	外山　卯三郎	消極的戦闘母艦『さとぽろ』5 号	1925(大正 14)	木版･紙	10.9×14.2
46	本間　紹夫	『さとぽろ』6 号表紙	1925(大正 14)	印刷･紙	
47	外山　卯三郎	座せる女像	1925(大正 14)	木版･紙	
48	三岸　好太郎	飛ぶ蝶	1934	油彩、合板	121.2×84.9

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ

※※Nos.1-4,6,10,11,14-19,23-31,35-43,48 は北海道立三岸好太郎美術館蔵、その他は当館蔵

この１点を見てほしい。　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩、キャンバス	100.0×81.0

※寸法は縦×横
※作品は全て当館蔵

3　コレクション・ストーリーズ　日本近代の美術

（同時開催：コレクション・ストーリーズ　日本近代の美術／道銀芸術文化奨励賞受賞作家展／この１点を見てほしい。）

会　　期：9 月 15 日（水）～11 月 7 日（日）
会　　場：北海道立近代美術館　展示室 A
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会

コレクション・ストーリーズ　日本近代の美術

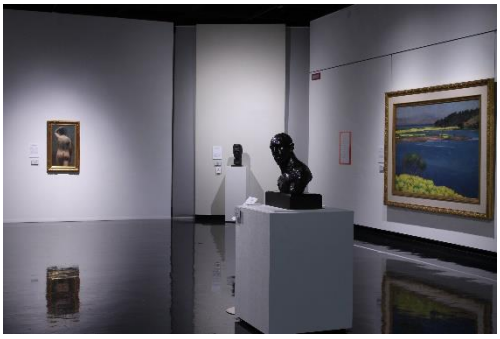
Collection Stories : Japanese Modern Art

当館は 1977 年の開館以来、様々な作品を収集してきた。「北海道の美術」、「日本近代の美術」、「エコール・ド・パリ」、「ガラス工芸」、「現代の美術」という 5 つの方針による収蔵作品は、現在 5,600 点以上を数える。令和 3 年度の近美コレクション展では、一年を通し、各分野の魅力をあらためて掘り起こした。

シリーズ第 3 回となる本展では、日本の近代美術に焦点を当てた。

明治以降に推し進められた近代化の波は、社会全体の仕組みや形が大きく変化した。美術界においても全ての作家が逃れられない変化と向き合った時代。その変化を追い風にさまざまな新思潮を取り入れながら、旺盛な創作活動が展開されていった。

本展では明治、大正、昭和と慌ただしく移り変わる時代にあって、新しい美術のあり方を切り拓こうと奮闘した近代美術の歴史をたどった。



＝同時開催＝

アートギャラリー北海道 北海道銀行創立 70 周年 道銀文化財団創立 30 周年記念 道銀芸術文化奨励賞受賞作家展

Art Gallery Hokkaido
In Commemoration of the 70th Anniversary of the Hokkaido Bank and the 30th Anniversary of Dogin Cultural Foundation Dogin Art and Culture Encouragement Award Winners’ Exhibition

本展は、道内のすぐれた美術コレクションを紹介するとともに若手作家に活動の場を提供することを目的とする「アートギャラリー北海道」事業の一環として開催した。

北海道銀行の 70 年、道銀文化財団の 30 年に及ぶ文化振興活動の成果の展覧とし、当館では道銀芸術文化奨励賞受賞作家 25 名の作品を紹介、三岸好太郎美術館では北海道銀行のコレクション展を開催した。

当館での受賞作家展開催にあたって、当館、北海道銀行、道銀文化財団の共催とし、協約書を締結のうえ、役割を分担して実施した。三者連名での作家への出品依頼とし、作品借用・輸送料・保険料は道銀負担、会場造作、搬入時から搬出時までの作品管理は当館が行った。

また、札幌国際芸術祭と連携し、受賞作家展のガイドブック作成と無料配布、出品作家のインタビュー収録と YouTube での配信を行い、好評を博した。

◎展示構成
・基本的に受賞歴順としたが、作品の規模、形態によって大幅に入替、調整した。

この１点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

・本間紹夫《室内》

●作品展示
日本通運株式会社

●会場設営
株式会社　クリエート工房

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A4 判縦
デザイン：佐藤守功
印　　刷：株式会社アイワード

●出品目録
A3 判二つ折り 6 頁（当館簡易印刷）

●関連事業
［ミュージアム・トーク］
本書 4-3 解説活動に記載

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「札幌の展覧会深く楽しんで」　9 月 30 日（木）
（さっぽろ 10 区)「創立 70 周年記念道銀が二つの企画展」
10 月 5 日（火）
「絵や造形物　斬新アート」10 月 5 日(火)夕刊

コレクション・ストーリーズ　日本近代の美術　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	荻原　守衛	坑夫	1907(明治 40)	ブロンズ	47.0×30.0×46.7
2	鹿子木　孟郎	裸婦	1902(明治 35)頃	油彩・キャンバス	80.4×44.2
3	中原　悌二郎	若きカフカス人	1919(大正 8)	ブロンズ	18.0×19.5×41.5
4	和田　英作	菜の花畠	1916(大正 5)	油彩・キャンバス	133.5×194.0
5	青山　熊治	アイヌ	1910(明治 43)	油彩・キャンバス	150.0×188.0
6	上野山　清貢	とかげを弄び夢見る島の乙女	1924(大正 13)	油彩・キャンバス	79.5×115.3
7	下村　観山	陶靖節「見南山図」	1919(大正 8)	絹本彩色	156.0×70.5
8	横山　大観	秋思	1898(明治 31)	絹本彩色	158.0×82.5
9	竹内　栖鳳	家兎	1939(昭和 14)	絹本彩色	61.5×72.5
10	有馬　さとえ	花皿をもつ少年	1934(昭和 9)	油彩・キャンバス	90.0×68.0
11	荻須　高徳	薪炭屋	1954(昭和 29)	油彩・キャンバス	58.8×70.2
12	藤田　嗣治	二人の女	1918(大正 7)	油彩・キャンバス	92.2×73.3
13	国吉　康雄	横たわる裸婦	1929(昭和 4)	油彩・キャンバス	101.6×203.2
14	山本　鼎	ブルトンヌの水浴	1912(大正元)	木版・紙	14.5×20.7
15	戸張　孤雁	御宿の浜	1921(大正 10)	木版・紙	25.7×35.3
16	織田　一磨	筑波山	1937(昭和 12)	リトグラフ・紙	33.0×48.0
17	平塚　運一	雪のニコライ堂	1930(昭和 5)	木版・紙	20.8×30.8
18	恩地　孝四郎	海の幻想	1946(昭和 21)	木版・紙	42.3×34.6
19	鳥居　言人	髪梳き	1929(昭和 4)	木版・紙	45.6×29.5
20	山村　耕花	踊り・上海ニューカルトン所見	1924(大正 13)	紙・木版	41.2×28.5
21	高橋　弘明	猫	1935(昭和 10)	木版・紙	25.0×37.0
22	小早川　清	ほろ酔い	1930(昭和 5)	紙・木版	52.0×30.0
23	結城　素明	梅渓	1936(昭和 11)	絹本彩色	150.0×110.0
24	岩橋　英遠	駅（青梅口）	1937(昭和 12)	紙本彩色	138.0×196.0
25	岩橋　英遠	明治	1950(昭和 25)	紙本彩色	（各）170.0×184.0
26	片岡　球子	鳩と少女	1934(昭和 9)	紙本彩色	175.0×218.0
27	菊川　多賀	初秋	1951(昭和 26)	紙本彩色	163.0×163.0
28	森田　沙伊	仔馬	1960(昭和 35)	紙本彩色	188.0×149.8
29	荒井　龍男	レダ	1952(昭和 27)	油彩・キャンバス	80.3×100.0
30	佐藤　九二男	雪庭		油彩・キャンバス	90.0　×130.0
31	難波田　龍起	秋の詩	1961(昭和 36)	油彩、エナメル・キャンバス	112.1×193.9
32	村井　正誠	自画像（細い線）	1974(昭和 49)	油彩・キャンバス	162.0×130.5
33	福沢　一郎	亡者を打つ渡し守カロン	1971(昭和 46)	油彩・キャンバス	259.1×193.9
34	桂　ゆき	作品	1978(昭和 53)	コルク・板	160.0×260.0
35	李　禹煥	線より #80057	1980(昭和 55)	岩絵具・キャンバス	193.9×259.1

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ
※作品は全て当館蔵

アートギャラリー北海道　北海道銀行創立 70 周年　道銀文化財団創立 30 周年記念　道銀芸術文化奨励賞受賞作家展　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考／受賞年度
1	北口　さつき	伝説の風景	2021	和紙、岩絵具、顔料、箔	234.0×273.0	1991
2	米原　眞司	静かな赤	2001	ガラス	36.8×36.8×35.2	1992
		吉兆 その 2	2002	ガラス	37.8×37.8×35.5	
3	橋本　礼奈	メッセージ	2019	キャンバスに油彩		1994
4	佐藤　克教	囚はれて	1998	紙、木版	72.0×91.5	1996
5	堀木　淳平	無題	2000 前後	ステンレススチール	100.0×100.0×300.0	1997
6	平向　功一	錠ノ街	2019	岩絵具、膠、木材、金属、和紙 他	125.0×153.5	1998
7	香西　信行	自然灰窯変大壺	2014	陶	39.0×40.0×　？	1999
8	陳　曦	ふたり	2011	紙本着彩（岩絵具）	162.0×130.0	2000
9	伽井　丹彌	Tanz	2021	球体関節人形(オールビスク、ガラス、他)、簡易照明　他	60.0×60.0×1600.0	2001
10	小林　重予	ゆるやかにちかづきたい	1997	木、銅、真鍮、綿、羽、ナイロン、ガラス、アルミニウム箔、モデリングペースト、ラッカー、アクリル絵具	262.0×214.0×52.0	2003
11	鈴木　涼子	Series of parasite ″parasite　4″	2020	chromogenic print	120.0×180.0	2005
12	野又　圭司	我々はどこへいくのか？	2015～2021	砂、木工用接着剤、鉛、銅 他	300.0.×300.0×110.0	2006
13	福井　路可	風の音、明日の雨－19.4－	2019	ミクストメディア、パネル	216.2×300.3	2007
14	波田　浩司	休日(旧ヒダ煉瓦工場)	2018	油彩、キャンバス	193.9×259.1	2009
15	會田　千夏	portrait 2021.9.a portrait 2021.9.b	2021	油彩、キャンバス　2 点組	各 162.1×162.1	2010
16	井桁　雅臣	ひとりだけのきみと。そして焦がれるその光と音の透明。	2021	アクリル、キャンバス　2 点組	各 194.0×194.0	2011
17	久野　志乃	めぐる演劇、虫達の計画	2021	油彩、キャンバス	120.0×130.0	2012
18	蒼野　甘夏	伊邪那岐 鬼払図、伊邪那美 月読図	2017	紙本彩色　2 点組	各 112.1×145.5	2013
19	国松　希根太	TIMESCAPE	2020	板にアクリル絵具、鉄　3 点組	各直径 120.0	2014
20	髙井　秀樹	白磁流紋鉢	2020	白磁	47.3×47.2×19.5	2015
21	上ノ　大作	organ	2021	竹に塗装	120.0×120.0×400.0	2016
22	菱野　史彦	Cell	2021	鉄、ステンレスティール	150.0×150.0×200.0	2017
23	冨田　美穂	904 全身図	2020	和紙、インク　木版画	164.0×213.0	2018
24	八子　直子	雲の記憶 Cloud of memory 2021	2021	ベニヤ、ウレタン、アクリル、ガラス等	280.0×280.0×50.0	2019
25	クスミ　エリカ	船出の祝祭	2021	インクジェットプリント、ノアルクス	130.0×280.0	2020

※目録は受賞歴順
※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では幅×奥行×高さ
※Nos.2,4 は道立近代美術館蔵、その他は作家蔵

この１点を見てほしい。　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	本間　紹夫	室内	1925	油彩、キャンバス	90.5×72.4

※寸法は縦×横
※作品は当館蔵

4　コレクション・ストーリーズ　ヨーロッパの版画

（同時開催：コレクション・ストーリーズ　オプ・アート／コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス／この 1 点を見てほしい。）

会　　期：11 月 17 日（水）～令和 4 年 1 月 23 日（日）
※設備改修工事のため令和 4 年 1 月 25 日（火）～4 月 3 日（日）まで臨時休館
会　　場：北海道立近代美術館　展示室 A
主　　催：北海道立近代美術館
後　　援：札幌市、札幌市教育委員会

コレクション・ストーリーズ
ヨーロッパの版画
Collection Stories: European Prints

当館は 1977 年の開館以来、様々な作品を収集。今年度の近美コレクション展は「コレクション・ストーリーズ」と銘打ち、5,600 点以上におよぶ収蔵作品の魅力を、分野ごとにあらためて掘り起こした。

ここでは「ヨーロッパの版画」コレクションを展示。

ヨーロッパでは、中世に東方から木版技法が伝来して以降、銅版画や石版画など様々な版画技法が生み出された。これらの技法により多彩な表現が可能となった版画は、絵画とは異なる独自の表現手段として、ヨーロッパの版画家たちの創作意欲を刺激する。

これまでに当館が収集してきた「ヨーロッパの版画」コレクションは約 500 年にわたる。本展では、前期で 16 世紀初頭のデューラーから 19 世紀末のムンクまで、後期はパスキン、ルオー、ピカソ、シャガール、クラーヴェら 20 世紀美術を代表する作家たちを紹介する予定であった。しかし、当館の設備改修工事のため、本展は令和 4 年 1 月 23 日（日）をもって前期展示のみで閉幕。

なお、会期途中より同時開催の「アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス」と合わせて北海道リモート・ミュージアムで配信する動画を作成し、展覧会広報活動の一助とした。

＝同時開催＝

コレクション・ストーリーズ
オプ・アート
Collection Stories: Op Art

当館のコレクションを収集方針ごとに紹介するコレクション・ストーリーズのうち、本展では、現代の美術のコレクションの中核をなすオプ・アートを紹介した。

オプ・アートは、（オプティカル・アート Optical Art=視覚的・光学的美術の略）は、錯視の効果を応用した、知覚的抽象絵画を指す。当館では、平成元年より、開館時から前庭に設置されているキネティック・アートと関連づけて、オプ・アート作品の収集をはじめた。本展では、そのほぼ全貌を展示し、動きや光を感じる「体験型」の現代美術の鑑賞機会を提供した。また、同時開催の近美コレクションと同じく、設備修繕工事のため 1 月 23 日（日）で会期終了となった。

コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス
Collection Stories: Art Nouveau and Art Deco Glass

当館のコレクションを収集方針ごとに紹介するコレクション・ストーリーズのうち、本展では、国内でも有数の規模を誇る当館のガラス工芸コレクションから、アール・ヌーヴォー、アール・デコの時代に焦点を当てた。

19 世紀半ばから 20 世紀初めにかけ、近代社会が確立、成熟を迎えたヨーロッパ。大きく変化する政治、経済、社会組織は、新しい精神と文化を求める動きをもたらし、それ以前の様式を一新した同時代芸術の創造へと向かった。その中で生み出されたのが 1900 年前後の装飾芸術界を席巻したアール・ヌーヴォー、1910～30 年代の都市生活を彩ったアール・デコの様式である。大きく変革する社会を背景に、新しいモティーフや、形態、技法を用いて発展し、時代の精神を表す作品に結実していったガラス工芸の数々をヨーロッパ、アメリカを中心に紹介した。本展では同時に北海道リモート・ミュージアムでの動画配信を行った。また、同時開催の他の近美コレクションと同じく、設備修繕工事のため 1 月 23 日（日）で会期終了となった。

この 1 点を見てほしい。
Enjoy One Special Piece

・深井克美《2 時 37 分》

●作品展示

日本通運株式会社

●会場設営
株式会社　クリエート工房

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ ：A4 判縦
デザイン：佐藤守功
印　　刷：岩橋印刷株式会社

●出品目録
A3 判二つ折り 6 頁（当館簡易印刷）

●関連事業
［ミュージアム・トーク］
本書 4-3 解説活動に記載

●主な掲載、放送等
［新聞］
朝日ファミリー　プレミアムプレス　通巻 207（2021 年 11 月 16 日（火）　「常設」に会いに行く～北海道の美術散歩～　乾淑子（美術史家）　⑧北海道近代美術館　所蔵作品五千点以上の大型美術館

読売新聞　2021 年 12 月 1 日（水）　近美所蔵品展　欧州の版画　優品紹介

読売新聞　2021 年 12 月 7 日（火）　見て感じて楽しんで近美 抽象絵画「オプ・アート」を紹介

［雑誌］
札幌交響楽団第 642 回定期演奏会プログラム（2022 年 1 月 29・30 日）　学芸員による本日の表紙解説　【病める子】エドワルド・ムンク　田村允英

アルテピア　第 79 号　10 月
「コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス」敷田弘子

［放送、配信］
北海道リモート・ミュージアム
コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス　1 月 12 日配信開始

北海道リモート・ミュージアム
コレクション・ストーリーズ　ヨーロッパの版画　1 月 12 日配信開始

コレクション・ストーリーズ　ヨーロッパの版画　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	アルブレヒト・デューラー	『小受難』	1509-11	木版、紙	8.5×8.1 他
2	アルブレヒト・デューラー	聖エウスタキウス	1501 頃	エングレーヴィング、紙	35.7×25.9
3	レンブラント・ファン・レイン	寺院のシメオン	1639 頃	エッチング、ドライポイント、紙	21.3×28.9
4	レンブラント・ファン・レイン	版画商クレメント・デ・ヨンへ	1651	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング、紙	20.4×15.8
5	ジャック・カロ	『戦争の惨禍』	1633	エッチング、紙	8.8×19.0 他
6	ウィリアム・ホガース	侵略（フランス）	1756	エッチング、紙	32.0×39.0
7	ウィリアム・ホガース	侵略（イギリス）	1756	エッチング、紙	31.5×38.5
8	フランシスコ・ゴヤ	『戦争の惨禍』	1820 頃	エッチング他、紙	17.7×22.0 他
9	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ	『ローマの景観』 サンタ・マリア・マジョーレ寺院	1749	エッチング、紙	40.5×55.0
10	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ	『ローマの景観』 アルバーノとカステル・ガンドルフォの遺跡	1761	エッチング、紙	39.4×55.3
11	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ	『ローマの景観』 ティヴォリのマエケナス荘	1763	エッチング、紙	45.5×67.5
12	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』	1823-26	エングレーヴィング、紙	19.6×15.0 他
13	ウィリアム・ブレイク	『神曲』	1827	エングレーヴィング、紙	27.5×35.2 他
14	ジョン・マーティン	『失楽園』	1826 頃	メゾチント、紙	13.8×20.2 他
15	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	ペリクレスの庭園	1855 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	15.0×18.7
16	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	ホラティウスの庭園	1855 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	36.2×28.3
17	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	バ・ブレオの思い出	1858 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	18.1×14.9
18	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー	オスティアの回想	1855 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	27.0×34.3
19	シャルル＝フランソワ・ドービニー	鹿	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	15.6×19.0
20	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊のいる囲場	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	19.0×34.9
21	シャルル＝フランソワ・ドービニー	カモのいる沼	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	11.6×18.5
22	シャルル＝フランソワ・ドービニー	森の中の雌牛	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	15.5×18.8
23	テオドール・ルソー	ビオの桜の木	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	21.8×27.8
24	テオドール・ルソー	ビオの平原	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	23.0×28.9
25	ジャン＝フランソワ・ミレー	母親の用心	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	29.3×23.0
26	ジャン＝フランソワ・ミレー	水を汲む女	1862 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	29.3×23.0
27	ウジェーヌ・ドラクロワ	立ち止まる虎	1854 (刊行:1921)	クリシェ=ヴェール、紙	15.5×18.8
28	マックス・クリンガー	『手袋』	1881	エッチング、アクアチント、紙	22.7×32.7 他
29	エドワルド・ムンク	病める子	1894	ドライポイント、ルーレット、紙	38.7×29.2
30	エドワルド・ムンク	その翌朝	1895	ドライポイント、アクアチント、紙	20.4×29.6
31	エドワルド・ムンク	月光	1895	ドライポイント、アクアチント、紙	31.0×25.3

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
32	エドワルド・ムンク	クリスティアニア・ボヘームⅠ	1895	エッチング、ドライポイント、紙	21.9×29.8

※寸法は縦×横
※Nos. 1, 8, 12, 13, 28 は会期中、場面の展示替えを行った（前期：11/17～12/19、後期：12/21～1/23）
※Nos. 15, 16, 19, 20 ,23, 25, 29, 30 は前期展示：11/17～12/19。Nos. 17, 18, 21, 22, 24, 26, 31, 32 は後期展示：12/21～1/23
※作品は全て当館蔵

コレクション・ストーリーズ　オプ・アート　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション　Ⅰ-15	1972	シルクスクリーン、紙	
		フォーミュレーション：アーティキュレーション　Ⅱ-32	1972	シルクスクリーン、紙	
		フォーミュレーション：アーティキュレーション　Ⅱ-27	1972	シルクスクリーン、紙	
2	ヴィクトル・ヴァザルリ	C-LAPIDAIRE-C	1962	コラージュ、紙	16.5×16.5
3	ヴィクトル・ヴァザルリ	DIA-OR	1974	木綿、羊毛、ゴブラン織	252.0×254.0
4	ヴィクトル・ヴァザルリ	OB	1955	油彩、板	32.0×23.5
5	ヴィクトル・ヴァザルリ	GOTHA-NEG	1958-78	アクリル絵具、キャンバス	195.0×131.0
6	ヴィクトル・ヴァザルリ	DOMBAS-2	1974	アクリル絵具、キャンバス	115.0×115.0
7	ヴィクトル・ヴァザルリ	BATTOR	1977	アクリル絵具、キャンバス	157.0×85.0
8	ヴィクトル・ヴァザルリ	ATHMOS	1982	アクリル絵具、キャンバス	238.5×238.5
9	ヴィクトル・ヴァザルリ	ゲシュタルト・ゼルド	1976	アクリル絵具、キャンバス	238.0×223.5
10	ヴィクトル・ヴァザルリ	KEZDI	1989	アクリル絵具、木	64.0×7.8×66.5
11	ヴィクトル・ヴァザルリ	TSILLAG	1990	アクリル絵具、木	8.1×60.7×52.9
12	リチャード・アヌスキウィッツ	ライト・カドミウム・レッド・スクウェア	1979	アクリル絵具、キャンバス	122.5×122.5
13	リチャード・アヌスキウィッツ	聖なる黒の寺院	1983	アクリル絵具、キャンバス	152.9×122.5
14	リチャード・アヌスキウィッツ	聖なる黄色の寺院	1984	アクリル絵具、キャンバス	153.0×122.5
15	ヘスス・ラファエル・ソト	黒の二重正面	1985	彩色、木、金属	40.2×40.2×160.0
16	ヘスス・ラファエル・ソト	相反価値、ニューヨークJ	1984	彩色、木、金属	158.4×158.4×15.5
17	ブリジット・ライリー	アレストⅠ	1965	乳剤、綿キャンバス	178.0×174.5
18	ブリジット・ライリー	VIVA	1985	油彩、リネン	156.5×129.5
19	ブリジット・ライリー	シリーズ41　緑に赤と青、黄と紫のねじれ	1979	グアッシュ、紙	97.0×62.3
20	ヤーコブ・アガム	リバティNo.5	1980	リトグラフ、アクリル、紙	35.5×35.5
21	ヤーコブ・アガム	『記憶』時の歩み―追憶	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.3×32.9
22	ヤーコブ・アガム	新しき年の大気	1989	リトグラフ、アクリル、紙	28.2×33.6
23	ヤーコブ・アガム	公然の小さな秘密	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.5×34.7
24	ヤーコブ・アガム	あらわになった小さな秘密	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.4×34.6
25	ヤーコブ・アガム	『メキシコ』ユカタンの聖なるもの	1990	リトグラフ、アクリル、紙	32.2×33.4
26	ヤーコブ・アガム	ピカソ礼賛	1990	リトグラフ、アクリル、紙	29.8×29.8
27	ヤーコブ・アガム	幸福な結婚	1990	リトグラフ、アクリル、紙	34.6×31.8
28	ヤーコブ・アガム	『祝祭』お祭り気分	1990	リトグラフ、アクリル、紙	28.3×31.4

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
29	ヤーコブ・アガム	鼓動する心臓（ムード）	1972	ステンレススチール	57.5×102.0×57.2

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では幅×奥行×高さ
※作品は全て当館蔵

コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	エミール・ガレ	虫文花器	1889	被せガラス、エングレーヴィング
2	フランソワ・ウジェーヌ・ルソー	竹筒形花器	1880 頃	型吹き、金属酸化物による斑文、金箔封入
3	オーギュスト・ジャン	帯文花器	1880 頃	宙吹き、エナメル彩、金彩
4	エミール・ガレ	鯉文花器	1878 頃	型吹き、エナメル彩
5	エミール・ガレ	昆虫文双耳花器	1880 代	エナメル彩、金彩、金箔溶着
6	エミール・ガレ	浜木綿文花器	1900 頃	エッチング、エナメル彩、金彩
7	エミール・ガレ	蓮文花器	1897-98 頃	被せガラス、金属酸化物による斑文、エッチング、エングレーヴィング
8	エミール・ガレ	蓮文花器	1900 頃	被せガラス、エッチング
9	エミール・ガレ	紫陽花文花器	1900 頃	型吹き、被せガラス、エッチング
10	エミール・ガレ	蜻蛉文花器	1900-04 頃	被せガラス、エングレーヴィング
11	エミール・ガレ	アイリス文花器	1900 頃	被せガラス、エングレーヴィング
12	エミール・ガレ	カトレア文花器	1900 頃	型吹き、被せガラス、金属箔封入、エッチング、エングレーヴィング
13	エミール・ガレ	シクラメン文碗	1898-1900 頃	型吹き、被せガラス、マルケトリ、エングレーヴィング
14	エミール・ガレ	南瓜文蓋物	1900 頃	型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩
15	ガレ工房	湖水風景文花器	1920 代	型吹き、被せガラス、エッチング
16	ガレ工房	湖水風景文花器	1904-14 頃	型吹き、被せガラス、エッチング
17	ドーム	鷺に睡蓮文三耳花器	1894 頃	型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩
18	ドーム	鷺に睡蓮文鉢	1890 頃	エッチング、エナメル彩、金彩
19	ドーム	あざみ文花器	1900 頃	型吹き、斑文装飾、被せガラス、エッチング、エングレーヴィング
20	ドーム	マロニエ文花器	1907-10 頃	型吹き、斑文装飾、被せガラス、エッチング
21	ドーム	昆虫文蓋物	1910 代	パート・ド・ヴェール
22	ドーム	蝶文蓋	1910 頃	パート・ド・ヴェール
23	ドーム	矢車草と鈴蘭文花器	1902	斑文装飾、エッチング、エナメル彩
24	ドーム	クロッカス文花器	1904-14 頃	型吹き、斑文装飾、被せガラス、エッチング、エングレーヴィング
25	ドーム	孔雀文花器	1914 頃	斑文装飾、被せガラス、エッチング、色ガラス溶着
26	ルイ・コムフォート・ティファニー	ランプ	1910-20 頃	虹彩
27	ルイ・コムフォート・ティファニー	ランプ・きばなふじ	1900-10 頃	ガラス、ブロンズ、銅
28	ドーム	樹木文花器	1935	型吹き、エッチング
29	ドームとルイ・マジョレル	鉄枠吹込花器	1922 頃	鉄枠吹込、斑文装飾、被せガラス
30	マリウス＝エルネスト・サビノ	アネモネ文花器	1920 代	型吹き
31	ドーム	鹿文花器	1925-30 頃	型吹き、被せガラス、エッチング
32	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	けし文碗	1925 頃	パート・ド・ヴェール
33	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	花文鉢	1930	パート・ド・ヴェール
34	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	あざみ文鉢	1922	パート・ド・ヴェール
35	ガブリエル・アルジィ＝ルソー	ばら文花器	1922	パート・ド・ヴェール
36	フランソワ＝エミール・デコルシュモン	双耳鉢	1927	パート・ド・ヴェール
37	シュネデル工房	幾何文花器	1920 代	斑文装飾、被せガラス、エッチング
38	オレフォッシュ社／シーモン・ガーテ	皿付鉢・ダイアナ	デザイン：1920 制作：1926	エングレーヴィング
39	オレフォッシュ社／エードヴァルド・ハルド	皿付鉢・ヴェール	デザイン：1919 制作：1922	型吹き、エングレーヴィング

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
40	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ とんぼ	型：1928	型押し
41	ルネ・ラリック	花器・いんこ	型：1919	型吹き
42	ルネ・ラリック	花器・バッカスの巫女	型：1927	型押し
43	ルネ・ラリック	花器・蛇	型：1924	型吹き
44	ルネ・ラリック	皿・カリュプソ	型：1930	型押し
45	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ 勝利	型：1928	型押し
46	ルネ・ラリック	タイス	型：1925	型押し
47	ルネ・ラリック	スザンナ	型：1925	型押し

※作品は全て当館蔵

この１点を見てほしい。　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
1	深井　克美	2時37分	1976(昭和51)	油彩、キャンバス	145.5×112.0

※寸法は縦×横
※作品は当館蔵

3-2　展覧会② 特別展

◆特別展一覧

No. （展覧会番号）	展覧会名	開催期間	開催日数	主催・後援等
1 (303)	日本浮世絵博物館秘蔵 国貞 広重 国芳コレクション 絵師たちが見た江戸の楽しみ	4 月 17 日（土） ～5 月 16 日（日） ※新型コロナウイルス感染拡大により中途終了 〔当初予定：4 月 17 日（土）～6 月 20 日（日）〕	26 日	主　　催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、日本経済新聞社、北海道新聞社 特別協力：日本浮世絵博物館 後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会 協　　賛：伊藤忠商事、東急不動産札幌支店
2 (304)	へそまがり日本美術 禅画からヘタウマまで	7 月 17 日（土） ～9 月 1 日（水）	40 日	主　　催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、STV 札幌テレビ放送 後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会 企画協力：府中市美術館 協　　力：キュレイターズ 特別協力：STV ラジオ
3 (305)	御大典記念　特別展 よみがえる正倉院宝物 －再現模造に見る天平の技－	9 月 15 日(水) ～11 月 7 日(日)	45 日	主　　催：宮内庁正倉院事務所、北海道立近代美術館、北海道新聞社、朝日新聞社、NHK 札幌拠点放送局 学術協力：奈良国立博物館、九州国立博物館 協　　賛：ライブアートブックス、医療法人さっぽろ脊椎外科クリニック 後　　援：日本工芸会、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 PTA 連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会
4	羽生輝展	※設備修繕工事のため延期 〔当初予定：令和 4 年 2 月 5 日（土）～3 月 21 日（月）〕		主　　催：北海道立近代美術館

1　日本浮世絵博物館秘蔵　国貞 広重 国芳コレクション　絵師たちが見た江戸の楽しみ

Kunisada, Hiroshige and Kuniyoshi: Amusements in Edo from the Japan Ukiyo-e Museum Collection

会　　期：4 月 17 日（土）～6 月 20 日（日）
※緊急事態宣言発令により 5 月 18 日（火）～6 月 20 日（日）まで臨時休館
会　　場：北海道立近代美術館　展示室 B
主　　催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、日本経済新聞社、北海道新聞社
特別協力：日本浮世絵博物館
後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
協　　賛：伊藤忠商事、東急不動産札幌支店

江戸時代、当世すなわち浮世の世界を描き出した浮世絵は、今も昔も多くの人に愛好されている。浮世絵には、江戸の庶民の生活や娯楽のありよう、また彼らの愛した四季の風物や風景、親しんだ物語の世界が存分に表現されている。本展覧会では、そんな江戸庶民の「娯楽」の世界を、日本浮世絵博物館（長野県松本市）所蔵の歌川国貞、広重、国芳ら江戸後期の浮世絵 140 点を通じて紹介した。

日本浮世絵博物館は、信州松本の豪商・酒井家が 200 年以上かけて収集した浮世絵コレクションを母体に設立され、そのコレクションは日本屈指のものとされている。本展覧会は、これまでまとめて紹介される機会が少なかった同館のコレクションを展示する貴重な機会となった。しかし。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、北海道から緊急事態宣言が発令されたことにより、会期途中の 5 月 18 日から臨時休館し、再開が叶わないまま会期終了を迎えた。臨時休館後は、出品作品を簡単な解説付きで SNS を通じて発信し、またウェブ会議サービス「Zoom」を活用したオンラインツアーを開催した。さらに、展覧会終了後、日本経済新聞社が提供するウェブコンテンツ「日経アートアカデミア」で展覧会紹介映像を配信し、オンラインでの鑑賞機会の提供に努めた。

●展示構成
壱　江戸のパラダイス　歌舞伎・吉原
弐　物語の世界
参　江戸のレジャー
四　江戸の見世物
五　食べる楽しみ
特別出品　肉筆画の優品

●図録
仕　　様：420×592㎜、12 面
執　　筆：五味あずさ（日本浮世絵博物館）
制作・印刷：野崎印刷紙業
発　　行：日本経済新聞社

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A3 判二つ折り
観 覧 券：160×70m
出品目録：A3 判二つ折り
印　　刷：山藤三陽印刷株式会社

●作品輸送・展示
日本通運株式会社

●会場設営
株式会社アークスタジオ

●関連事業等
［オープニング記念講演会］
演　　題：日本浮世絵博物館のコレクションについて
日　　時：4 月 17 日（土）　14 時 00 分～（約 60 分）
会　　場：当館講堂
講　　師：五味あずさ氏（日本浮世絵博物館学芸員）

［講座］
演　　題：見どころ解説
日　　時：4 月 24 日（土）、5 月 22 日（土）　各 14 時～（約 30 分）　※2 回とも中止
会　　場：当館講堂
講　　師：当館学芸員

［特設ライブラリー］
令和 3 年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業　深める・楽しむ～国貞 広重 国芳コレクション　北海道立図書館の蔵書から
会　　期：会期中
会　　場：本展出口特設コーナー

主　　催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内　　容：北海道立図書館蔵書から浮世絵に関する図書・雑誌等 30 冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞　さっぽろ 10 区
「浮世絵で見る 江戸の活気」 4 月 16 日（金）

［放送、配信］
テレビ北海道
「スイッチン！」5 月 1 日（土）
NHK
「ひるナマ！北海道　おでかけナビ」5 月 7 日（金）
オンラインツアー
「国貞 広重 国芳コレクション　オンラインツアー」6 月 17 日（木）　※Zoom 活用による
日経アートアカデミア
「日本浮世絵博物館秘蔵　国貞 広重 国芳コレクション　絵師たちが見た江戸の楽しみ」　9 月 22 日（水）配信開始

日本浮世絵博物館秘蔵

国貞 広重 国芳 コレクション

絵師たちが見た 江戸の楽しみ

2021年4月17日(日)—6月20日(日)

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

主催:北海道立近代美術館、テレビ北海道、日本経済新聞社、北海道新聞社
特別協力:日本浮世絵博物館
後援:北海道、札幌市、札幌市教育委員会
協賛:伊藤忠商事、東急不動産 札幌支店

【作品リスト】

1. 江戸のパラダイス　歌舞伎・吉原

No.	絵師名	作品タイトル	判型	制作年
1	歌川国芳	十二代目市村羽左衛門の悪源太義平・四代目中村歌右衛門の岩木三郎太夫広綱・二代目市川九蔵の八丁礫の鬼平次	大判錦絵3枚続	天保11年(1840)
2	歌川国芳	三代目尾上栄三郎のお弓・五代目松本幸四郎の直助・三代目尾上菊五郎のお岩ぼうこん、小平ぼうこん、与茂七三役早替・五代目市川海老蔵の神谷伊右衛門	大判錦絵3枚続	天保7年(1836)
3	歌川国貞	初代尾上松緑の時平大臣・初代沢村源之助の松王丸・三代目中村歌右衛門の梅王丸・二代目尾上松助のさくら丸	大判錦絵4枚続	文化8年(1811)
4	歌川国貞	「大当狂言之内 菅丞相」 七代目市川団十郎	大判錦絵	文化11～12年(1814～15)
5	歌川国貞	五代目岩井半四郎の知盛の息女玉虫姫・初代中村大吉の女六部飛鳥・五代目岩井半四郎の歌姫太夫	大判錦絵3枚続	文化12年(1815)
6	歌川国貞	七代目市川団十郎の此下東吉・五代目岩井半四郎のさつき	大判錦絵2枚続	文化12年(1815)
7	歌川国貞	新信田妻四人奴ノ場より 初代中村芝十郎の奴やかん平・二代目中村芝翫の奴狐かん平・初代嵐冠十郎の奴与かん平・初代中村芝蔵の奴すかん平	大判錦絵3枚続	天保2年(1831)
8	歌川国貞(三代豊国)	「あつまのわか手五人男」	大判錦絵5枚続	万延元年(1860)
9	歌川国芳	「見立十二支の内　子　仁木弾正 荒獅子男之介」	大判錦絵	嘉永5年(1852)
10	歌川国貞	「ふきや町市村座大入あたり振舞楽屋之図」	大判錦絵3枚続	文化8年(1811)
11	歌川国貞	「市川三升木場別荘雪の景」	大判錦絵3枚続	文政6年(1823)頃
12	歌川広重	「名所江戸百景　猿わか町よるの景」	大判錦絵	安政3年(1856)
13	菊川英山	「青楼行事八景　居続の暮雪」	大判錦絵	文化11～14年(1814～17)頃
14	菊川英山	「七間人 つる屋 しの原」	大判錦絵	文化4年(1807)頃
15	菊川英山	「青楼六玉川 扇屋内花染」	大判錦絵	文化11～14年(1814～17)頃
16	菊川英山	「風流琴碁書画 琴 扇屋内花扇」	大判錦絵	文化11～14年(1814～17)頃
17	渓斎英泉	「傾城江戸方角　ろ　岡本屋内菅之助」	大判錦絵	文政12年(1829)頃
18	渓斎英泉	「姿海老屋楼上之図」	大判錦絵3枚続	文政11年(1828)頃
19	渓斎英泉	「新吉原年中行事　陽春正月年礼　扇屋内花扇」	大判錦絵	文政(1818～29)後期 ～天保(1830～44)前期
20	渓斎英泉	「新吉原年中行事　五月端午軒の菖蒲　若那屋内花衣」	大判錦絵	文政(1818～29)後期 ～天保(1830～44)前期
21	渓斎英泉	「新吉原年中行事　七月七夕星祭燈籠　岡本屋内長太夫」	大判錦絵	文政(1818～29)後期 ～天保(1830～44)前期

No.	絵師名	作品タイトル	判型	制作年
22	歌川国貞	「美人傾城いろは短歌　タ　玉屋内玉葛」	大判錦絵	文政(1818～29)後期頃
23	歌川国貞	「美人傾城いろはたむか　チ　大もんし屋内一元」	大判錦絵	文政(1818～29)後期頃
24	歌川国貞	「全盛見立三福神　扇屋内花扇　玉屋内花紫　松葉屋内代々山」	大判錦絵3枚続	文政6年(1823)頃
25	歌川国芳	「姿海老屋内　姿野 七岡 七人」	大判錦絵3枚続	天保5年(1834)頃

特別出品　肉筆画の優品

No.	絵師名	作品タイトル	材質･技法	制作年
125	宮川長春	文読む美人図	絹本着色	正徳(1711～15) ～享保期(1716～35)
126	宮川一笑	見立芥川図	紙本着色	享保期(1716～35)頃
127	礒田湖龍斎	遊女と対禿図	絹本着色	天明期(1781～88)
128	勝川春英	三代目瀬川菊之丞の相生獅子図	絹本着色	天明期(1781～88)
129	歌川豊春	遊女と禿図	絹本着色	安永(1772～80)後期 ～天明(1781～88)前期
130	歌川豊広	子供の魚掬いを見る美人図	絹本着色	寛政期(1789～1800)
131	歌川豊広	机に倚る遊君図	絹本着色	寛政期(1789～1800)
132	礫川亭永理	遊女と禿図	絹本着色	寛政期(1789～1800)
133	歌川豊国	子供をあやす美人図	絹本着色	寛政11～12年(1799～1800)頃
134	歌川豊広	遊君立姿図	絹本着色	文化元～4年(1804～07)
135	歌川国久	御殿山花見図	絹本着色	文化期(1804～17)
136	藤麿	柳下母子納涼図	絹本着色	文化期(1804～17)
137	菊川英山	文読む遊女図	絹本着色	文化11～15年(1814～18)頃
138	菊川英山	桜下花魁道中図	絹本着色	文政期(1818～29)頃
139	渓斎英泉	月下文読む美人図	絹本着色	天保(1830～43)末 ～弘化期(1844～47)
140	歌川国芳	役者似顔六歌仙図	絹本着色	弘化3年(1846)頃

2. 物語の世界

No.	絵師名	作品タイトル	判型	制作年
26	勝川春英	「忠臣蔵　十一段目」	中判二丁掛錦絵	天明期(1781～88)頃
27	勝川春英	「平維持紅葉狩逢悪鬼図」	大判錦絵	文化3年(1806)
28	勝川春英	草摺引	大判錦絵	寛政期(1789～1800)
29	勝川春亭	頼光四天王土蜘蛛退治	大判錦絵3枚続	文化(1804～17)中期

No.	絵師名	作品タイトル	判型	制作年
30	歌川国貞	「四天王螳螂退治ノ図」	大判錦絵3枚続	文化12年(1815)頃
31	歌川国芳	大江山酒呑童子	大判錦絵3枚続	嘉永4年(1851)頃
32	歌川国芳	「頼光大江山入之図」	大判錦絵3枚続	嘉永6年(1853)
33	歌川国芳	「武勇見立十二支　酉　怪童丸」	中短冊判錦絵	天保12年(1841)頃
34	歌川国芳	平知盛亡霊の図	大判錦絵3枚続	文政2～3年(1819～20)頃
35	歌川国芳	大物浦平家の亡霊	大判錦絵3枚続	嘉永2～4年(1849～51)頃
36	歌川国芳	「真勇競　平知盛」	長大判錦絵	安政3年(1856)
37	歌川国芳	「列猛伝　宮本武三四」	長大判錦絵	弘化期(1844～47)
38	歌川国芳	「列猛伝　生仏丸」	長大判錦絵	安政3年(1856)
39	歌川国芳	「水滸伝豪傑百八人之一個　扈三娘一丈青」	大判錦絵	文政10年(1827)頃
40	歌川国芳	「鬼若丸」	大判錦絵	弘化4～嘉永5年(1847～52)
41	歌川国芳	弁慶梵鐘引き上げ	大判錦絵3枚続	弘化2～3年(1845～46)頃
42	歌川国芳	「曲亭翁精著八犬士随一」 犬村大角	大判錦絵	天保(1830～43)初期頃
43	歌川国芳	「曲亭翁精著八犬士随一」 犬飼現八　犬塚信乃	大判錦絵2枚続	天保(1830～43)初期頃
44	歌川国貞	「本朝高名鑑　文覚上人」	大判錦絵	天保期(1830～43)
45	歌川国貞	「本朝高名鑑　牛若丸」	大判錦絵	天保期(1830～43)
46	歌川国貞	「本朝高名鑑　五郎時致　朝夷義秀」	大判錦絵	天保期(1830～43)
47	歌川国貞	「本朝高名鑑　平忠盛」	大判錦絵	天保期(1830～43)
48	歌川国貞	「赤沢山相撲ノ図」	大判錦絵	文政(1818～29)前期

3. 江戸のレジャー

48	歌川国貞	「赤沢山相撲ノ図」	大判錦絵	文政(1818～29)前期
49	歌川国芳	「梅の魁」	大判錦絵3枚続	弘化4～嘉永5年(1847～52)
50	歌川国芳	「すみ田川の夕桜」	大判錦絵3枚続	弘化2～3年(1845～46)頃
51	歌川広重	「江戸名所四季の眺　御殿山花見之図」	大判錦絵3枚続	弘化4～嘉永5年(1847～52)
52	歌川広重	「品川汐干の図」	大判錦絵3枚続	安政2年(1855)
53	歌川広重	「名所江戸百景　亀戸天神境内」	大判錦絵	安政3年(1856)
54	葛飾北斎	「新板浮絵亀井戸天満宮之図」	大判錦絵	天明期(1781～88)

No.	絵師名	作品タイトル	判型	制作年
55	歌川国芳	「堀切名花　江戸の花菖蒲」	大判錦絵3枚続	嘉永5年(1852)
56	葛飾北斎	「新板浮絵両国橋夕涼夜見世之図」	大判錦絵	天明期(1781～88)
57	歌川広重	「江都名所　両国橋納涼」	大判錦絵	天保3～5年(1832～34)頃
58	歌川国郷	「東都名所両国繁栄河開之図」	大判錦絵3枚続	嘉永6年(1853)
59	歌川広重	「江戸名所　高輪廿六夜」	大判錦絵	天保14～弘化4年(1843～47)
60	歌川国芳	「四季遊観納涼のほたる」	大判錦絵3枚続	弘化2～3年(1845～46)頃
61	歌川国貞(三代豊国)	「六陽盛　節好」	団扇絵判錦絵	嘉永6年(1853)
62	歌川国輝	「江戸名所高なわの月見」	大判錦絵3枚続	弘化4年(1847)頃
63	歌川広重	「江戸名所　品川海晏寺紅葉見」	大判錦絵	嘉永6年(1853)
64	歌川国貞	「三囲の初雪」	大判錦絵3枚続	文政10年(1827)頃
65	歌川広重	「東海道五拾三次之内　三島　朝霧」	大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃
66	歌川広重	「東海道五拾三次之内　沼津　黄昏図」	大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃
67	歌川広重	「東海道五拾三次之内　丸子　名物茶店」	大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃
68	歌川広重	「東海道五拾三次之内　御油　旅人留女」	大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃
69	歌川広重	「東海道五拾三次之内　赤阪　旅舎招婦ノ図」	大判錦絵	天保4～5年(1833～34)頃
70	歌川国芳	「大山良弁滝之図」	大判錦絵	天保(1830～43)末頃
71	歌川国貞	「二見浦曙の図」	大判錦絵	天保4年(1833)頃
72	橋本貞秀	「伊勢御遷宮参詣群衆之図」	大判錦絵3枚続	嘉永2年(1849)頃
73	歌川広重	「江の嶋弁才天開帳詣」	大判錦絵3枚続	嘉永4年(1851)頃

4. 江戸の見世物

74	歌川国芳	竹澤藤次　独楽の化物	大判錦絵	弘化元年(1844)
75	歌川国芳	「曲独楽　竹沢藤次」	大判錦絵	弘化元年(1844)
76	歌川国芳	「一流曲独楽　龍宮玉取　竹沢藤次」	大判錦絵	弘化元年(1844)
77	歌川国芳	「江戸の花一流曲独楽　於岩稲荷怪談廻　竹沢藤次」	中判錦絵	弘化元年(1844)
78	歌川国芳	「江戸の花一流曲独楽　金毛九尾三国渡　竹沢藤次」	中判錦絵	弘化元年(1844)
79	歌川国芳	「江戸の花一流曲独楽　玉子の上曲けいらんぬけ　竹沢藤次」	中判錦絵	弘化元年(1844)
80	歌川国芳	「流行道外こまづくし　はなれこま　ぶんふくちやごま」	中判二丁掛錦絵	弘化元年(1844)頃

No.	絵師名	作品タイトル	判型	制作年
81	歌川芳晴	「大坂下り早竹虎吉　此所所作事早替り」	大判錦絵	安政4年(1857)
82	歌川国芳	「養老滝五郎　剣の刃渡り」	大判錦絵	弘化3年(1846)
83	歌川国芳	「両ごく大曲馬の賑ひ」	大判錦絵3枚続	嘉永4年(1851)
84	歌川国芳	「金龍山おくやまの景」	大判錦絵3枚続	弘化4年(1847)
85	歌川国芳	二代目柳川一蝶斎　龍宮浦島の曲	大判錦絵	弘化4年(1847)
86	歌川国芳	「龍宮遊びさかなげいづくし」	大判錦絵3枚続	弘化4年(1847)頃
87	歌川国芳	菊川国丸の曲鞠	長大判錦絵	天保12年(1841)
88	歌川国芳	「流行猫の曲鞠」	大判錦絵	天保12年(1841)
89	歌川国貞	「籠細工」 関羽	大判錦絵	文政2年(1819)
90	歌川豊広	「浅草観音奥山貝細工」	大判錦絵2枚続	文政3年(1820)
91	歌川広重	「浅草奥山貝細工」	大判錦絵	文政3年(1820)
92	橋本貞秀	朝比奈小人嶋遊	大判錦絵2枚続	弘化4年(1847)
93	歌川国芳	「朝比奈小人嶋遊」	大判錦絵3枚続	弘化4年(1847)頃
94	落合芳幾	松本喜三郎の生人形	大判錦絵3枚続	安政3年(1856)
95	歌川国芳	「当盛見立人形之内　粂の仙人」	大判錦絵2枚続	安政3年(1856)
96	錦江斎春草	生人形興行の引札	間倍判墨摺絵	安政2年(1855)
97	歌川国芳	「浅草奥山生人形」 異国人物と丸山遊女	大判錦絵3枚続	安政2年(1855)
98	歌川国芳	「風流人形尽」 水滸伝	大判錦絵3枚続	安政3年(1856)

5. 食べる楽しみ

99	歌川国貞	「花遊ひの図」	大判錦絵3枚続	文政4年(1821)頃
100	歌川国貞(三代豊国)	「浮世年中行事　皐月」	大判錦絵3枚続	弘化元年(1844)頃
101	歌川国貞(三代豊国)	「東都名所四季之内　両国夜陰光景」	大判錦絵3枚続	嘉永6年(1853)
102	歌川国貞(三代豊国)	「十二月の内　小春　初雪」	大判錦絵3枚続	安政元年(1854)
103	歌川国貞(三代豊国)	「十二月の内　卯月　初時鳥」	大判錦絵3枚続	安政元年(1854)
104	歌川国貞(三代豊国)	「十二月之内　師走　餅つき」	大判錦絵3枚続	安政元年(1854)
105	歌川国貞(三代豊国)	「江戸名所百人美女　長命寺」	大判錦絵	安政4年(1857)
106	歌川国芳	「三川図絵　竪川」	団扇絵判錦絵	安政3年(1856)

No.	絵師名	作品タイトル	判型	制作年
107	歌川国芳	「三川図絵　宮戸川」	団扇絵判錦絵	安政3年(1856)
108	歌川国貞(三代豊国)	「花火が上り」	団扇絵判錦絵	弘化4～嘉永5年(1847～52)
109	歌川国芳	「新良万造」 鮨	団扇絵判錦絵	天保14年(1843)頃
110	歌川国貞(三代豊国)	「当世夜見世尽」 白玉	団扇絵判錦絵	弘化元年(1844)頃
111	歌川国芳	「東都七福弁天　深川すさき弁天」	団扇絵判錦絵	弘化2～3年(1845～46)頃
112	歌川国芳	「伊呂波画合」 七段目	団扇絵判錦絵	弘化2年(1845)頃
113	歌川国貞	「俳諧五流　江戸流」	団扇絵判錦絵	天保(1830～43)後期
114	歌川国貞	「当世六玉顔　調布の玉川」	大判錦絵	天保(1830～43)初期
115	歌川国貞(三代豊国)	「誂織当世島」 金花糖	大判錦絵	弘化(1844～47)初期
116	歌川国貞(三代豊国)	「二十四好今様美人　甘い物好」	大判錦絵	文久3年(1863)
117	歌川広重	「名所江戸百景　上野山した」	大判錦絵	安政5年(1858)
118	歌川広重	「名所江戸百景　びくにはし雪中」	大判錦絵	安政5年(1858)
119	歌川芳虎	「誠忠義士銘々伝　て　隅野十平次藤原次房」	大判錦絵	慶応2年(1866)
120	歌川広重	「江戸高名会亭尽　山谷」 八百善	大判錦絵	天保6～13年(1835～42)頃
121	歌川広重	「江戸高名会亭尽　両国柳橋　大のし」	大判錦絵	天保6～13年(1835～42)頃
122	月岡芳年	「風俗三十二相　おもたさう　天保年間深川かるこの風ぞく」	大判錦絵	明治21年(1888)
123	豊原国周	「見立昼夜廿四時之内　正午十二時」	大判錦絵	明治23年(1890)
124	月岡芳年	「風俗三十二相　むまさう　嘉永年間女郎之風俗」	大判錦絵	明治21年(1888)

2　へそまがり日本美術　禅画からヘタウマまで

Perverse Japenese Art: From Zen Painting to Heta-uma

会　　期：7 月 17 日（土）～9 月 1 日（水）
会　　場：北海道立近代美術館　展示室 B
主　　催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、STV 札幌テレビ放送
後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
企画協力：府中市美術館
協　　力：キュレイターズ
特別協力：STV ラジオ

日本で古くから受け継がれてきた「きれい」で「立派」な造形作品の数々は、今も多くの人の心をとらえ続け、美術史を輝かしく彩っている。その一方、決してきれいとは言えないけれど楽しく心地よい作品や、不格好で不完全だけれど心に残る作品が点在している。それらを生み、受け入れてきたのは「へそまがり」とも言える感性で、現代においても「ゆるい」「ヘタウマ」な表現になぜか心惹かれてしまうという経験をもつ人は少なくないのではないか。たとえば、破格の構図と筆致で見る者に驚きをあたえる白隠。大胆さと繊細さの合わせ技で常識に揺さぶりをかける仙厓。かつての禅僧たちがあらわした禅画は、禅という別世界に案内する窓となり、今も私たちの「へそまがりな感性」を強く惹きつける。ほかにも、お世辞にも上手いとは言えないけれど独創的な絵を描いた徳川三代将軍・家光。墨だけで突拍子もない造形を生み出す奇想の画家・若冲。近代芸術家として名高くも、じつは「おとぼけ感覚」で笑いを誘う萬鉄五郎。わざと下手に描いたのか？と思わせる「素朴」な表現に傾倒した三岸好太郎。80 年代に流行した破壊的「ヘタウマ」漫画の蛭子能収など、時にややこしくも面白い感性は、常識を疑い、平凡さを超える力を私たちに与えてくれる。

中世から現代にいたる「へそまがりな感性」の所産を紹介する本展は、2019 年春、東京・府中市美術館で開催されて大きな反響を呼び、巡回を熱望する声が絶えなかった。初めての巡回先となった本展では、九州から東北まで各所蔵先からあらためて作品をお借りしたほか、蠣崎波響や片岡球子など北海道ゆかりの当館コレクションを加え、北海道会場の特色を打ち出した。北海道会場オリジナルの音声ガイドの制作にも力を入れた。関連事業の講演会では、本展企画者で府中市美術館学芸員の金子信久氏に、本展の趣旨や日本美術の楽しみ方についてご講演いただいた。公式ホームページの「へそ展日記」には本展スタッフ一同が展覧会の周辺情報や作品解説を投稿し、展覧会の魅力を発信した。作品配置における間隔の確保など、感染対策にも考慮した。

●展示構成
第一章　別世界への案内役　禅画
第二章　なにかを超える
　ⅰ俳画と南画
　ⅱ稚拙みとヘタウマ
　ⅲお殿さまの絵
第三章　突拍子もない造形
第四章　苦みとおとぼけ

●図録
仕　　様：変型 175×175㎜、240 ページ
編 著 者：府中市美術館（金子信久、音ゆみ子）
編集協力：久保恵子
デザイン：島内泰弘デザイン室
発　　行：講談社

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A3 判二つ折り
観 覧 券：160×70㎜
出品目録：A3 判二つ折り
編集協力：久保編集事務所
印　　刷：岩橋印刷株式会社

●作品輸送・展示
ヤマト運輸株式会社

●会場設営
株式会社アークスタジオ

●関連事業等
［講演会］
日　　時：7 月 17 日（土）　11 時 00 分～（約 90 分）
会　　場：当館講堂
講　　師：金子信久氏（本展企画者、府中市美術館学芸員）

［講座］
演　　題：学芸員による見どころ解説
日　　時：7 月 22 日（木祝）、8 月 14 日（土）各 14 時 30 分～（約 60 分）
会　　場：当館講堂
講　　師：当館学芸員

［音声ガイド］
ナレーション：木村洋二

［特設ライブラリー］
令和３年度北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業　深める・楽しむ～へそまがり日本美術展　北海道立図書館の蔵書から
会　　期：会期中
会　　場：本展出口特設コーナー
主　　催：北海道立図書館、北海道立近代美術館
内　　容：北海道立図書館蔵書から近世～現代日本美術に関する図書・雑誌等 37 冊を展示、閲覧利用

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「夏の美術展　道内で続々」　6 月 26 日（土）
「へそまがり日本美術　禅画からヘタウマまで　道立近代術館であすから」古川有子　7 月 16 日（金）
「楽しむ美術　夏に笑み」山中龍之助　7 月 17 日（土）夕刊
「不格好も魅力　へそまがり展　札幌近美で開幕」山中龍之助　7 月 18 日（日）
「へそまがり展　生みの親・金子さん語る　不格好でもひかれる　誰もが持つ感性」山中龍之助　7 月 30 日（金）夕刊
（さっぽろ 10 区）「へそまがり日本美術　ゆるかわアート　一堂に　近美であすから後期展」　8 月 10 日（火）
「へそまがり展　来場者 1 万人」山中龍之助　8 月 21 日（木）
「へぇ～そうだったのか！「へそ展」①　仙崖義梵「豊干禅師・寒山拾得図屏風」型破りな禅画　表情におかしみ」　齊藤千鶴子　8 月 17 日（火）夕刊
「へぇ～そうだったのか！「へそ展」②　白隠慧鶴「楊柳観音図」身近な菩薩　柔らかな曲線で」　齊藤千鶴子　8 月 17 日（水）夕刊
「へぇ～そうだったのか！「へそ展」③　夏目漱石「柳下驢馬図」文豪のキュートなあじわい」　地家光二　8 月 20 日（金）夕刊
「へぇ～そうだったのか！「へそ展」④　曽我蕭白「後醍醐天皇笠置潜逃図」」　地家光二　8 月 21 日（土）
「へぇ～そうだったのか！「へそ展」⑤　岸礼「百福図」」　地家光二　8 月 23 日（月）夕刊
「美術　所蔵、国内品中心の展示に」山中龍之助　12 月 20 日（月）夕刊

［雑誌］
O.tone　7 月号

［放送、配信］
STV
「どさんこワイド」　7 月 23 日（金）
「ジョシスタ」　8 月 2 日（月）
AIR-G’ラジオ
「Be My Radio」箕輪直人　大野真奈　齊藤千鶴子 8 月 4 日（水）
北海道リモート・ミュージアム
「名画探偵物語　へそまがりの証　前編」　8 月 10 日（火）配信開始
「名画探偵物語　へそまがりの証　前編」　8 月 20 日（金）配信開始

［SNS］
展覧会公式ホームページ
「へそ展日記」
「初巡回します」（齊藤）　3 月 29 日（月）
「幽霊」（齊藤）　5 月 12 日（水）
「寒山拾得」（齊藤）　5 月 25 日（火）
「ツルとフクロウ」（齊藤）　6 月 25 日（金）
「開幕しました！」（齊藤）　7 月 17 日（土）
「展示の周辺あれこれ」（地家）　7 月 22 日（火）
「北海道の「へそまがり」」
(話:齊藤千鶴子学芸員　金子信久学芸員）　7 月 30 日（金）
「「本気」の音声ガイド(齊藤）　8 月 3 日（火）
「「へそ展」グッズから」（地家）　8 月 6 日（金）
「後期展の見どころ」（齊藤）　8 月 11 日（水）

へそまがり日本美術

禅画からヘタウマまで

2021 7.17［土］—9.1［水］

前期：7月17日［土］–8月9日［月・振休］
後期：8月11日［水］–9月1日［水］

伊藤若冲《福禄寿図》（後期展示）

北海道立近代美術館

主　　催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、STV札幌テレビ放送
後　　援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会
企画協力：府中市美術館　　協力：キュレイターズ　　特別協力：STV ラジオ

凡例

・作品番号は、展示の順序とは一致しませんが、本展図録番号と一致します。
・作品番号N1～8、H1～5は、図録に掲載されていません。
・会場で展示されている各章は、次の①～④の記号で表記します。
　①別世界への案内役　禅画　②なにかを超える　ⅰ俳画と南画　ⅱ稚拙みとヘタウマ　ⅲお殿さまの絵
　③突拍子もない造形　④苦味とおとぼけ
・会期中、一部展示替えを行います。また、都合により展示作品を変更する場合があります。
・展示期間の表記のない作品は全期間展示します。

出品作品リスト

作品番号	作者	作品名	員数	材質	時代（世紀）・制作年	所蔵	章	展示期間
2	雪村周継 せっそん しゅうけい	竹虎図 たけとらず	1幅	紙本墨画	室町時代（16世紀）		①	
4	雪村周継 せっそん しゅうけい	布袋唐子図 ほていからこず	1幅	紙本墨画	室町時代（16世紀）		①	
7	以天宗清 いてん そうせい	寒山拾得図 かんざんじっとくず	1幅	紙本墨画	室町時代（16世紀）		①	
8	「伊年」印 いねん いん	寒山図 かんざんず	1幅	紙本墨画	寛永9年（1632）		①	
9	松花堂昭乗 しょうかどう しょうじょう	布袋図 ほていず	1幅	紙本墨画	江戸時代前期 （17世紀前半）		①	
10	狩野山雪 かのう さんせつ	松に小禽・梟図 まつにしょうきん・ふくろうず	1幅	紙本着色	江戸時代前期 （17世紀）	摘水軒記念文化振興財団 （府中市美術館寄託）	①	
13	白隠慧鶴 はくいん えかく	蛤蜊観音図 はまぐりかんのんず	1幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）	早稲田大学 會津八一記念博物館	①	前期
15	白隠慧鶴 はくいん えかく	すたすた坊主図 すたすたぼうずず	1幅	紙本墨画	江戸時代中期 （18世紀後半）		①	
16	白隠慧鶴 はくいん えかく	関羽図 かんうず	1幅	紙本着色	宝暦3年（1753）		①	
17	東嶺円慈 とうれい えんじ	茶柄杓図 ちゃびしゃくず	1幅	紙本墨画	江戸時代中期 （18世紀）	早稲田大学 會津八一記念博物館	①	後期
18	東嶺円慈 とうれい えんじ	禅経達磨之尊像 ぜんきょうだるまのそんぞう	1幅	紙本着色	天明元年（1781）		①	
19	福原五岳 ふくはら ごがく	面壁達磨図 めんぺきだるまず	1幅	絹本着色	天明3年（1783）		①	
21	春叢紹珠 しゅんそう しょうじゅ	三番叟図 さんばそうず	1幅	紙本墨画	天保元年（1830）	早稲田大学 會津八一記念博物館	①	前期
22	春叢紹珠 しゅんそう しょうじゅ	皿回し布袋図 さらまわしほていず	1幅	紙本墨画	江戸時代中期—後期 （18世紀後半— 19世紀前半）		①	
23	惟精宗磬 いせい そうけい	断臂図 だんぴず	1幅	紙本墨画	大正11年（1922）	早稲田大学 會津八一記念博物館	①	後期
29	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	十六羅漢図 じゅうろくらかんず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）		①	
31	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	竹虎図 たけとらず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）		①	

作品番号	作者	作品名	員数	材質	時代（世紀）・制作年	所蔵	章	展示期間
32	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	柳に牛図 やなぎにうしず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）	摘水軒記念文化振興財団 （府中市美術館寄託）	①	
33	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	牛図 うしず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）		①	
34	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	老子図 ろうしず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）		①	
35	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	丹霞焼仏図 たんかしょうぶつず	1幅	絹本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）		①	
36	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	神農図 しんのうず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）		①	
37	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	豊干禅師・寒山拾得図屏風 ぶかんぜんじ・かんざんじっとくずびょうぶ	6曲1双	紙本墨画	文政5年（1822）	幻住庵（福岡市）	①	
38	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	小蔵梅花図 こぞうばいかず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）	幻住庵（福岡市）	①	後期
39	仙厓義梵 せんがい ぎぼん	蜆子和尚図 けんすおしょうず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）	幻住庵（福岡市）	①	前期
40	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	寒山拾得図 かんざんじっとくず	2幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		①	
41	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	狗子図 くしず	1幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）	摘水軒記念文化振興財団 （府中市美術館寄託）	①	
42	円山応挙 まるやま おうきょ	時雨狗子図 しぐれくしず	1幅	絹本墨画淡彩	明和4年（1767）	府中市美術館	①	
43	円山応挙 まるやま おうきょ	子犬図 こいぬず	1幅	紙本墨画淡彩	天明4年（1784）		①	
44	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	菊花子犬図 きっかこいぬず	1幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		①	
45	小林一茶 こばやし いっさ	「苦の娑婆や」自画賛 くのしゃばや じがさん	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）		② i	
46	呉春 ごしゅん	人物図 じんぶつず	1幅	紙本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）	社会福祉法人 共生福祉会	② i	前期
47	遠藤曰人 えんどう あつじん	猫児図 ねこず	1幅	紙本墨画	江戸時代後期 （19世紀前半）	仙台市博物館	② i	後期
48	遠藤曰人 えんどう あつじん	蛙の相撲図 かえるのすもうず	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代後期 （19世紀前半）	仙台市博物館	② i	前期
49	遠藤曰人 えんどう あつじん	「杉苗や」句自画賛 すぎなえやく じがさん	1幅	紙本墨画淡彩	天保6年（1835）	社会福祉法人 共生福祉会	② i	後期
50	遠藤曰人 えんどう あつじん	ぽんぽこ祭図 ぽんぽこまつりず	1幅	紙本着色	江戸時代後期 （19世紀前半）	仙台市博物館	② i	前期
53	岡田米山人 おかだ べいさんじん	寿老人図 じゅろうじんず	1幅	絹本着色	文化8年（1811）		② i	
54	円山応挙 まるやま おうきょ	寿老人図 じゅろうじんず	1幅（3幅のうち）	絹本着色	天明5年（1785）		② i	
56	亀田鵬斎 かめだ ぼうさい	山水図 さんすいず	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代後期 （19世紀前半）		② i	前期
58	佐竹蓬平 さたけ ほうへい	山水図 さんすいず	1幅	絹本着色	江戸時代中期ー後期 （18世紀後半ー 19世紀初め）		② i	後期
60	彭城百川 さかき ひゃくせん	初午図 はつうまず	1幅	紙本着色	延享4年（1747）		② i	
61	冨田渓仙 とみた けいせん	沈竈・容膝 ちんそう・ようしつ	2幅	紙本墨画淡彩	大正2年（1913）	福岡県立美術館	② i	
62	冨田渓仙 とみた けいせん	牡丹唐獅子図 ぼたんからじしず	1幅	紙本着色	大正ー昭和時代 （20世紀前半）	福岡県立美術館	② i	後期
66	夏目漱石 なつめ そうせき	柳下騎驢図 りゅうかきろず	1幅	絹本着色	大正時代前半頃 （1912ー16）		② i	
67	伊藤若冲 いとう じゃくちゅう	伏見人形図 ふしみにんぎょうず	1幅	紙本着色	寛政10年（1798）		② ii	前期
68	伊藤若冲 いとう じゃくちゅう	伏見人形図 ふしみにんぎょうず	1幅	紙本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		② ii	後期
69	忍頂寺静村 にんちょうじ せいそん	坂田金時図 さかたきんときず	1幅	絖本着色	明治4年（1871）		② ii	
70	歌川国芳 うたがわ くによし	荷宝蔵壁のむだ書 にたからぐらかべのむだがき	3枚組	紙本木版	江戸時代後期 （19世紀前半）		② ii	前期
71	歌川国芳 うたがわ くによし	荷宝蔵壁のむだ書 にたからぐらかべのむだがき	2枚	紙本木版	江戸時代後期 （19世紀前半）		② ii	後期

作品番号	作者	作品名	員数	材質	時代（世紀）・制作年	所蔵	章	展示期間
72	アンリ・ルソー あんり・るそー	フリュマンス・ビッシュの肖像 ふりゅまんす・びっしゅのしょうぞう	1面	キャンバス、油彩	1893（明治26）年頃	世田谷美術館	② ii	
73	三岸好太郎 みぎし こうたろう	友人ノ肖像 ゆうじんのしょうぞう	1面	キャンバス、油彩	大正13年（1924）	北海道立 三岸好太郎美術館	② ii	
75	倉田三郎 くらた さぶろう	正子像 まさこぞう	1面	キャンバスボード、 油彩	大正12年（1923）	府中市美術館	② ii	
76	倉田三郎 くらた さぶろう	果実図 かじつず	1面	板、油彩	大正11年（1922）	府中市美術館	② ii	
77	糸井重里原作・湯村輝彦画 いとい しげさと げんさく・ゆむら てるひこ が	『情熱のペンギンごはん』 じょうねつのぺんぎんごはん	1冊	書籍 （情報センター出版局）	昭和55年（1980）		② ii	
78	湯村輝彦 ゆむら てるひこ	『SURVIVAL』（STAGE 8） さばいばる（すてーじ えいと）	1冊	書籍（ACT）	昭和57年（1982）		② ii	
79	湯村輝彦 ゆむら てるひこ	『テリー百%』 てりーひゃくぱーせんと	1冊	書籍 （PARCO出版）	昭和56年（1981）		② ii	
80	テリー・ジョンスン（湯村輝彦） てりー・じょんすん（ゆむら てるひこ）	『ヘタうま略画・図案辞典』 へたうまりゃくが・ずあんじてん	1冊	書籍 （誠文堂新光社）	昭和61年（1986）		② ii	
81	湯村輝彦 ゆむら てるひこ	『湯村輝彦ヒットパレード』 ゆむらてるひこひっとぱれーど	1冊	書籍 （美術出版社）	昭和56年（1981）		② ii	
82	相馬公平著・湯村輝彦画 そうま こうへい ちょ・ゆむら てるひこ が	『ハゲハゲライフ』 はげはげらいふ	1冊	書籍（講談社）	平成11年（1999）		② ii	
83	蛭子能収 えびす よしかず	「骨正月」 ほねしょうがつ	1冊	書籍 『なんとなくピンピン』 （青林堂）	昭和58年（1983） *初出は『宝島』 昭和58年（1983） 2月号		② ii	
84	徳川家光 とくがわ いえみつ	木兎図 みみずくず	1幅	紙本墨画	江戸時代前期 （17世紀前半）	養源寺（東京都文京区）	② iii	
85	徳川家光 とくがわ いえみつ	兎図 うさぎず	1幅	紙本墨画	江戸時代前期 （17世紀前半）		② iii	
88	徳川家綱 とくがわ いえつな	鶏図 にわとりず	1幅	紙本着色	江戸時代前期 （17世紀後半）		② iii	
89	徳川家綱 とくがわ いえつな	闘鶏図 とうけいず	1幅	紙本墨画	江戸時代前期 （17世紀後半）	公益財団法人 徳川記念財団	② iii	後期
90	徳川家綱 とくがわ いえつな	親鶏雛図 おやどりひなず	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代前期 （17世紀後半）	公益財団法人 徳川記念財団	② iii	前期
96	稲葉弘通 いなば ひろみち	鶴図 つるず	1幅	絹本着色	文化8年（1811）		② iii	
97	伊藤若冲 いとう じゃくちゅう	鯉図 こいず	1幅	紙本墨画	江戸時代中期 （18世紀後半）		③	前期
98	伊藤若冲 いとう じゃくちゅう	福禄寿図 ふくろくじゅず	1幅	紙本墨画	江戸時代中期 （18世紀後半）		③	後期
101	中村芳中 なかむら ほうちゅう	十二ヶ月花卉図押絵貼屏風 じゅうにかげつかきずおしえばりびょうぶ	6曲1双	絹本着色	江戸時代中期ー後期 （18世紀後半ー 19世紀前半）	ポルトム インターナショナル北海道	③	右隻:前期 左隻:後期
103	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	郭子儀図 かくしぎず	2幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）	府中市美術館寄託	③	
104	岸礼 がん れい	百福図 ひゃくふくず	1幅	紙本墨画淡彩	明治6年（1873）	敦賀市立博物館	③	後期
105	狩野典信 かのう みちのぶ	唐獅子図屏風 からじしずびょうぶ	2曲1隻	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）	仙台市博物館	③	前期
106	山村耕花 やまむら こうか	獅子 しし	2幅	絹本着色	大正ー昭和時代 （20世紀前半）		③	
107	村山槐多 むらやま かいた	スキと人 すきとひと	1面	紙本墨画	大正3年（1914）	府中市美術館	③	
108	児島善三郎 こじま ぜんざぶろう	松 まつ	1面	キャンバス、油彩	昭和13年（1938）頃	府中市美術館	③	
110	岸駒 がん く	寒山拾得図 かんざんじっとくず	1幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）	敦賀市立博物館	④	前期
111	与謝蕪村 よさ ぶそん	寒山拾得図 かんざんじっとくず	2幅	絹本墨画淡彩	宝暦8年（1758）		④	前期
112	与謝蕪村 よさ ぶそん	寒山拾得図 かんざんじっとくず	2幅	紙本着色	安永7年（1778）		④	後期
114	狩野永朝 かのう えいちょう	大黒天図 だいこくてんず	1幅	紙本墨画淡彩	元治元年（1864）		④	後期
115	与謝蕪村 よさ ぶそん	寿老人図 じゅろうじんず	1幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		④	前期

作品番号	作者	作品名	員数	材質	時代（世紀）・制作年	所蔵	章	展示期間
116	青木夙夜 あおき しゅくや	南極老人図 なんきょくろうじんず	1幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		④	後期
118	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	鶏図 にわとりず	1幅	絹本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		④	
120	祇園井特 ぎおん せいとく	美人図 びじんず	1幅	絹本着色	江戸時代中期－後期 （18世紀後半－ 19世紀前半）		④	前期
121	祇園井特 ぎおん せいとく	お菊幽霊図 おきくゆうれいず	1幅	紙本着色	江戸時代中期－後期 （18世紀後半－ 19世紀前半）	福岡市博物館	④	前期
122	祇園井特 ぎおん せいとく	墓場の幽霊図 はかばのゆうれいず	1幅	紙本着色	江戸時代中期－後期 （18世紀後半－ 19世紀前半）	福岡市博物館	④	後期
124	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	老子図 ろうしず	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代中期 （18世紀後半）	敦賀市立博物館	④	後期
125	石崎融思 いしざき ゆうし	唐人物図 とうじんぶつず	1幅	絹本着色	江戸時代中期－後期 （18世紀後半－ 19世紀前半）		④	
126	曽我蕭白 そが しょうはく	後醍醐天皇笠置潜逃図 ごだいごてんのうかさぎせんとうず	1幅	紙本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		④	
128	曽我二直庵 そが にちょくあん	猿図 さるず	1幅	紙本墨画	江戸時代前期 （17世紀）		④	
131	中村芳中 なかむら ほうちゅう	鬼の念仏図 おにのねんぶつず	1幅	紙本着色	江戸時代中期－後期 （18世紀後半－ 19世紀前半）		④	
132	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	郝大通図 かくだいつうず	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代中期 （18世紀後半）		④	前期
134	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	なめくじ図 なめくじず	1幅	紙本墨画淡彩	江戸時代中期 （18世紀後半）		④	後期
135	長沢蘆雪 ながさわ ろせつ	蛸と蓮華図 たことれんげず	1幅	紙本着色	江戸時代中期 （18世紀後半）		④	
136	萬鉄五郎 よろず てつごろう	仁丹とガス灯 じんたんとがすとう	1面	板、油彩	大正元年（1912）頃	岩手県立美術館	④	
137	萬鉄五郎 よろず てつごろう	日の出 ひので	1面	紙本着色	大正8年（1919）頃	萬鉄五郎記念美術館	④	
138	萬鉄五郎 よろず てつごろう	軽業師 かるわざし	1面	板、油彩	大正元年（1912）頃	萬鉄五郎記念美術館	④	
N1	白隠慧鶴 はくいん えかく	布袋図 ほていず	1幅	紙本墨画	江戸時代中期 （18世紀後半）		①	
N2	白隠慧鶴 はくいん えかく	楊柳観音図 ようりゅうかんのんず	1幅	紙本墨画	江戸時代中期 （18世紀後半）		①	
N3	円山応挙 まるやま おうきょ	山水図 さんすいず	1幅	絹本墨画淡彩	明和6年（1769）		② i	
N4	三岸好太郎 みぎし こうたろう	兄及ビ彼ノ長女 あにおよびかれのちょうじょ	1面	キャンバス、油彩	大正13年（1924）	北海道立 三岸好太郎美術館	② ii	
N5	蛭子能収 えびす よしかず	『私は何も考えない』 わたしはなにもかんがえない	1冊	書籍（青林堂）	昭和58年（1983）		② ii	
N6	蛭子能収 えびす よしかず	『私の彼は意味がない』 わたしのかれはいみがない	1冊	書籍（青林堂）	昭和57年（1982）		② ii	
N7	蛭子能収 えびす よしかず	『地獄に堕ちた教師ども』 じごくにおちたきょうしども	1冊	書籍（青林堂）	昭和56年（1981）		② ii	
N8	湯村輝彦・河村要助 ゆむら てるひこ・かわむら ようすけ	『にっぽんのえ―現代トップアーティスト自選集 』（1） にっぽんのえ げんだいとっぷあーてぃすとじせんしゅう	1冊	書籍（小学館）	昭和59年（1984）		② ii	
H1	片岡球子 かたおか たまこ	面構　浮世絵師歌川国芳と浮世絵研究家鈴木重三先生 つらがまえ　うきよえしうたがわくによしとうきよえけんきゅうかすずきじゅうぞうせんせい	1面	紙本彩色	昭和63年（1988）	北海道立近代美術館	② ii	
H2	蠣崎矩廣 かきざき のりひろ	唐獅子と牡丹 からじしとぼたん	1幅	絹本彩色	江戸時代中期 （18世紀初）	北海道立近代美術館	④	
H3	蠣崎波響 かきざき はきょう	松と熊図 まつとくまず	1幅	絹本彩色	制作年不詳	北海道立近代美術館	④	
H4	白青山 つくも せいざん	寒山拾得 かんざんじっとく	1幅	紙本淡彩	大正6年（1917）	北海道立近代美術館	④	
H5	竹内健 たけうち けん	フライルフトクール ふらいるふとくーる	1面	キャンバス、油彩	昭和11年（1936）	北海道立近代美術館	④	

＊展示室内の温度・湿度・照明は、作品保護に関する国際的基準と所蔵者の貸出条件等によって管理されております。そのため、展示室の環境がお客様にとって快適でない場合もございますが、ご理解くださいますようお願いいたします。
＊感染症拡大防止のため、展示ケースに手や顔などを触れないよう、ご協力をお願いいたします。

3　御大典記念 特別展　よみがえる正倉院宝物
－再現模造にみる天平の技－

Special Exhibition Celebrating the Enthronement Ceremonies of His majesty the Emperor
The Reproduction of Shosoin Treasures　—Encountering Tenpyo Craftsmanship through the Recreation of 8th Century Works—

会　　期：9 月 15 日（水）－11 月 7 日（日）
会　　場：北海道立近代美術館　展示室 B
主　　催：宮内庁正倉院事務所、北海道立近代美術館、北海道新聞社、朝日新聞社、NHK 札幌拠点放送局
後　　援：日本工芸会、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 PTA 連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会
学術協力：奈良国立博物館、九州国立博物館
協　　賛：ライブアートブックス、医療法人 さっぽろ脊椎外科クリニック

正倉院宝物とは、奈良・東大寺の倉であった正倉院正倉に伝えられた約九千件におよぶ品々である。聖武天皇ゆかりの品をはじめ、その多くが奈良時代の作で、調度品、楽器、遊戯具、武器・武具、文房具、仏具、文書、染織品など多彩な分野にわたる。中には、シルクロードを通じて西域や唐からもたらされた国際色豊かな品々も含まれるなど、天平文化華やかなりし当時の東西交流もうかがい知ることができる。しかし、約 1300 年を経て今日にいたる正倉院宝物は、きわめて脆弱であるため、毎年秋に奈良で開催される「正倉院展」で一部が展覧される以外はほとんど公開されてはこなかった。

正倉院宝物の当初の姿を再現する模造製作は、より多くの人に正倉院宝物の魅力を伝え、その卓越した技術を後世に伝承することを目的として、明治時代から始められた。1972（昭和 47）年からは宝物を管理する宮内庁正倉院事務所によって、宝物の材料や技法、構造までを忠実に再現する本格的な模造事業が行われている。人間国宝らによる伝統技術の熟練の技と最新の科学的調査・研究成果の融合により、見た目だけでなく、内部まで忠実に再現された作品は、単なる模造ではなく、高い芸術性と学術性を併せ持つ究極の伝統工芸品であるといえる。

本展では、天皇陛下の御即位をはじめとする皇室の御慶事を記念し、これまでに製作された数百点におよぶ再現模造作品のなかから、選りすぐりの逸品を一堂に集めて紹介した。

9 月 30 日までは緊急事態宣言期間ということもあったが、これまで北海道では紹介される機会のなかった奈良時代の工芸品を再現した模造に関心が集まり、好評のうちに無事終了した。

●巡回
奈良国立博物館
令和 2 年 7 月 4 日～9 月 6 日

松坂屋美術館
令和 2 年 10 月 3 日～11 月 23 日

沖縄県立博物館・美術館
令和 3 年 2 月 9 日～3 月 28 日

九州国立博物館
令和 3 年 4 月 20 日～6 月 13 日

新潟県立近代美術館
令和 3 年 7 月 3 日～8 月 29 日

サントリー美術館
令和 4 年 1 月 26 日～3 月 27 日

松本市美術館
令和 4 年 4 月 21 日～6 月 12 日

●展示構成
第一章　楽器・伎楽
第二章　仏具・箱と几・儀式具
第三章　染織
第四章　鏡・調度・装身具
第五章　刀・武具
第六章　筆墨

●図録
仕　　様：A4 変形判（280×225㎜）、224 ページ
編　　集：宮内庁正倉院事務所、奈良国立博物館、九州国立博物館、朝日新聞社
編集協力：木村しのぶ氏（株式会社福本事務所）
デザイン：藤本敏行（株式会社ライブアートブックス）
印　　刷：株式会社ライブアートブックス
発　　行：朝日新聞社

●広報印刷物
ポスター：B2 判縦
チ ラ シ：A3 判二つ折り
観 覧 券：160×70㎜（共通券以外）、180×70㎜（共通券）
出品目録：A3 判二つ折り
デザイン：中島和哉氏（中島和哉デザイン事務所）
印　　刷：岩橋印刷株式会社

●作品輸送・展示
ヤマトグローバルロジスティクス

●会場設営
アークスタジオ

●関連事業等
［講演会］
演　　題：特別講演会「正倉院の再現模造の魅力」
日　　時：9 月 15 日（水）　14 時～15 時 30 分
会　　場：当館講堂
講　　師：西川明彦氏（正倉院事務所長）

［講座］
演　　題：見どころ解説
日　　時：11 月 3 日（日）　14 時～（約 30 分）
会　　場：当館講堂
講　　師：野田佳奈子（当館学芸員）

［音声ガイド］
ナレーション：山根基世氏

●主な掲載、放送等
［新聞］
北海道新聞
「よみがえる正倉院宝物　道立近代美術館　あすから　特別展」山中龍之助　9 月 14 日（火）
「正倉院の『宝物』80 点」　9 月 15 日（水）
「天平の技　1300 年の時超えて」　9 月 16 日（木）
「天平の美　匠の技で再現」　10 月 1 日（金）
「天平を再現した『本物』」　10 月 1 日
「正倉院　『宝物』は語る①～⑤」山中龍之助氏　10 月 11 日（月）、12 日（火）、13 日（水）、15 日（金）、16 日（土）
「天平の輝き　解明に一役　『再現模造』に万感の思い」10 月 16 日（土）

御大典記念 特別展 よみがえる

正倉院宝物

再現模造にみる天平の技

主　催：宮内庁正倉院事務所、北海道立近代美術館、北海道新聞社、
朝日新聞社、NHK札幌拠点放送局
学術協力：奈良国立博物館、九州国立博物館
協　賛：ライブアートブックス、医療法人 さっぽろ脊椎外科クリニック
後　援：日本工芸会、北海道、北海道教育委員会、札幌市、
札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、
北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、
北海道私立中学高等学校協会、
公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会

2021年9月15日(水)—11月7日(日) ／ 北海道立近代美術館

番号	作品名称	員数	製作年	製作者	所蔵
第一章　楽器・伎楽					
1	磁鼓	一口	昭和62年 (1987)	加藤卓男	宮内庁正倉院事務所
2	洞簫	三管	明治時代 (19世紀)	奈良博覧会社	奈良国立博物館
3	甘竹簫	一口	昭和48年 (1973)	坂本曲齋 (二代)	宮内庁正倉院事務所
4	漆槽箜篌	一張	明治27年 (1894)	稲生真履	宮内庁正倉院事務所
6	金銀平文琴	一張	明治12年 (1879)	小川松民　他	東京国立博物館
7	檜和琴	一張	明治時代 (19世紀)	森川杜園	奈良国立博物館
8	螺鈿紫檀阮咸	一面	明治32年 (1899)		東京国立博物館
9	桑木阮咸	一面	明治32年 (1899)	稲生真履、田中藤次郎、前田貫業	東京国立博物館
10	螺鈿紫檀五絃琵琶	一面	平成23～30年 (2011～18)	木地：坂本曲齋 (三代) 象嵌：新田紀雲 加飾：北村昭斎・松浦直子 絃：丸三ハシモト株式会社	宮内庁正倉院事務所
12	模写　紫檀木画槽琵琶捍撥画	一枚	平成30年(2018)	松浦直子	宮内庁正倉院事務所
13	琵琶袋	一口	平成3年 (1991)	株式会社龍村美術織物	宮内庁正倉院事務所
15	紅牙撥鏤撥	一枚	昭和58年 (1983)	吉田文之	宮内庁正倉院事務所
17	獅子面	一口	平成16～18年 (2004～06)	財団法人美術院 国宝修理所	宮内庁正倉院事務所
19	伎楽人形　呉女	一具	昭和時代 (20世紀)	高田装束株式会社	奈良国立博物館
20	伎楽人形　迦樓羅	一具	昭和時代 (20世紀)	株式会社龍村美術織物	奈良国立博物館
第二章　仏具・箱と几・儀式具					
21	黄銅合子	一合	平成16年 (2004)	鋳造：般若勘渓 彫金：浦島紫星	宮内庁正倉院事務所
23	火舎	一口	明治時代 (19世紀)	森川杜園	奈良国立博物館

番号	作品名称	員数	製作年	製作者	所蔵
24	佐波理加盤	一口	平成12年（2000）	般若勘渓	宮内庁正倉院事務所
25	二彩鉢	一口	昭和63年（1988）	加藤卓男	宮内庁正倉院事務所
26	漆彩絵花形皿	一枚	平成2・5年（1990・93）	素地・蒟漆：塩多慶四郎 彩色：大山明彦 截金：江里佐代子	宮内庁正倉院事務所
29	紫檀木画箱	一合	昭和59～60年（1984～85）	大坂弘道	宮内庁正倉院事務所
31	蘇芳地金銀絵箱	一合	昭和57年（1982）	素地：坂本曲齋（三代） 彩色：岩井弘	宮内庁正倉院事務所
32	黒柿蘇芳染金銀山水絵箱	一合	昭和7年（1932）	吉田包春	東京国立博物館
34	緑地彩絵箱	一合	明治時代（19世紀）		東京国立博物館
36	天平宝物筆	一本	昭和53年（1978）	藤野雲平（十四代）	宮内庁正倉院事務所
38	緑牙撥鏤尺	一枚	平成8年（1996）	村松親月	奈良国立博物館
39	子日犂	一口	明治時代（19世紀）		東京国立博物館
40	粉地彩絵倚几	一枚	明治時代（19世紀）		東京国立博物館
42	子日目利箒	一枚	明治11年（1878）		東京国立博物館
43	粉地彩絵倚几	一枚	明治～昭和時代（19～20世紀）		東京国立博物館

第三章　染織

49	袈裟箱袋	一口	平成元年（1989）	生地：高田倭男 染色：西本多喜江	宮内庁正倉院事務所
50	袈裟箱	一合	平成9年（1997）	増村紀一郎	宮内庁正倉院事務所
51	讃岐国調白絁	一匹	平成6年（1994）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
52	伊豫国調白絁	一帖	平成7年（1995）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
53	常陸国調白絁	一帖	平成7年（1995）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
54	丹後国調白絁	一帖	平成7年（1995）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
55	土佐国調白絁	一帖	平成7年（1995）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
58	阿波国調黄絁	一帖	平成8年（1996）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
59	伊豆国調緋絁	一帖	平成8年（1996）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
61	小菱格子文羅	一帖	平成9年（1997）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
64	入子菱格子文赤茶羅	一帖	平成10年（1998）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
65	八稜唐花文赤綾	一帖	平成12年（2000）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所
67	紫地花文錦	一帖	平成13年（2001）	株式会社川島織物	宮内庁正倉院事務所

番号	作品名称	員数	製作年	製作者	所蔵
第四章　鏡・調度・装身具					
69	花鳥背八角鏡	一面	昭和54年（1979）	鈴木貫爾	宮内庁正倉院事務所
71	黄金瑠璃鈿背十二稜鏡	一面	平成11年（1999）	田中輝和	宮内庁正倉院事務所
73	銀薫炉	一合	平成13年（2001）	鍛造：玉川宣夫 彫金：市川正美	宮内庁正倉院事務所
75	紅牙撥鏤碁子	二枚	平成8年（1996）	村松親月	奈良国立博物館
76	紺牙撥鏤碁子	二枚	平成8年（1996）	村松親月	奈良国立博物館
77	青斑石髄合子	一合	平成10年（1998）	詫間裕	宮内庁正倉院事務所
78	漆挟軾	一基	昭和48年（1973）	素地：坂本曲齋（二代） 髹漆：北村大通	宮内庁正倉院事務所
80	黒柿両面厨子	一基	昭和時代（20世紀）	竹内碧外	奈良国立博物館
82	紫檀金銀絵書几	一基	昭和29年（1954）	木地：坂本曲齋（二代） 彩色：粟津魏三郎	奈良国立博物館
84	木画双六局	一基	昭和7年（1932）	木内省古	東京国立博物館
87	螺鈿玉帯箱	一合	昭和7年（1932）	箱：北村久齋 嚫：高田義男	東京国立博物館
88	紺玉帯	一条	昭和55年（1980）	牧田三郎	宮内庁正倉院事務所
91	雑帯　第十二号	一条	昭和56年（1981）	山岡一晴	宮内庁正倉院事務所
92	雑帯　第十九号	一条	昭和56年（1981）	山岡一晴	宮内庁正倉院事務所
94	黄楊木把鞘刀子	一双 (二口)	平成19～20年（2007～08）	刀身：宮入法廣 象嵌：橋本琇巴 研磨：熊井光徹 外装：髙山一之 金具：宮島宏	宮内庁正倉院事務所
97	緑牙撥鏤把鞘金銅荘刀子	一口	明治時代（19世紀）	奈良博覧会社	奈良国立博物館
98	紫檀把黒漆二合鞘刀子	一口	明治時代（19世紀）	奈良博覧会社	奈良国立博物館
100	紫檀把牟久木鞘金銅荘刀子	一口	明治時代（19世紀）	奈良博覧会社	奈良国立博物館
第五章　刀・武具					
104	黒作大刀　第十三号	一口	平成7～8年（1995～96）	刀身：大野義光 研磨：小野博 外装木地：髙山一之 髹漆：川之邊朝章 金具：宮島宏	宮内庁正倉院事務所
106	呉竹鞘御杖刀	一口	明治時代（19世紀）		宮内庁正倉院事務所

番号	作品名称	員数	製作年	製作者	所蔵
107	破陣楽大刀　第五号　其二	一口	明治時代（19世紀）		宮内庁正倉院事務所
109	黄金荘大刀	一口	明治8年（1875）	奈良博覧会社	奈良国立博物館
111	金銅荘横刀	一口	明治8年（1875）	奈良博覧会社	奈良国立博物館
114	漆葛胡禄　第七号	一口	明治36年（1903）		宮内庁正倉院事務所
115	赤漆葛胡禄　第十三号	一口	明治36年（1903）		宮内庁正倉院事務所
116	箭	五本	明治27年（1894）		宮内庁正倉院事務所

第六章　筆墨

117	墨	二挺	明治8年（1875）	古梅園	奈良国立博物館
118	筆	五本	明治時代（19〜20世紀）	川勝亀三	奈良国立博物館
119	正倉院古文書正集　第三十八巻 （筑前国嶋郡川辺里戸籍）	一巻	昭和57年（1982）	国立歴史民俗博物館	
120	続修正倉院古文書　第三巻 （御野国加毛郡半布里戸籍）	一巻	昭和58年（1983）	国立歴史民俗博物館	
121	正倉院古文書正集　第十巻 （大倭国正税帳）	一巻	昭和59年（1984）	国立歴史民俗博物館	
122	正倉院古文書正集　第十五巻 （尾張国正税帳）	一巻	昭和57年（1982）	国立歴史民俗博物館	
123	正倉院古文書正集　第四十三巻 （筑後国正税帳・薩摩国正税帳）	一巻	昭和60年（1985）	国立歴史民俗博物館	
124	正倉院古文書正集　第一巻 （神祇官移ほか）	一巻	昭和58年（1983）	国立歴史民俗博物館	
125	正倉院古文書正集　第七巻 （良弁牒・道鏡牒ほか）	一巻	昭和59年（1984）	国立歴史民俗博物館	
126	続々修正倉院古文書　第一帙第一巻 （写経生手実）	一巻	平成11年（1999）	国立歴史民俗博物館	
127	続修正倉院古文書　第二十巻 （写経生請暇解）	一巻	昭和62年（1987）	国立歴史民俗博物館	
128	正倉院宝庫模型	一基	明治8年（1875）	青山菊松	奈良国立博物館

作品番号はキャプションおよび展覧会図録の番号と一致します。巡回展と合わせての連番のため、本リストに番号のない作品は札幌会場には出品されません。

3-3　展覧会③ 貸館

◆貸館一覧

当館では貸館事業として道内・外の公募団体、報道機関等に対し特別展示室及び講堂等の会場提供を行っており、公募展や全国組織による道内巡回展、また文化芸術に関わる催しに利用されている。

本年度は、展示室 B については年間開催日数 185 日間のうち 119 日間（64.3%）を、主催者の希望する開催時期にあわせて調整のうえ貸し出した。その利用状況は次のとおりとなっている。また、講堂については 6 件の催しに対し 6 日間会場を貸し出した。

展覧会名	主催者名	会期	開催日数	観覧者数	1 日平均観覧者数
藤沢市所蔵　招き猫亭コレクション　猫まみれ展 ＭＡＸ	テレビ北海道 北海道立近代美術館	令和 3 年 4 月 1 日(木) ～4 月 4 日(日)	4	2,214	553
平成 30 年度文化庁長官表彰・令和元年度北海道功労賞／受賞記念－文人書家の集大成－第 17 回小原道城・書と水墨画個展	第 17 回小原道城個展実行委員会	6 月 26 日(土) ～7 月 4 日(日)	8	4,342	542
御大典記念　特別展 よみがえる正倉院宝物－再現模造に見る天平の技－	宮内庁正倉院事務所、北海道立近代美術館、北海道新聞社、朝日新聞社、NHK 札幌拠点放送局	9 月 15 日(水) ～11 月 7 日(日)	48	26,251	546
HBC 創立 70 周年記念 富野由悠季の世界－ガンダム、イデオン、そして今	HBC 北海道放送、北海道新聞社	11 月 17 日(水)～ 令和 4 年 1 月 23 日(日)	54	15,604	288
草心会北海道支部創立 30 周年記念　山口南艸の書とわか葉会門流展	書道わか葉会	3 月 26 日(土) ～4 月 3 日(日)	5	1,393	278
		合計	119	49,804	418

※「猫まみれ展 MAX」の会期は令和 3 年 2 月 27 日(土)から

※「猫まみれ展 MAX」、「第 17 回小原道城・書と水墨画個展」及び「よみがえる正倉院宝物」は当館名義共催によって開催した

4　教育普及関係

1　移動美術館

移動美術館 2021　北海道立近代美術館コレクション

北海道には現在、北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館のある札幌をはじめとして、旭川・函館・帯広・釧路の各地に計 6 つの道立美術館・芸術館がある。これらの館は、それぞれが特色あるコレクションを持ち、地域に根ざしたさまざまな活動を展開している。それでもなお広域な本道における地理的条件等により、美術館来館の機会の少ない地域の人々に道立美術館の作品鑑賞の機会を提供し、美術への理解と関心を深めることを目的として、北海道内各地で移動美術館（ぐるっと美術館地域推進事業）を毎年実施している。作品展示の他、教育普及事業も行っている。

令和 3 年度は、道立近代美術館の所蔵作品の計 39 点を、道北の天塩町、道東の置戸町の 2 箇所で展示した。コレクションの柱である「エコール・ド・パリ」「ガラス工芸」「北海道の美術」を中心に、海外・現代の美術もあわせて紹介した。会場では展示作品に関する子ども向けのワークシートを配布し、鑑賞の一助とした。

ただし、前年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分配慮した実施となり、会場への入場や滞留状況にも留意してもらい、関連事業等も密集や近接を避けて行った。また、令和元年まで実施していた映像プログラムの上映及び、美術関連図書コーナーの設置は割愛した。

●会場、会期、主催・後援、入場者数

［天塩会場］

会　　場：天塩町社会福祉会館
会　　期：9 月 25 日(土)～9 月 29 日(水)　9 時～19 時
主　　催：天塩町教育委員会、北海道立近代美術館
入場者数：300 名

［置戸会場］

会　　場：置戸町中央公民館
会　　期：10 月 2 日(土)～10 月 7 日(木)　10 時～20 時
主　　催：置戸町教育委員会、北海道立近代美術館
入場者数：583 名

●関連事業

［作品解説］

天塩会場では、緊急事態宣言中での開催だったため、事前に収録した作品解説動画を視聴後、実際に作品を観覧。その後、リモートで質問に答えたり、感想を聞いたりした。置戸会場では、初日と最終日に、多目的ホールで学芸員による作品解説を行った。

・天塩会場

日　　時：9 月 29 日(水)　開館時間中 6 回
聴講者数：118 名（小中学生）
　　18 名（引率者）
解説動画：佐藤幸宏（当館上席専門員）
リモート対応：大石智子（当館学芸員）

・置戸会場

日　　時：10 月 2 日(土)　開館時間中 3 回
　　10 月 7 日(木)　開館時間中 3 回
聴講者数：10/2＝52 名（一般）
　　10/7＝9 名（一般）
　　44 名（小学生）
解　　説：10/2＝田村允英（当館学芸員）
　　10/7＝敷田弘子（当館学芸員）

出品目録

	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
北海道の美術					
1	北上聖牛	秋景	1955(昭和 30)	絹本彩色	44.1×50.6
2	山口蓬春	紫陽花	1957(昭和 32)	紙本彩色	58.6×72.5
3	久本春雄	手袋の女	1921(大正 10)	絹本彩色	103.0×66.0

	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）
4	田中針水	子供之図	1967(昭和 42)	紙本彩色	72.9×91.0
5	片岡球子	葛飾北斎	1976(昭和 51)	紙本彩色	116.0×79.0
6	福井爽人	北の岬	1993(平成 5)	紙本彩色	71.7×89.9
7	林竹治郎	野の花・庭の花		油彩・キャンバス	48.7×68.7
8	木田金次郎	忠別川畔より大雪山を眺む	1934(昭和 9)	油彩・キャンバス	53.0×72.5
9	小川マリ	アネモネ	1984(昭和 59)	油彩・キャンバス	60.0×81.0
10	大月源二	三河の農夫ポノマリヨフ	1943(昭和 18)	油彩・キャンバス	90.9×72.7
11	難波田龍起	軌跡	1956(昭和 31)	油彩・キャンバス	130.8×97.0
12	小川原脩	犬と曲りと雪と空と	1970(昭和 45)	油彩・キャンバス	72.8×50.0
13	相原求一朗	早春の漁村	1992(平成 4)	油彩・キャンバス	97.0×145.7
14	上野憲男	鏡に映る空	1976(昭和 51)	油彩・キャンバス	91.0×116.6
15	絹谷幸ニ	生命旭日（北海道礼讃）	2002(平成 14)	ミクストメディア・キャンバス	60.5×72.8
16	斎藤清	扉・英勝寺・鎌倉	1984(昭和 59)	木版・紙	72.0×46.0
17	阿部貞夫	祭の朝	1960(昭和 35)	木版・紙	66.5×52.5
18	金子誠治	あかね	1970(昭和 45)	木版・とりのこ紙	60.0×45.0
19	北岡文雄	漁村の午后	1966(昭和 41)	板目木版・紙	53.0×84.0
20	手島圭三郎	しまふくろうと冬の月	1992(平成 4)	木版・紙	53.0×75.0
21	本郷新	裸婦座像	1960(昭和 35)	ブロンズ	32.0×62.0×57.0
22	本田明ニ	馬頭	1972(昭和 47)	ブロンズ	25.0×75.0×42.0
エコール・ド・パリ					
23	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914 頃	油彩・ボード	46.0×60.0
24	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	73.5×61.0
25	ジュル・パスキン	キューバの人達	1917	油彩・キャンバス	53.0×64.0
26	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
27	マルク・シャガール	『死せる魂』チーチコフの到着	1925	エッチング・紙	22.0×28.6
28	マルク・シャガール	『死せる魂』取引をするチーチコフとソバケーヴィチ	1925	エッチング・紙	21.3×27.7
29	マルク・シャガール	『死せる魂』プリューシキンの部屋	1925	エッチング・紙	27.6×21.4
30	マルク・シャガール	『死せる魂』ゴーゴリとシャガール	1925	エッチング・紙	27.4×21.0
31	マルク・シャガール	『死せる魂』パーヴェル・イワーノヴィチ・チーチコフは旅籠に帰る	1925	エッチング・紙	27.6×21.7
海外・現代の美術					
32	ヴィクトル・ヴァザルリ	HEGYES	1964	コラージュ、アクリル絵具・紙	67.0×67.0
33	ヤーコブ・アガム	ギャラクシー・フェスティバル	1980	リトグラフ、アクリル絵具・紙	35.5×35.5
34	ブリジット・ライリー	ファイアバード	1971	シルクスクリーン・紙	66.4×94.6
35	靆嘔	PAT！PAT！PAT！	1970(昭和 45)	シルクスクリーン・紙	56.5×75.5
36	ジャン=ミシェル・フォロン	ジャングルの生物	1972	シルクスクリーン・紙	76.0×95.0
ガラス					
37	エミール・ガレ	雪中竹に鷹文花器		ガラス：被せガラス、型吹き、エッチング、エナメル彩、金彩	12.0×15.3×31.5
38	ドーム	野菊文花器		ガラス：斑文装飾、被せガラス、エッチング、カボション	14.0×38.0
39	岩田藤七	水差・上野の動物	1976(昭和 51)	ガラス：宙吹き	13.7×20.5×23.8

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ

2　ワークショップ

1　夏のワークショップ

例年であれば、小学生を対象に、楽しみながら美術に親しむことを目的として、学芸員の案内によるガイドツアーや工作などのワークショップを行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止した。

2　アートギャラリー北海道／みんなのアートプロジェクト 2022
「プラバンでキーホルダーづくり！　今年の〔えと〕をもちあるこう」

「コレクション・ストーリーズ　ヨーロッパの版画」に関連し、ドラクロワの≪立ち止まる虎≫を題材に、小学生対象のワークショップを行った。

プラバンに原画の描線を写し取り、好きな色を使って彩色を行った。原画をなぞることで素早い描線による動的な表現を学び、白黒の原画に想像力を働かせて着彩することで、作品と向かい合う機会となった。

さらにトースターで焼いた後、リングを取り付けてキイホルダーにすることで、アートをより身近に楽しみ、理解を深める機会となった。

日　　時：1 月 22 日（土）　13 時 30 分～15 時
会　　場：当館 2 階　造形室
参加者：小学生 3 名
講　　師：当館学芸員
参加料：無料
内 容：参加者は展示室で展覧会を鑑賞。絵の中から今年の干支である虎を見つけ、表情や動きに注目しながら作品への理解を深めた。
その後造形室に戻り、原画のコピーを下敷きに、描線を透明プラバンへ写し取り、乾燥した後彩色。原画は白黒のため、それぞれが想像力を働かせながら、カラフルな虎を描き出した。トースターで焼いて収縮させ厚みを増した上で、金具を取り付け、それぞれの個性あふれるキイホルダーを完成させた。

3　解説活動

1　ミュージアム・トーク

近美コレクション開催時の毎週日曜日、展覧会会場にて、学芸員が、主に同展出品作品に関連した講話を、スライドを交えて行っている。

※時間はいずれも 14：00～、30 分程度
※令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため 5 月 2 日（日）～5 月 23 日（日）、8 月 29 日（日）の回を中止した。また、設備修繕工事のため 1 月 23 日（日）で今年度の実施は終了した。

タイトル	日時	場所	講師	人数
「池田良二　モノクロームの淵から」	4 月 4 日（日）	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	11
「現代ガラスのつくり方」	4 月 18 日（日）	展示室 A	田村允英（当館学芸員）	9
「難波田龍起―〈抽象〉を生きる」	4 月 25 日（日）	展示室 A	地家光二（当館上席専門員）	6
「三岸好太郎と北海道独立作家協会」	7 月 18 日（日）	展示室 A	大下智一（当館学芸企画課長）	7
「キース・ヴァン・ドンゲン―フォーヴへの道―」	7 月 25 日（日）	展示室 A	田村允英（当館学芸員）	10
「エコール・ド・パリと日本人画家たち」	8 月 1 日（日）	展示室 A	星野靖隆（当館学芸員）	13
「両大戦間のパリと芸術家たち」	8 月 8 日（日）	展示室 A	佐藤幸宏（当館上席専門員）	10
「三岸好太郎のアトリエ」	8 月 15 日（日）	展示室 A	敷田弘子(当館学芸員)	11
「個性の在り処―三岸好太郎を中心に」	8 月 22 日（日）	展示室 A	齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	12
「本間紹夫を探る―《室内》を中心に―	10 月 3 日（日）	展示室 A	津田しおり（北海道立三岸好太郎美術館学芸員）	9
「《ニコライ堂》をめぐって」	10 月 10 日（日）	展示室 A	大下智一（当館学芸企画課長）	14
「上野山清貢と南洋の夢」	10 月 17 日（日）	展示室 A	佐藤幸宏(当館上席専門員)	6
「岩崎英遠《明治》―新しい日本画の探求」	10 月 24 日（日）	展示室 A	大石智子(当館学芸員)	6
「鹿子木孟郎と明治の洋画」	10 月 31 日（日）	展示室 A	野田佳奈子(当館学芸員)	9
「《ニコライ堂》をめぐって」	11 月 7 日（日）	展示室 A	大下智一（当館学芸企画課長）	13
「アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス」	11 月 21 日（日）	展示室 A	敷田弘子(当館学芸員)	13
「版画の中の戦争―カロ、ホガースそしてゴヤ」	11 月 28 日（日）	展示室 A	田村允英（当館学芸員）	14
「深井克美《2 時 37 分》をめぐって」	12 月 5 日（日）	展示室 A	大下智一（当館学芸企画課長）	8
「ルネ・ラリックのガラス芸術」	12 月 12 日（日）	展示室 A	瀬戸厚志（当館学芸員）	12
「エミール・ガレ―もの言うガラス」	12 月 19 日（日）	展示室 A	大石智子(当館学芸員)	12
「ヴァザルリの生涯と作品」	12 月 26 日（日）	展示室 A	野田佳奈子(当館学芸員)	6
「デューラーの作品と表現」	1 月 9 日（日）	展示室 A	齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	16
「手袋を拾っただけなのに」	1 月 16 日（日）	展示室 A	地家光二（当館上席専門員）	11
「ムンクの絵画を読む」	1 月 23 日（日）	展示室 A	佐藤幸宏(当館上席専門員)	22
			計　24 回　260 名	

2　特別オリエンテーション

近美コレクションを観覧する団体に対して、学芸員が展覧会の概要と見所を紹介した。

日　　時：展覧会等開催期間
会　　場：当館講堂
講　　師：各展覧会担当学芸員
実施回数：2 回
参加人数：計 138 名

4　博物館実習【館園実習】

各大学の依頼により学生を受け入れ、学芸員資格取得のための博物館実習【館園実習】を行った。

実 施 日：8 月 3 日(火)～8 月 11 日(水)
8 月 8 日(日)、8 月 10 日(火)を除く 7 日間
各日とも 10 時～17 時（昼食休憩 1 時間を除く 6 時間）
講　　師：当館学芸員
実 習 生：9 名（京都芸術大学 1 名、札幌市立大学 1 名、多摩美術大学 1 名、東北芸術工科大学 1 名、北海道教育大学岩見沢校 3 名、北海道大学 2 名）

月日	実習内容				
	午前		午後		
8 月 3 日(火)	ガイダンス	【講義】近代美術館への招待 ―歴史と活動	【見学】近代美術館の施設見学	【見学】近美コレクション展見学	【講義】近代美術館の活動① コレクションの収集・管理および調査研究
8 月 4 日(水)	【見学】三岸好太郎美術館の施設・展覧会見学		【講義】近代美術館の活動② 教育普及活動		【講義】近代美術館の活動③ 展覧会の企画と運営
8 月 5 日(木)	【実務】作品取扱実習①―日本画		【実務】作品取扱実習② ―油彩・版画	【実務】野外彫刻の保存管理	
8 月 6 日(金)	【実習】作品取扱実習③―工芸		【実習】展示・保存環境の整備と管理		【講義】近代美術館の活動④ 施設管理と事業予算
8 月 7 日(土)	【実習】アートカードについて／アートカード活用案の検討		【実習】アートカード活用案の検討	【実習】アートカード活用案の実践・講評	
8 月 8 日(日)	休　　講				
8 月 9 日(月)	【実習】ワークシートについて／ワークシートの作成		【実習】ワークシートの作成	【実習】ワークシートの作成	
8 月 10 日(火)	休　　講				
8 月 11 日(水)	【実習】ワークシート発表・講評		【講義】近代美術館の活動⑤ ボランティアの活動	【研究】館園実習を振り返って	

5　ぐるっと三館鑑賞ツアー

平成 23（2011）年 4 月より北海道立近代美術館と北海道立三岸好太郎美術館の運営が一体化され、両館の常設展示の共通観覧料が新たに設定された。これを記念するとともに、この地域の魅力を広く道民にアピールするために、近代美術館～三岸好太郎美術館～知事公館の美術鑑賞ツアーを実施している。

例年、「ぐるっと三館鑑賞ツアー」と銘打ちツアーを開催しており、本年度も 10 月に予定し準備を進めていた。しかし、8 月 27 日（金）～9 月 30 日（木）まで新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されたことにより、広報期間を含め実施の見通しが立たなくなり、やむなく中止した。

6　出張アート教室

学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く活用できることを認識してもらうとともに、美術館等の所蔵作品の有効利用を図るため、学芸員が学校（小学校・中学校・高等学校および特別支援学校）に作品を持参して実作品を見せながら、鑑賞の手ほどきを行った。授業内容の詳細は各実施校の担当教諭と相談して組み上げるなど、美術館と学校とが連携して取り組む事業でもある。

本事業は、アート＆トーク・デリバリーの名称で平成 23（2011）年度に当館で試行的に実施を始め、翌平成 24 年度からは、道立美術館・芸術館 6 館全体の取り組みとして、北海道各地で実施している。

本年度は、全体で 7 校において実施。そのうち当館では、後志・空知・日高管内の計 2 校で実施した。

実施校数：2 校（小学校 1 校、養護学校 1 校）
実施回数：3 回
受講者数：計 69 名

テーマと作品	学校	日程	対象
「アートを探検－動く？！絵画を楽しもう」 内 容：美術館ならではのユニークな視点から、美術表現の多様さと、作品鑑賞の楽しさを学ぶ。 作 品：ヤーコブ・アガム＜『祝祭』お祭り気分＞＜『記憶』時の歩み－歴史＞＜リバティ No.5＞ 担 当：田村允英（当館学芸員）	北海道余市養護学校	11 月 2 日（水） 13:10-14:00	18 名 中学 1～3 年
「色鮮やかな木版画の世界」 内 容：図画工作や美術の表現（作品制作）授業と関連させた内容で、さまざまな作品を鑑賞する。 作 品：【版画】北岡文雄《沼の秋》《海の見える農場》《羅臼岳錦秋》《奥飛騨風景》《アントワープの跳ね橋》 担 当：大下智一（当館学芸課長）	登別市立鷲別小学校	11 月 4 日（木） ①　13:25-14:10 ②　14:15-15:00	51 名 ①5 年生 1 学級 25 名 ②5 年生 2 学級 26 名

7　ボランティアの活動

昭和 52（1977）年、北海道立近代美術館開館の年に任意団体として美術館協力会（2 年後に社団法人化）が発足した。そのもとで始められたボランティア活動は、当初、売店部門のみであったが、翌年に解説部門、その 10 年後に資料部門が加わり、さらには平成 6（1994）年の組織改編を経て、現在の 7 部体制となった。ボランティア活動員数も、発足当時の 10 数名から、令和 3（2021）年度当初には 166 名まで拡大している。

7 部の主な活動内容と令和 3 年度実績

名称	内容
事業部	○美術研修旅行の企画・実施 国内美術研修旅行（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） 海外美術研修旅行（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ○協力会員の親睦会「つどい」2020 の企画・実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ○美術館所蔵野外彫刻の清掃の実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
広報部	○会報『アルテピア』の編集・発行（年 2 回発行） ○部内報『あんてな』の編集・発行（年 3 回発行） ○ミュージアム・カレンダー、ポスター等印刷物の配布
売店部	○ミュージアム・グッズの開発・仕入・管理 ○ミュージアム・ショップでの販売活動 ○特設売店の設営 ○協力会員の入退会手続き事務
解説部	○近美コレクションでのギャラリー・ツアーの実施 （火～土：11 時 30 分、13 時、14 時　各回約 30 分） 実施回数：266 回、 参加者数：933 名 ○近美コレクションでの団体ギャラリー・ツアーの実施 実施団体数：1 団体、参加者数：24 名 ○アート・レファレンス・サービス(ARS)への対応 （質問コーナー、図書閲覧コーナー、ビデオ・ライブラリー　利用件数：2,056 件） ○道立三岸好太郎美術館でのギャラリー・ツアーの実施 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ○ぐるっと三館鑑賞ツアーの共催 近代美術館・三岸好太郎美術館での解説 （8 月 18、19 日予定　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
資料部	○新聞資料のファイリングおよび検索カードの作成 ○美術情報文書の分類、回覧、配架 ○図書資料の整理および検索カードの作成
研修部	○美術講座の企画・立案・実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ○美術講座プレミアムの開催（9 月 30 日～10 月 28 日　受講者数：43 名） ○ボランティア活動員養成研修の企画・立案 ○ボランティア活動員に対する研修の企画・立案（全体研修、特別オリエンテーションなど）
特別活動部	○館外活動「美術への誘い」（美術館、展覧会の紹介）の企画・実施 会　　場：区民センター、地区センター 実施回数：7 回、参加者数：113 名 ○小中学生から一般を対象としたワークショップの企画・実施 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

8　協力事業

1　一般社団法人 北海道美術館協力会との連携・協力事業

●美術講座 2021「日本・西洋の美術シリーズ」
　美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座に協力し、講師の派遣を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●美術講座プレミアム
　美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座に協力した。
　日　　時：9 月 30 日（木）～10 月 28 日（木）に 5 回実施
　　各回木曜日、10 時～11 時 30 分
　会　　場：当館講堂
　受講者数：188 名（5 回累計・事前募集制）

［開催日／講座名／講師］
　①　9 月 1 日（木）
　「北海道の風土と美術－有島武郎を入り口に－」
　谷口雅春（ライター、エッセイスト）
　②　10 月 7 日（木）
　「映画が描く北海道」
　大石和久（北海学園大学教授、北海道芸術学会会長）
　③　10 月 14 日（木）
　「私なりの社会彫刻」
　端　聡（美術家、アートディレクター）
　④　10 月 21 日（木）
　「よみがえれ！とこしえの加清純子」
　苫名直子（公益財団法人北海道文学館学芸課長）
　⑤　10 月 28 日（木）
　「小樽今昔物語－地域の美術を観光資源に」
　星田七重（市立小樽美術館主幹（学芸員））

●アート・クラブ／ジュニア・アート・クラブ
　小学生から一般の来館者までを対象に行ったワークショップ（工作教室）に協力する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●こども美術鑑賞事業
　札幌市内の小学校の児童を当館に招待し展覧会を案内する事業に協力する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●ボランティア養成研修（共通研修）
　北海道美術館協力会ボランティアの新人養成研修に講師を派遣した。
　日　　時：8 月 26 日（木）～令和 4 年 2 月 10 日（木）に 5 回実施
　　各回木曜日、10 時～11 時 30 分
　会　　場：当館映像室、講堂

［開催日／受講者数／講師］
　①　8 月 26 日（木）　14 名
　木村純（北海道大学高等教育推進機構名誉教授）
　②　11 月 4 日（木）　9 名
　苫名真（当館学芸副館長）
　③　12 月 9 日（木）　11 名
　中村聖司（当館学芸部長）
　④　令和 4 年 1 月 27 日（木）　13 名
　久米淳之（当館学芸統括官）
　⑤　令和 4 年 2 月 17 日（木）　12 名
　大下智一（当館学芸企画課長）

2　学校教育との連携・協力事業

●博物館実習（見学実習）
　学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受入れた。

日時	大学名	人数
10 月 8 日（金）	東海大学	10 名
11 月 19 日（金）	北海道大学	10 名
11 月 27 日（土）	北翔大学	7 名

　場　　所：当館展示室、収蔵庫ほか
　対　　応：当館学芸員
　人　　数：計 27 名

●博物館実習（館園実習）
　学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の館園実習を受入れた。（詳細は p74 参照）

●出張アート教室
　学習の場としての美術館への理解を深めてもらうため、学芸員が美術館の所蔵作品を学校等に持参し、児童・生徒等に実物を見せながら、わかりやすく鑑賞の手ほどきを行う授業を学校と連携して行った。（詳細は p76 参照）

●道立美術館等活用学習充実のための指導者研修
　夏季および冬季の長期学校休業期間中、道内の教員（小学校、中学校、高等学校および特別支援学校）を対象に、美術館の活動と活用方法についての研修を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

●鑑賞学習支援ツールの貸出
　道立美術館・芸術館が所蔵する 64 点をはがき大のカードに掲載した「アートカード」、北海道の自然をモティーフにした絵巻形式の大作・岩橋英遠《道産子追憶之巻》（当館蔵）を 32 枚のシートに複製した「〈道産子追憶之巻〉複製シート」、および「〈道産子追憶之巻〉巻物」を、教材として道内の各種学校に貸し出した。

	小学校	中学校	高校	大学	特別支援	その他
アートカード	1	0	0	0	3	0
複製シート	0	0	0	1	1	0
巻物	0	0	0	0	2	0

●職場体験等の受け入れ
　学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業

務を希望する生徒を受け入れた。

日時	学校名	人数
10月26日（火）、27日（水）	星槎国際高等学校	3名

場　　所：当館館内各室
対　　応：当館学芸員
人　　数：計3名

●自主研修等の受け入れ

修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一貫として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明・質問への回答・施設見学などを行った。また、学芸員が学校を訪問しての出前授業や、オンライン会議ツールを活用したオンライン授業もあわせて実施した。

日時	学校名	人数
8月18日（水）	市立札幌大通高等学校	21名
11月24日（水）	札幌市立手稲養護学校三角山分校（オンライン）	―
11月25日（木）	札幌市立新琴似中学校（出前）	33名
12月8日（水）	札幌国際情報高等学校	21名
12月10日（金）	札幌市立平岡中央小学校	99名
12月22日（水）	市立札幌大通高等学校	21名
令和4年1月19日（水）	市立札幌大通高等学校	21名

場　　所：当館展示室、美術情報コーナー（アート・レファレンス・サービスARS）
対　　応：当館学芸員、北海道美術館協力会ボランティア解説部
人　　数：計216名

3　その他の連携・協力事業

●北海道立図書館との連携展示

各特別展の会期中、北海道立図書館から、展覧会の内容に関連する図書を借用し、特設コーナーを設けて、来館者の理解と関心を深めることを図った。

9　その他

1　芸術週間

例年、芸術に親しむ機運の醸成を図ることを目的に、文化の日を含む 11 月 1 日から 11 月 7 日までの 1 週間を『芸術週間』として設定している。令和 3 年度も、常設展示『近美コレクション』の観覧料を無料とし、11 月 1 日(月)は特別開館した。

2　カルチャーナイト

地域文化への関心を高め、北海道ならではの地域文化の創造と発展に寄与することを目的に、札幌市内の公共施設や文化施設、民間施設等を夜間開館して実施される「カルチャーナイト」に参加している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設開放はせず、YouTube上での配信によるリモート開催となった。

日　　時：7月16日(金)17:00～20日(日)12:00（公開期間）
内　　容：「キンビのちょこっとのぞく裏側編1」

3　北海道立近代美術館学芸員インターンシップ

当館では美術館学芸員を志す者を、インターン(実務研修生)として受け入れ、今後の美術館活動を担う人材の育成を行っている。展覧会活動、教育普及活動、情報関連活動のいずれかを選択し、当館職員による指導のもと研修を実施する。令和3年度の応募はなかった。

4　北海道リモート・ミュージアム

新型コロナウイルス感染拡大により、従来のような展覧会鑑賞が容易ではなくなったことをふまえ、展覧会やコレクション等を学芸員が紹介・解説する動画をWEB配信した。また、館内でも他の道立美術館・博物館のコンテンツを加えて放映した。

［公開日／タイトル／時間］
① 8月10日(火)「名画探偵物語　へそまがりの証　前編」2分16秒
② 8月20日(金)「名画探偵物語　へそまがりの証　後編」2分22秒
③ 1月12日(水)「コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス」3分55秒
④ 1月12日(水)「コレクション・ストーリーズ　ヨーロッパの版画」3分36秒

5　資料・情報関係

1　刊行物

種別	刊行物名	規格（cm）	頁数	発行
年報	令和２年度北海道立近代美術館年報（PDF 版）		121	北海道立近代美術館
図録	日本浮世絵博物館秘蔵　国貞 広重 国芳コレクション　絵師たちが見た江戸の楽しみ	30.7×22.0	24	日本経済新聞社
図録	へそまがり日本美術　禅画からヘタウマまで	17.3×17.5	239	講談社
図録	御大典記念　特別展　よみがえる正倉院宝物－再現模造に見る天平の技－	28.0×22.5	223	朝日新聞社
図録	日本画家　羽生輝―悠久の岬を望む	25.8×18.7	119	藤田印刷エクセレントブックス
紀要	北海道立美術館・芸術館紀要　第 31 号　2022	29.7×21.0	88	北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、北海道立函館美術館、北海道立帯広美術館、北海道立釧路芸術館、北海道立三岸好太郎美術館

※羽生輝展は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期になったが、令和３年度に発行されたため、ここに掲載した。

※ポスター等は除いた。

2　特別観覧

	撮影	模写	熟覧	写真原版の使用	デジタルデータの使用	その他（転載等掲載許可等）	合計
研究			2		1		3
展示			1				1
出版	2		2	2	20	23	49
放送							0
上映				2	1		3
配信（インターネット等）	2				3	4	9
合計	4	0	5	4	25	27	65

※うち 19 件は重複

主な申請者
［撮影］観光プラットフォーム、映像制作会社、など
［熟覧］新聞社、美術館など
［写真原版またはデジタルデータの使用］出版社、博物館など

3　情報資料

1　ウェブサイト

平成 11（1999）年 4 月 1 日　開設
平成 26 年 12 月 20 日　全面リニューアル
令和 3（2021）年 7 月 1 日　全面リニューアル

［構成（リニューアル後）］
トップページ／展覧会／イベント／コレクション／教育プログラム／調査研究／美術館について／ご利用案内／アクセス／お知らせ／お問い合わせ／スケジュールカレンダー／新型コロナウイルス感染症対策の基本方針／アートギャラリー北海道／北海道リモート・ミュージアム／ミュージアム・ビュー／関連リンク

［アドレス］
http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi（平成 26 年 12 月 19 日まで）
http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb（平成 26 年 12 月 20 日より）
https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/knb（令和 3 年 7 月 1 日より）

令和 3 年度アクセス件数(トップページ)：1,063,835 件
開設以来のアクセス件数：5,705,854 件

2　所蔵作品データベース

当館では平成 13 年度から所蔵品管理システム I.B.MUSEUM（早稲田システム開発株式会社制作）により所蔵作品データベースの構築を図り、平成 24 年度 4 月からは I.B.MUSEUM SaaS（同社）へ移行して、このシステムにより北海道立美術館・芸術館 6 館の間での共同運用と整備を進めている。

令和 3 年度は、追加更新作業として当館の令和 2 年度新収蔵作品 267 点（油彩 2、日本画 6、水彩・素描 1、版画 258）並びに新収蔵資料 13 点（水彩・素描 10、版画 3）の登録作業を進めた。

［データ項目］
所蔵品番号、所蔵館区分、作品分類、作品名、作家名、数量、制作年、技法・材質、寸法各種、取得年、取得種別、取得先名、取得額、取得時評価額、情報提供者、作品の証明、署名・落款・表書、額装状態、来歴、解説、貸出可否、公開可否、HP 公開可否、初出年、初出展覧会、展覧会場、受賞内容、作品選定の理由、収集の理由、調査結果、作品の状態、作品情報、収集の特色、登録日、更新日など

［画像ファイル］
1,024×768 ピクセル・JPEG 形式（平成 12 年度までの収蔵作品）／1,280×960 ピクセル・JPEG 形式（平成 13 年度以降の収蔵作品）

※作品登録件数（当館分、令和 3 年度末現在）：全 5,660 点［絵画 1,468（油彩 822、日本画 281、水彩・素描 365）、版画 2,080、彫刻 112、工芸 1,718、デザイン 231、写真 51］

3　所蔵作品データ公開

○所蔵作品データベースを活用した公開
上記 2 の I.B.MUSEUM SaaS を活用し、平成 30 年 10 月 10 日より、当館の所蔵作品全 5,393 点［絵画 1,459（油彩 822、日本画 2、水彩・素描 364）、版画 1,822、彫刻 112、工芸 1,718、デザイン 231、写真 51］のデータを公開していた。

上記 1 のホームページリニューアルに合わせ、「北海道立美術館等所蔵作品データベース」を開設した。令和 4 年 1 月 7 日より、北海道立美術館および芸術館が令和 2 年度末に所蔵している全作品［うち当館 5,660 点：絵画 1,468（油彩 822、日本画 281、水彩・素描 365）、版画 2,080、彫刻 112、工芸 1,718、デザイン 231、写真 51］の基本情報ならびにサムネイル画像を公開している。

○館内ビデオ・ライブラリーにおける公開
平成 21 年度に ARS に導入した新しいビデオ・ライブラリーにおいて、当館の代表的な作品 70 点の画像、データ、解説を公開している。平成 22 年 9 月 11 日から運用開始。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 3 年度は前年度に引き続き運用を中止した。

4　メールマガジン

当館では、平成 16 年度より北海道庁のメール配信システムを利用し、当館の広報誌『カンドーレ』（隔月刊、平成 21 年 7 月から季刊、令和 2 年 4 月から随時）を登録者へ配信していた。しかし、上記 1 のホームページリニューアルに合わせ、令和 3 年度 7 月配信の第 92 号をもって配信を終了した。

名　　称：道立近代美術館メールマガジン【カンドーレ web 版】
構　　成：近美コレクション、特別展、関連イベント、教育普及事業、三岸好太郎美術館の展覧会等の紹介
発行周期：1～2 ヶ月に 1 回（令和 3 年度は計 1 回）
令和 3 年度発行：第 92 号（最終号）
令和 3 年度 6 月 30 日時点の登録者数：4,976 名

5　ソーシャルメディア

フェイスブック及びツイッターを活用して、逐次的な情報公開と広報活動に取り組んだ。

○フェイスブックへの投稿数：128 回
令和 3 年度末現在のフェイスブックのいいね数（定期通知者数）：5,300 名

○ツイッターへの投稿数：141 回
令和 3 年度末現在のツイッターのフォロワー数（定期通知者数）：10,148 名

6 視聴覚資料の整理

当館の美術関係視聴覚資料のアーカイヴ構築を目標とし、映像記録・ソフト及び教育普及事業の音声・映像記録を分類・整理し、管理番号を付して視聴覚資料台帳を作成した。また、フィルム資料と自主制作プログラム（磁気記録メディア）のデジタル化作業を行い、完了した資料は視聴覚資料台帳に掲載した。今後継続して行っていく予定。

6　美術作品の貸出と保存・修復

1　美術作品の貸出

	貸出先	会期	作品	目的（会場）
1	北海道立函館美術館	令和3年4月24日～6月20日	ウィリアム・ブレイク《詩・墓》（6点組）他 計450点	「北海道立近代美術館　友田コレクション×荒井記念美術館　ピカソ・コレクション　西洋版画の魅力」展のため（北海道立函館美術館）
2	北海道立三岸好太郎美術館、砺波市美術館、神戸市立小磯記念美術館、一宮市三岸節子記念美術館	令和3年6月26日～9月1日、9月11日～11月7日、11月20日～令和4年2月13日、2月19日～4月10日	三岸節子《摩周湖》 計1点	「貝殻旅行―三岸好太郎・節子展―」のため（北海道立三岸好太郎美術館、砺波市美術館、神戸市立小磯記念美術館、一宮市三岸節子記念美術館）
3	神田日勝記念美術館	令和3年7月7日～9月12日	神田日勝《室内風景》他 計5点	「画家たちの座標―アトリエは語る―」展のため（神田日勝記念美術館）
4	木田金次郎美術館	令和3年8月6日～11月7日	木田金次郎《魚》他 計4点	「北海道銀行カレンダーと木田金次郎」展のため（木田金次郎美術館）
5	北海道庁舎内知事室等	令和3年8月29日～令和4年7月23日	木田金次郎《洞爺湖》他 計6点	知事室および知事公館で展示するため
6	北海道立三岸好太郎美術館	令和3年9月15日～11月23日	上野山清貢《女紅場風景》 計1点	「北海道銀行創立70周年　道銀文化財団創立30周年記念　北海道銀行コレクション」展のため（北海道立三岸好太郎美術館）
7	久留米市美術館	令和3年9月18日～12月12日	片多徳郎《霹靂》 計1点	「九州洋画Ⅱ：大地の力―Black Spirytus」展のため（久留米市美術館）
8	釧路市立美術館	令和3年9月28日～11月14日	上野憲男《発生D》他 計5点	「上野憲男」展のため（釧路市立美術館）
9	札幌芸術の森美術館	令和3年10月9日～令和4年1月10日	佐藤武《時》 計1点	「札幌美術展　佐藤武」のため（札幌芸術の森美術館）
10	北海道立釧路芸術館	令和3年10月9日～12月8日	羽生輝《北の岬》他 計2点	「日本画家　羽生輝展　悠久の岬を望む」のため（北海道立釧路芸術館）
11	北海道立函館美術館	令和3年10月9日～12月5日	国松登《氷上の人》他 計40点	「北の抒情と幻想　国松登展」のため（北海道立函館美術館）
12	北海道立旭川美術館	令和3年12月18日～令和4年3月13日	神田日勝《室内風景》他 計10点	「神田一明、日勝展」のため（北海道立旭川美術館）
13	大阪中之島美術館	令和4年4月9日～7月18日	モディリアーニ《フジタの肖像》他計6点	「モディリアーニとその時代」展のため（大阪中之島美術館）

2　美術作品の保存・修復

1　修復

分野：彫刻
作家名：飯田善国
作品名：時間の風景
制作年：1979(昭和 54)年
寸法（径×高さ）：500.0×435.0
技法・材質：ステンレススティール

修復年月日：2021(令和 3)年 6 月 17 日－9 月 14 日
修復者：東興株式会社
修復状況：
本作品は、野外彫刻として当館前庭に設置されている。経年劣化により、表面に汚れや亀裂が出ているほか、回転部分の動きが鈍くなり、作品本来の姿が損なわれていた。
処置にあたっては、作品の可動部を工場に引き下げて作業を行った。ベアリングの腐食部を切削するとともに、劣化の激しい部品については新規交換した。亀裂箇所は溶接し、作品表面の汚れや錆を落として美装した。

分野：彫刻
作家名：山内壮夫
作品名：子を守る母たち
制作年：1973(昭和 48)年
寸法（幅×奥行×高さ）：67.0×62.0×178.0cm
技法・材質：ブロンズ

修復年月日：2021(令和 3)年 10 月 7 日－25 日
修復者：有限会社　堂源
修復状況：
本作品は、野外彫刻として当館前庭に設置されている。経年劣化により、作品表面の緑青が目立つ状態であった。
処置にあたっては、まず全体の汚濁を水やシンナーを用いて洗浄した。その後、劣化箇所を点検し、ウレタン系塗料で全体を塗装した上で、コーティングを施した。また、台座についても水で洗浄したほか、専用スポンジで汚れを除去した。

分野：彫刻
作家名：本郷新
作品名：嵐の中の母子像
制作年：1953(昭和 28)年
寸法（幅×奥行×高さ）：182.5×65.5×145.0cm
技法・材質：ブロンズ

修復年月日：2021(令和 3)年 10 月 7 日－25 日
修復者：有限会社　堂源
修復状況：
本作品は、野外彫刻として当館前庭に設置されている。経年劣化により、作品表面が汚濁していた。また、台座の劣化が顕著で、レンガの浮きや剥がれ、目地の欠損が生じていた。
処置にあたっては、作品表面の汚れを水で洗浄した。台座については、浮いているレンガを剥がし、古いモルタルを除去した上で再度積み上げた。亀裂や破損などで不足した分は、類似の物で補充した。レンガを剥がさなかった部分については、目地を点検し、脆弱な部分を撤去した上で再度詰め直した。このほか、雨水侵入によるレンガ剥離防止のため、排水パイプおよびコンクリート躯体接続アンカーを埋め込んだ。最後に、台座全体に撥水剤を塗布した。

分野：彫刻
作家名：流政之
作品名：サキモリ
制作年：2000(平成 12)年
寸法（幅×奥行き×高さ）：73.0×50.4×207.5cm
技法・材質：ブロンズ

修復年月日：2021(令和 3)年 10 月 7 日－25 日
修復者：有限会社　堂源
修復状況：
本作品は、野外彫刻として知事公館庭園に設置されている。経年劣化により、作品表面に汚濁が見られた。
処置にあたっては、水やシンナーを用いて表面の汚れを除去した。また、必要に応じて補彩をし、仕上げにコーティングを施工した。台座については、表面を水で洗浄した後、専用スポンジで汚れを除去した。

分野：彫刻
作家名：流政之
作品名：サキモリ
制作年：2002(平成 14)年
寸法（幅×奥行き×高さ）：61.0×55.4×191.0cm
技法・材質：ブロンズ

修復年月日：2021(令和 3)年 10 月 7 日－25 日
修復者：有限会社　堂源
修復状況：
本作品は、野外彫刻として知事公館庭園に設置されている。経年劣化により、作品表面に汚濁が見られた。
処置にあたっては、水やシンナーを用いて表面の汚れを除去した。また、必要に応じて補彩をし、仕上げにコーティングを施工した。台座については、表面を水で洗浄した後、専用スポンジで汚れを除去した。

7　調査研究

1　学芸員の調査研究活動

当館は、地域の研究機関としての役割を果たし、美術に関する総合的な調査・研究を行って、その成果を展覧会や普及事業、教育支援等、広く美術館活動に反映させるとともに地域社会に還元している。

とくにコレクションの柱である北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリ関係については重点的に調査研究を推進するよう努めているほか、各学芸員はそれぞれコレクションの各分野、所蔵品特別研究、展覧会（特別展・コレクション展・その他プロジェクト）、教育支援、美術館学、地域文化振興等を担当して関連する調査研究、また個別的研究課題や重点分野に関して継続的な調査研究を行っている。

本項には、各員ごとの担当および研究成果等を記した（なお、コレクション分野のうち、北海道の美術、ガラス、エコール・ド・パリについては、担当者以外にも全員が調査研究対象とすることとしている）。

令和３年度においては、前年度から新型コロナウイルス感染症による影響が引き続き、予定していた講座や発表が中止となったり、各種調査出張等が困難となったりすることなどで、調査研究やその成果発表の機会が減少する例もみられた。

○苫名　真（学芸副館長）

［担当分野（コレクション）］
・ガラス
・浮世絵
・工芸（陶磁・染織）
・三岸好太郎

［担当展覧会］
・へそまがり日本美術

［教育支援・美術館学］
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

［地域文化の振興］
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

［重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等］
・近代美術
・近現代ガラス
・小柴外一のガラス（作家作品研究）
・近代日本ガラス史（美術史）
・世界の現代ガラス調査
・瀧川嘉子（作家作品研究）
・三岸好太郎（作家作品研究）
・博物館学

［研究成果・発表活動］

＜講演・講座・トーク等＞
・［講座］「北海道立近代美術館への招待－歴史と活動」（令和 3/8/3　博物館実習講義）
・［講座］「北海道立近代美術館への招待」（令和 3/11/4　北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）

＜執筆・発表＞
・「瀧川嘉子の積層ガラス彫刻」『北海道立美術館・芸術館紀要　第 31 号』（2022 年 3 月　北海道立近代美術館ほか）

＜調査活動＞
・国宝法隆寺展展示関連調査（奈良国立博物館、法隆寺、薬師寺ほか　令和 3/11）

＜社会貢献活動＞
・札幌市立大学非常勤講師（博物館経営論）
・札幌芸術の森事業部美術館専門委員会委員
・札幌芸術の森等作品選定委員会委員
・北海道立釧路芸術館運営協議会委員
・神田日勝記念美術館運営協議会委員
・北海道博物館協会副会長
・道央地区博物館等連絡協議会監事
・北海道学芸員研究協議会副会長
・第 69 回全国博物館大会実行委員会委員
・「国際ガラス展・金沢 2022」一次審査委員

○中村聖司（学芸部長）

［担当分野（コレクション）］
・版画
・デザイン
・エコール・ド・パリ

［担当展覧会］
・国貞 広重 国芳コレクション　絵師たちが見た江戸の楽しみ
・羽生輝展

［教育支援・美術館学］
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

［地域文化の振興］
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

［重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等］
・近代美術
・北海道の美術
・栗谷川健一（作家作品研究）
・現代美術論（アメリカ美術家たちによる 1960 年代の美術論
・博物館学

［研究成果・発表活動］

＜講演・講座・トーク等＞
・［講座］「近年の博物館界の動向」（令和 3/4/22　北海道立近代美術館学芸部研修）
・［講座］「北海道立近代美術館の活動－コレクションの収集・管理および調査研究」（令和 3/8/3　博物館実習講義）
・［講座］「北海道立近代美術館の活動　1.作品の収集・保管 2.調査・研究」（令和 3/12/9　北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）

＜執筆・発表＞・「コレクション構築における創造性と公共性について－100 年後の学芸員は、今のミュージアム・コレクションをケアしなくてはいけないのか？」『博物館研究』Vol.57　No.3　令和 4 年 3 月号　日本博物館協会

＜調査活動＞
・砂澤ビッキ作品調査（札幌）

＜社会貢献活動＞
・札幌芸術の森等作品選定委員会委員
・市立小樽美術館協議会委員

・市立小樽美術館資料収蔵委員会委員

○久米淳之（学芸統括官）

[担当分野（コレクション）]
・彫刻
・現代美術
・映像･写真

[担当展覧会]
・道銀芸術文化奨励賞受賞作家展[アートギャラリー北海道]
・よみがえる正倉院宝物
・コレクション・ストーリーズ〈オプ・アート〉
・富野由悠季の世界

[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代美術
・彫刻
・北海道の美術
・安田侃（作家作品研究）
・北海道の彫刻庭園調査

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「北海道立近代美術館の活動－教育普及活動」（令和 3/8/4　博物館実習講義）
・[講座]「美術館における資料の収集と保存」（令和 3/10/6 北海道美術館協力会ボランティア資料部専門研修）
・[講座]「北海道立近代美術館の活動　3. 教育普及」（2022/1/27　北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）

＜調査活動＞
・砂澤ビッキ作品調査（札幌）

＜展示＞
・道銀芸術文化奨励賞受賞作家展展示構成
・コレクション・ストーリーズ〈オプ・アート〉（近美コレクション）展示構成

＜社会貢献活動＞
・道銀文化財団道銀芸術文化奨励賞選考委員
・札幌市 500m美術館専門委員会委員

○大下智一（学芸企画課長）

[担当分野（コレクション）]
・油彩
・版画
・工芸（陶磁・染織）
・映像・写真
・三岸好太郎

[担当展覧会]
・三岸好太郎　師、友、同志とともに
・新収蔵品展（近美コレクション）

[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・日本写真史（幕末～明治期の写真）
・日本近代洋画
・山下りん（作家作品研究）
・田本研造（写真史研究）
・道南美術史
・長谷川潾二郎（作家作品研究）

[研究成果・発表活動]

＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「三岸好太郎と北海道独立作家協会」（令和 3/7/18 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講座]「北海道立近代美術館の活動－展覧会の企画と運営」（令和 3/8/4　博物館実習講義）
・[講話]「《ニコライ堂》をめぐって」（令和 3/10/10，11/7 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講話]「《2 時 37 分》をめぐって」（令和 3/12/5　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講座]「北海道立近代美術館の活動　4. 展覧会の企画と運営」（令和 4/2/10　北海道美術館協力会ボランティア研修部共通研修）

＜執筆・発表＞
・「ロシア領事館と写真術の渡来について」『写真発祥地の原風景　幕末明治のはこだて』図録「公益財団法人東京都歴史文化財団　東京都写真美術館　2022/3/2）

＜展示＞
・新収蔵品展展示構成･解説
・「三岸好太郎　師、友、同志とともに」展示構成・解説

＜教育支援＞
・出張アート教室「色鮮やかな木版画の世界 : 北岡文雄」（令和 3/11/4　登別市立鷲別小学校）

＜調査活動＞
・『北海道史　資料編』のための調査

＜社会貢献活動＞
・北海道史編纂委員会専門委員

○齊藤千鶴子（主任学芸員）

[担当分野（コレクション）]
・書
・日本画
・浮世絵

[担当展覧会]
・へそまがり日本美術

[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・書
・日本美術
・日本書道史
・北海道の現代書研究
・日本美術史における書の位置づけ

・浮世絵研究
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「へそまがり日本美術 見どころ解説」(令和 3/7/22 北海道立近代美術館)
・[講話]「個性の有り処―三岸好太郎を中心に」(令和 3/8/22 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講評]第 44 回北玄 12 人展講評会 (令和 3/12/12)
・[講話]「デューラーの作品と表現」(2022/1/9 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
＜執筆・発表＞
・「青い星[ちきゅう]に誕生して・宙[コスモス]の彼方へ向かうこと」『墨いろ宙[コスモス]』[竹下青蘭作品集](竹下青蘭 令和 3)
・「小原道城-書と水墨画の小宇宙展に寄せて」『書と水墨画の小宇宙』[小原道城作品集] (小原道城 令和 3)
・「幽霊」(『へそ展日記』[へそまがり日本美術展ブログ] 令和 3/5/12)
・「寒山拾得」(『へそ展日記』[へそまがり日本美術展ブログ] 令和 3/5/25)
・「布袋と達磨」(『へそ展日記』[へそまがり日本美術展ブログ] 令和 3/6/4)
・「ツルとフクロウ」(『へそ展日記』[へそまがり日本美術展ブログ] 令和 3/6/25)
・「北海道のへそまがり」[対談] (『へそ展日記』[へそまがり日本美術展ブログ] 令和 3/7/30)
・「後期展の見どころ」(『へそ展日記』[へそまがり日本美術展ブログ] 令和 3/8/11)
・「仙崖《豊干禅師・寒山拾得図屏風》 型破りな禅画 表情におかしみ」[へぇ～そうだったのか「へそ展」]① 『北海道新聞』 令和 3/8/17
・「白隠慧鶴《揚柳観音図》 身近な菩薩 柔らかな曲線で」[へぇ～そうだったのか「へそ展」]② 『北海道新聞』 令和 3/8/18
＜展示＞
・「へそまがり日本美術」展示構成・解説・音声ガイド執筆
＜調査活動＞
・「高山寺展」作品調査 (東京国立博物館 令和 3/4)
・「へそまがり日本美術」作品調査 (福岡市博物館、福岡県立美術館ほか 令和 3/4)
＜社会貢献活動＞
・札幌大谷大学・札幌短期大学部非常勤講師 (日本美術史)
・特定非営利法人北の書みらい基金「中野北溟北の書みらい賞」選考委員
・「第 36 回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」ポスター審査委員会委員

○野田佳奈子 (学芸員)
[担当分野 (コレクション)]
・油彩
・エコール・ド・パリ
・デザイン
・ガラス
[担当展覧会]
・よみがえる正倉院宝物
・コレクション・ストーリーズ〈北海道の美術〉(近美コレクション)
・＃みまのめ VOL.7 (三岸好太郎美術館)
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代美術
・近現代北海道美術史
・居串佳一
・美術館における教育普及活動
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講座]「よみがえる正倉院宝物展/みどころ解説」(令和 3/10/16、11/3)
・[講話]「鹿子木孟郎と明治の洋画」(令和 3/10/31 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講話]「ヴァザルリの生涯と作品」(令和 3/12/26 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
＜執筆・発表＞
・「北海道における美術のあゆみ 林竹治郎と黒百合会に着目して」『開発こうほう』令和 3 年 5 月号 北海道開発協会
・「居串佳一《静夜》について」『アートとそのあわいで 北村清彦教授北大退職記念論集』(北海道大学芸術学研究室編) 令和 3 年 5 月 中西出版
・「居串佳一の画業―『北の絵』を描く」『開発こうほう』令和 3 年 7 月号 北海道開発協会
・「季評 7～9 月＜美術＞ コロナ禍 新たな視点や表現も」『北海道新聞』令和 3 年 10 月 29 日
・「三村紗瑛子」『＃みまのめ VOL.7』展リーフレット (北海道立三岸好太郎美術館 令和 3/12)
＜展示＞
・コレクション・ストーリーズ〈北海道の美術〉展示構成・解説
＜調査活動＞
・砂澤ビッキ作品調査 (札幌)
・現代作家作品調査 (青森県、岩見沢市、札幌市、帯広市)

○田村允英 (学芸員)
[担当分野 (コレクション)]
・油彩
・版画
・デザイン
・エコール・ド・パリ
・映像・写真
・三岸好太郎
[所蔵品特別研究 (この 1 点を見てほしい。)]
・キース・ヴァン・ドンゲン《アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像》
[担当展覧会]
・コレクション・ストーリーズ〈現代ガラス〉(近美コレクション)
・コレクション・ストーリーズ〈ヨーロッパの版画〉(近美コレクション)
・羽生輝展 (会期変更/令和 4)
・＃みまのめ VOL.7(三岸好太郎美術館)

[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・西洋美術
・北海道美術と戦争
・エコール・ド・パリの日本人画家たちを中心とした日仏交流史
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「現代ガラスのつくり方」(令和 3/4/18　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講話]「キース・ヴァン・ドンゲンーフォーヴへの道ー」(令和 3/7/25　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講話]「版画の中の戦争―カロ、ホガースそしてゴヤ」(令和 3/11/28　近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[講話]移動美術館令和 3 作品解説（令和 3/10/2　置戸町中央公民館)
＜執筆・発表＞
・「北海道の美術・戦時下の動向について 1938-1945」『北海道立美術館・芸術館紀要　第 31 号』(2022/3　北海道立近代美術館ほか)［共同執筆］
・「大泉力也」『＃みまのめ VOL.7』展リーフレット　（北海道立三岸好太郎美術館　令和 3/12)
＜展示＞
・この 1 点を見てほしい。(キース・ヴァン・ドンゲン《アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像》) 展示構成・解説
・コレクション・ストーリーズ（現代ガラス）展示構成・解説
・コレクション・ストーリーズ（ヨーロッパの版画）展示構成・解説
＜教育支援＞
・出張アート教室「アートを探検―動く？！絵画を楽しもう」(令和 3/11/2　余市養護学校)
＜調査活動＞
・戦時下の北海道美術調査（旭川市、網走市、函館市、岩見沢市、札幌市、倶知安町、共和町)
・現代作家作品調査（札幌市、北広島市)

○星野靖隆（学芸員）
[担当分野（コレクション）]
・日本画
・彫刻
・ガラス
・工芸（陶磁・染織)
・エコール・ド・パリ
[担当展覧会]
・国貞 広重 国芳コレクション　絵師たちが見た江戸の楽しみ
・よみがえる正倉院宝物
・富野由悠季の世界(貸館)
・＃みまのめ VOL.7(三岸好太郎美術館)
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代日本美術
・近代日本画（とくに大正～昭和初期/京都画壇/金鈴社の作家たち))
・田辺三重松の作品と画業
・ガラス工芸
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「国貞・広重・国芳コレクション　オンライン・ツアー」(令和 3/6/17　北海道立近代美術館)
・[講話]「エコール・ド・パリと日本人画家たち」(令和 3/8/1 近美コレクション・ミュージアム・トーク)
・[出演]日経アートアカデミア「国貞・広重・国芳コレクション　絵師たちが見た江戸の楽しみ」(令和 3/10)
＜執筆・発表＞
・国貞・広重・国芳コレクション見どころ解説・作品紹介①～（令和 3/5/13 ～6/20　SNS[Twitter/Facebook]発信)
・「嶋崎由真」『＃みまのめ VOL.7』展リーフレット　（北海道立三岸好太郎美術館　令和 3/12)
・「岩田藤七《水指・雲間》(コレクションー表紙掲載の作品より)」『博物館研究』Vol.57 No.3 2022 年 3 月号　日本博物館協会
＜展示＞
・国貞・広重・国芳コレクション展展示構成・解説
＜教育支援＞
・遠隔授業「Zoom を活用した遠隔芸術館紹介：岩橋英遠《道産子追憶之巻》」(令和 3/11/24 手稲養護学校三角山分校)
・出前授業(令和 3/11/25 札幌市立新琴似中学校)
＜調査活動＞
・現代作家作品調査（札幌)

○瀬戸厚志（学芸員）
[担当分野（コレクション）]
・工芸（陶磁･染織)
・ガラス
[所蔵品特別研究（この 1 点を見てほしい。）]
・山本正年《膚》
[担当展覧会]
・コレクション・ストーリーズ　（日本近代の美術）(近美コレクション
・羽生輝展（会期変更/令和 4)
・＃みまのめ VOL.7(三岸好太郎美術館)
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代日本美術
・陶磁
・北海道の野外彫刻（作品調査)
・アイヌ民族の木彫（作家作品研究)

・北海道各地域の公募展史
・羽生輝（作家作品研究）
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「ルネ・ラリックのガラス芸術」（令和 3/12/12　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講話]「解説とは、ARS とは」（令和 3/8/26　北海道美術館協力会ボランティア解説部専門研修）
＜執筆・発表＞
・「遙かなる風景を巡って　羽生輝の画業を支えた人々」『日本画家羽生輝―悠久の岬を望む』藤田印刷エクセレントブックス　令和 3/10/8
・「井川ゆきな」『＃みまのめ VOL.7』展リーフレット　（北海道立三岸好太郎美術館　令和 3/12）
＜展示＞
・この 1 点を見てほしい（山本正年「膚」）展示構成・解説
・羽生輝展展示構成・解説（会期：令和 4／展示：令和 3）
＜教育支援＞
・遠隔授業「Zoom を活用した遠隔芸術館紹介：岩橋英遠《道産子追憶之巻》」（令和 3/11/24 手稲養護学校三角山分校）
＜調査活動＞
・羽生輝作品調査（札幌、釧路
・中原悌二郎作品調査（旭川彫刻美術館）
・野外彫刻調査および文献調査（北海道立図書館　2022/3）
・現代作家作品調査（札幌）
＜社会貢献活動＞
・北海道教育大学釧路校非常勤講師（美術史、釧路の美術ほか）

○敷田弘子（学芸員）
[担当分野（コレクション）]
・日本画
・デザイン
・ガラス
・工芸（陶磁・染織）
[担当展覧会]
・新収蔵品展（近美コレクション）
・コレクション・ストーリーズ〈アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス〉（近美コレクション）
・よみがえる正倉院宝物
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・近代日本美術史
・デザイン、建築史
・工芸史
・戦前戦後日本のプロダクトデザインの動向について
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「三岸好太郎のアトリエ」（令和 3/8/15　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講話]「アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス」（令和 3/11/21　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講座]移動美術館令和 3 講座（令和 3/10/7 置戸中央公民館）
＜執筆・発表＞
・「コレクション・ストーリーズ　アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス」『会報　アルテピア』79 号　北海道美術館協力会、令和 3 年 10 月
＜展示＞
・新収蔵品展展示構成・解説
・コレクション・ストーリーズ（アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス）展示構成・解説
＜調査活動＞
・産業工芸試験所試作品、参考品関連調査（東京　令和 4/3）

○地家光二（上席専門員）
[担当分野（コレクション）]
・彫刻
・書
・エコール・ド・パリ
・ガラス
・浮世絵
・三岸好太郎
[担当展覧会]
・へそまがり日本美術
・道銀芸術文化奨励賞受賞作家展[アートギャラリー北海道]
[教育支援・美術館学]
・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント
[地域文化の振興]
・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等
[重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等]
・日本近代美術
・三岸好太郎
[研究成果・発表活動]
＜講演・講座・トーク等＞
・[講話]「難波田龍起－〈抽象〉を生きる」（令和 3/4/25　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講座]「へそまがり日本美術 見どころ解説」（令和 3/8/14 北海道立近代美術館）
・[講話]「手袋を拾っただけなのに」（2022/1/16　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・[講座]「世界一ヤクに立たない解説のツボ」（2022/1/30 北海道美術館協力会ボランティア解説部講演会）
＜執筆・発表＞
・「アンリ・ルソーと三岸好太郎」（『へそ展日記』[へそまがり日本美術展ブログ]　令和 3/8/20）
・「夏目漱石《柳下騎驢図》　文豪の筆 キュートな味わい」[へぇ～そうだったのか「へそ展」]③　『北海道新聞』 令和 3/8/20
・「曽我蕭白《後醍醐天皇笠置潜逃図》　倒幕失敗の無念 ゆらゆらと」［へぇ～そうだったのか「へそ展」］④　『北海道新聞』 令和 3/8/21
・「岸礼《百福図》　お多福さん にぎやかに」［へぇ～そうだったのか「へそ展」］⑤　『北海道新聞』 令和 3/8/23
・「一九二〇年代から三〇年代の札幌美術瞥見」『美をめぐる饗宴　［筑波大学アート・コレクション　石井コレクション］』　筑波大学出版会　令和 3/8/27

〇佐藤幸宏（上席専門員）

［担当分野（コレクション）］

・版画
・書
・ガラス
・エコール・ド・パリ

［担当展覧会］

・コレクション・ストーリーズ〈エコール・ド・パリ〉（近美コレクション）

［教育支援・美術館学］

・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

［地域文化の振興］

・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

［重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等］

・近代美術
・エコール・ド・パリ（藤田嗣治を中心に）
・日本におけるファン・ゴッホ受容
・博物館学

［研究成果・発表活動］

＜講演・講座・トーク等＞

・［講話］「両大戦間のパリと芸術家たち」（令和 3/8/8　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・［講話］「上野山清貢と南洋の夢」（令和 3/10/17　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・［講話］「ムンクの絵画を読む」（2022/1/23　近美コレクション・ミュージアム・トーク）

＜執筆・発表＞

・「北海道の美術・戦時下の動向について 1938-1945」『北海道立美術館・芸術館紀要　第 31 号』（令和 4 年 3 月　北海道立近代美術館ほか）［共同執筆］

＜展示＞

・コレクション・ストーリーズ〈エコール・ド・パリ〉（近美コレクション）展示構成・解説

＜調査活動＞

・戦時下の北海道美術調査（倶知安町、共和町、札幌市）

＜社会貢献活動＞

・宮城県美術館美術品収集専門部会委員
・特定非営利法人北の書みらい基金「中野北溟北の書みらい賞」選考委員
・小樽芸術村顧問

〇大石智子（臨時学芸員）

［担当分野（コレクション）］

・日本画
・ガラス
・工芸（陶磁・染織）

［担当展覧会］

・国貞 広重 国芳コレクション　絵師たちが見た江戸の楽しみ
・よみがえる正倉院宝物

［教育支援・美術館学］

・美術館教育、鑑賞教育、利用者支援
・博物館学・美術館学、アート・マネージメント

［地域文化の振興］

・地域の美術活動の現況調査
・外部機関・組織との相互協力・研究支援等

［重点研究分野・個別研究課題・継続的テーマ等］

・日本近代美術
・ガラス工芸
・美術作品の情報管理
・山内壮夫

［研究成果・発表活動］

＜講演・講座・トーク等＞

・［講話］「岩橋英遠《明治》―新しい日本画の探求」（令和 3/10/24　近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・［講話］「エミール・ガレ―もの言うガラス」（令和 3/12/19 近美コレクション・ミュージアム・トーク）
・［講話］移動美術館作品解説（令和 3/9/29 天塩町福祉会館［zoom 実施］）

8　名簿、沿革、観覧者数等

1　名簿

北海道立近代美術館協議会委員名簿(令和 4 年 3 月 31 日現在)

	氏　名	職　名
◎	北　村　清　彦	北海道大学名誉教授
○	吉　崎　元　章	本郷新記念札幌彫刻美術館長
	飯　田　知　男	北海道高等学校文化連盟会長（北海道札幌丘珠高等学校長）
	大　石　朋　生	北海道教育大学旭川校教授
	佐　藤　誠　之	（公社）北海道観光振興機構専務理事
	霜　村　紀　子	国立アイヌ民族博物館研究学芸部研究交流室長
	中　井　　令	イラストレーター
	三　澤　祥　子	北海道PTA連合会参与
	森　長　弘　美	北海道造形教育連盟会長（札幌市立新陵中学校長）
	湯　浅　万紀子	北海道大学総合博物館教授
	若　原　勝　二	（一社）北海道美術館協力会ボランティア活動員（公募委員）

※任期：令和 3 年 6 月 1 日から令和 5 年 5 月 31 日まで
※◎は会長、○は副会長（敬称略）

収蔵作品選定評価協議会構成員名簿(令和 4 年 1 月 20 日開催)

氏　名	職　名
北　村　清　彦	北海道大学　名誉教授
佐　藤　友　哉	札幌芸術の森美術館　館長
三　橋　純　予	北海道教育大学岩見沢校　教授

北海道立近代美術館職員名簿（令和4年3月31日現在）

職　名	氏　名	発令年月日	前　職　等
館長（非）	立川　宏	R1.7.1	
副館長	櫻井康雄	R2.4.1	
学芸副館長	苫名　真	R2.4.1	
総務企画部長（兼　事業課長）	豊村　洋	R3.4.1	学校教育局健康・体育課課長補佐
学芸部長	中村聖司	R2.4.1	
総務企画課長	今村ちぐさ	R2.11.1	
学芸統括官	久米淳之	R2.4.1	
主査（総括）	本郷孝徳	R2.4.1	
主査	黒岡潤子	R1.6.1	
専門主任	北川昌亨	R2.4.1	
専門主任	矢野亜矢子	H31.4.1	
主事	佐藤仁美	R3.4.1	中札内高等養護学校幕別分校
主事	杉澤陸斗	R3.4.1	新採用
主事（非）	山下深雪	H21.4.1	
〃	森谷玲子	H3.4.1	
〃	佐々木　青	H21.4.1	
〃	三浦彰子	H7.4.1	
〃	沼澤千佳子	H7.4.1	
〃	黒川亜紀	H13.8.1	
〃	佐々木絵梨子	H14.4.1	
〃	加藤みゆき	H21.4.1	
〃	大場良子	S53.7.1	
〃	有田美恵子	H9.4.1	
〃	田中　緑	R2.4.1	
〃	櫻井雅子	R2.11.18	
〃	和田めぐみ	R2.11.18	
学芸企画課長	大下智一	H30.4.1	
主任学芸員	穂積利明	H21.11.1	
〃	齊藤千鶴子	H27.4.1	
上席専門員	地家光二	H30.4.1	
〃	佐藤幸宏	R3.4.1	
学芸員	野田佳奈子	R2.4.1	
〃	田村允英	H30.4.1	
〃	星野靖隆	R2.4.1	
〃	瀬戸厚志	R2.4.1	
〃	敷田弘子	R2.12.1	
臨時学芸員	大石智子	R3.12.1	

※（非）は非常勤であることを示す

※発令年月日：職名の発令年月日

2 沿革

昭和 46 年　7 月　新北海道立美術館建設調査費計上
昭和 46 年 10 月　新北海道立美術館建設調査委員会、道外の美術館を調査
昭和 46 年 12 月　新北海道立美術館建設調査委員より、建設に対する意見と道外美術館調査報告を北海道教育委員会に提出
昭和 47 年　3 月　新北海道立美術館建設敷地、北 1 条西 17 丁目に決定
昭和 47 年　3 月　新北海道立美術館建設調査設計費計上
昭和 47 年　7 月　新美術館建設協議会発足
昭和 48 年　1 月　北海道教育庁内に新美術館建設準備室を設置
昭和 48 年　2 月　基本設計終了
昭和 48 年 10 月　実施設計終了
昭和 49 年　8 月　新美術館建設工事起工式
昭和 52 年　3 月　北海道立美術館条例一部改正、
新美術館の名称を「北海道立近代美術館」と決定
昭和 52 年　4 月　条例制定（常設展観覧料）
昭和 52 年　6 月　北海道立近代美術館建設工事完成
昭和 52 年　6 月　北海道立近代美術館職員の発令組織発足
北海道立近代美術館長（兼務）－気境公男教育長
昭和 52 年　7 月　北海道立近代美術館落成・開館記念式、一般公開
昭和 52 年 10 月　北海道立近代美術館長（兼務）－中川利若教育長
昭和 53 年　4 月　北海道立近代美術館長－倉田公裕
昭和 55 年　4 月　条例一部改正（常設展観覧料）
昭和 55 年　6 月　観覧者数 100 万人
昭和 58 年　4 月　機構改正（学芸部課名変更・主任学芸員新設）
昭和 59 年　4 月　条例一部改正（常設展観覧料）
昭和 59 年　8 月　観覧者数 200 万人
昭和 61 年　7 月　北海道立近代美術館長（兼務）－植村　敏教育長
昭和 62 年　3 月　第 2 収蔵庫工事完成
昭和 62 年　5 月　北海道立近代美術館長（兼務）－澤　宣彦教育長
昭和 62 年　7 月　北海道立近代美術館長－佐藤雅彦
昭和 62 年　8 月　開館 10 周年記念式
昭和 62 年 12 月　観覧者数 300 万人
昭和 63 年　5 月　北海道立近代美術館長－井関正昭
平成　2 年　4 月　機構改正（参事新設）

平成　6年　4月　北海道立近代美術館長（兼務）－阿部　茂教育長
平成　7年　6月　北海道立近代美術館長－阿部　茂
機構改正（学芸副館長新設）
平成　7年　8月　観覧者数500万人
平成　8年　4月　条例一部改正（常設展観覧料）
平成　9年　4月　北海道立近代美術館長（兼務）－南原一晴教育長
平成　9年　7月　開館20周年記念式
平成11年　4月　北海道立近代美術館長（兼務）－鎌田昌市教育長
平成11年　5月　観覧者数600万人
平成11年　7月　北海道立近代美術館長－水上武夫
平成12年　4月　条例一部改正（常設展観覧料）
平成14年　7月　観覧者数700万人
平成16年　4月　機構改正（学芸第三課新設）条例一部改正（常設展観覧料）
平成17年　7月　観覧者数800万人
平成18年　7月　北海道立近代美術館長－相馬秋夫
平成19年10月　開館30周年記念式
平成20年　4月　条例一部改正（常設展観覧料）
平成21年　4月　観覧者数900万人
平成23年　4月　条例一部改正（三岸好太郎美術館を分館として設置・常設展共通観覧料新設）
平成24年　4月　条例一部改正（年間観覧料追加）
平成25年　4月　北海道立近代美術館長－髙橋教一
平成25年　7月　観覧者数1,000万人
平成26年　4月　機構改正（総務企画部2課を1課に統合、学芸部3課を2課に再編）
条例一部改正（常設展観覧料）
平成27年　4月　北海道立近代美術館長（兼務）－立川　宏教育長
平成27年　6月　北海道立近代美術館長（兼務）－山本広海教育部長
平成27年　7月　北海道立近代美術館長－嵐田　昇
平成28年　4月　条例一部改正（使用料）
平成29年　8月　観覧者数1,100万人
開館40周年記念式
平成30年　4月　機構改正（学芸部2課を1課に統合）
令和　元年　7月　北海道立近代美術館長－立川　宏
令和　元年10月　条例一部改正（観覧料及び使用料）
令和　2年　8月　観覧者数1,200万人
令和　3年　4月　機構改正（総務企画部1課を2課に再編）

3　令和3年度観覧者数一覧

展示区分	展覧会区分		会期	開催日数	観覧者総数	一日当観覧者	有料													無料		
							個人			小計（C）	団体			小計（D）	共通券等			小計（E）	合計(C+D+E)	免除者(小中含む)	招待者	合計（F）
				(A)	(B)	(B/A)	a一般	b高大生	c小中生	(C/B)%	a一般	b高大生	c小中生	(D/B)%	a一般	b高大生	c小中生	(E/B)%	((C+D+E)/B)%			(F/B)%
常設展	令和２年度 第Ⅴ期	「池田良二展」「一原有徳展」 日本のガラス－江戸から現代まで－ この１点を見てほしい。	4/1（木）～4/4（日）	4	272	68	131	9	－	140 51.5%			－	0 0	1			1 0.4%	141 51.8%	126	5	131 48.2%
	第Ⅰ期	北海道の美術 現代ガラス 新収蔵品展 この１点を見てほしい。	4/17（土）～4/30（日） 〔当初予定～7/4（日） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため5/1（月）以降中止〕	12	1,026	85	117	24	－	141 13.7%	35	115	－	150 14.6%	251	27	－	278 27.1%	569 55.5%	378	79	457 44.5%
	第Ⅱ期	エコール・ド・パリ 三岸好太郎 師、友、同志とともに この１点を見てほしい。	7/17（土）～9/1（水）	40	5,380	135	841	168	－	1,009 18.8%	112	1	－	113 2.1%	1,375	308	－	1,683 31.3%	2,805 52.1%	2,228	347	2,575 47.9%
	第Ⅲ期	日本近代の美術 アートギャラリー北海道 北海道銀行創立70周年　道銀文化財団創立30周年記念 道銀芸術文化奨励賞受賞作家展 この１点を見てほしい。	9/15（水）～11/7（日）	48	7,745	161	855	156	－	1,011 13.1%	106	81	－	187 2.4%	983	22	－	1,005 13.0%	2,203 28.4%	5,219	323	5,542 71.6%
	第Ⅳ期	ヨーロッパの版画 オプ・アート アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス この１点を見てほしい。	11/17（水）～1/23（日） 〔当初予定～4/3（日） ※設備改修工事のため1/25（火）以降中止〕	54	3,992	74	1,408	300	－	1,708 42.8%	129	244	－	373 9.3%	199	31	－	230 5.8%	2,311 57.9%	1,514	167	1,681 42.1%
	計			158	18,415	116	3,352	657	－	4,009 21.8%	382	441	－	823 4.5%	2,809	388	－	3,197 17.4%	8,029 43.6%	9,465	921	10,386 56.4%
特別展	日本浮世絵博物館秘蔵 国貞 広重 国芳 コレクション ～絵師たちが見た江戸の楽しみ～		4/17（土）～5/16（日） 〔当初予定～6/20（日） ※緊急事態宣言発令により5/18（火）以降中止〕	26	5,824	224	3,859	356	168	4,383 75.3%		165		165 2.8%	254	27	－	281 4.8%	4,829 82.9%	574	421	995 17.1%
	～そまがり日本美術 禅画からヘタウマまで		7/17（土）～9/1（水）	40	15,873	396	8,850	679	299	9,828 61.9%				0 0.0%	1,375	308	－	1,683 10.6%	11,511 72.5%	2,152	2,210	4,362 27.5%
	計			66	21,697	328	12,709	1,035	467	14,211 65.5%	0	165	0	165 0.8%	1,629	335	－	1,964 9.1%	16,340 75.3%	2,726	2,631	5,357 24.7%
貸館				119	49,804	418	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	36,701 73.7%	－	－	13,103 26.3%
合計				343	89,916	262	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	61,070 67.9%	－	－	28,846 32.1%

4　教育・情報サービス利用者一覧

令和4年3月31日現在

展覧会関連事業 1

特別展関連事業											
展覧会名	国貞 広重 国芳 コレクション展			第17回 小原道城 書と水墨画展	へそまがり日本美術		よみがえる正倉院宝物展			富野由悠希 の世界	羽生輝展	山口南艸の 書とわか葉会 門流展
内容	ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ記念 講演会	学芸員による 見どころ解説	オンラインツアー	対談	ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ記念 講演会	学芸員による 見どころ解説	特別講演	協賛者向けイベント	学芸員による 見どころ解説	イベントなし	令和4年度 に開催延期	イベントなし
会場	講堂	講堂	リモート開催	講堂	講堂	講堂	講堂	講堂	講堂			
開催日	4/17	4/24・5/22	6/17	7/3	7/17	7/22・8/14	9/15	10/16	11/3			
利用者数	82	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	41	92	84	125	99	—	41			
小計	564											

展覧会関連事業 2

近美コレクション展関連事業		
展覧会名	Ⅰ期 新収蔵品展	Ⅱ期 エコール・ ド・パリ展
内容	横山大観《秋思》受贈記念 「植田克己ピアノの夕べ」	トーク＆コンサート 「フランス文化を楽しむ」
会場	展示室A	展示室A
開催日	4/17	8/21
利用者数	67	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止
小計	67	

教育普及事業

	移動美術館 （関連事業を含む）	学校連携事業		夏のワークショップ	アートギャラリー北海道 みんなのアートプロジェクト2022
内容	北海道立近代美術館近美コレクション	出張 アート教室	オンライン鑑賞	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	こどもワークショップ プラ板でキーホルダーつくり
会場	①天塩町社会福祉会館 ②置戸町中央公民館	余市町・登別市	手稲養護学校 三角山分校		映像室
開催日	①9/25～29 ②10/2～7	11/2・11/4	11/24		1/22
利用者数	883	69	9		3
小計	964				

自主研修（職場体験）

	団体数	人数
小学校	1	99
中学校	1	33
高等学校	4(1)	84(3)
小計	6(1)	216(3)

北海道リモート・ミュージアム

配信内容・配信日	・名画探偵物語 へそまがりの証 前編　8/10 ・名画探偵物語 へそまがりの証 後編　8/20 ・コレクション・ ストーリーズ アールヌーヴォー・ アール・デコの ガラス　1/12 ・コレクション・ ストーリーズ ヨーロッパの版画 1/12

解説等

事業名	ギャラリー・ツアー		学芸員による ミュージアム・トーク	質問コーナー		ビデオ・ライブラリー	自主研修など		特別オリエンテーション	ぐるっと三館鑑賞ツアー	子ども鑑賞ツアー
会場	展示室A		展示室A	ARS（ホール奥）			館内		講堂	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止
開催日	火～土曜日 1日3回		会期中24回	祝日・日曜を除く毎日			利用者の希望する日		利用団体の希望する日		
利用者数	個人利用	団体利用	260	ARS利用者	質問件数	32	利用件数	利用者数	138		
	933	24		2,056	131		6(1)	216(3)			
	957										
小計	3,627(3)　※利用者数のうち網掛けの欄を除く										

事　業　名		利用者数	総　数
特別展関連事業		564	5,222(3)
近美コレクション展関連事業		67	
アートギャラリー北海道 みんなのアートプロジェクト2022		3	
夏のワークショップ （ガイド・ツアー）		新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	
移動美術館		883	
学校連携事業	出張アート教室	69	
	オンライン鑑賞	9	
解説等	ギャラリー・ツアー	957	
	ミュージアム・トーク	260	
	ARS利用者	2,056	
	ぐるっと三館鑑賞ツアー	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	
	子ども鑑賞ツアー	新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止	
特別オリエンテーション		138	
自主研修など		216(3)	

テレフォンサービス 利用者数	ホームページ アクセス数
465	1,063,835

■

令和 3 年度　北海道立近代美術館年報

■

令和 5 年 3 月 20 日発行

編集・発行／北海道立近代美術館

〒060-0001　札幌市中央区北 1 条西 17 丁目

TEL. (011)644-6881（代）